

盛岡市地域福祉に関するアンケート 調査報告書

令和 6 年 3 月
盛 岡 市

目 次

■調査概要	1
■市民（18 歳以上）	5
1 回答者の属性	9
2 地域との関わりについて	18
3 地域の支え合いについて	31
4 ボランティア活動について	41
5 福祉サービスの利用について	47
6 地域福祉のあり方について	49
■市民（12 歳以上 17 歳以下）	55
1 回答者の属性	57
2 地域との関わりについて	64
3 ボランティア活動について	71
■団体	77
1 基本属性について	79
2 事業について	80
3 今後の活動意向・要望について	89
■資料編	91
調査票 市民（18 歳以上用）	92
調査票 市民（12 歳以上 17 歳以下用）	104
調査票 団体用	110

調査の概要

調査概要

1 調査の目的

盛岡市では、平成 27 年度（2015 年度）に「第 2 期盛岡市地域福祉計画」を策定しましたが、この計画が令和 6 年度（2024 年度）で終了となるため、令和 5 年度（2023 年度）から 2 か年にわたり、計画の進捗状況や地域課題を整理し、令和 7 年度（2025 年度）を始期とする第 3 期計画を策定する予定です。

このアンケート調査は、現行計画の評価や第 3 期計画策定に必要な基礎資料とするため、市民や地域福祉の担い手の方を対象として、地域福祉に関する意識、地域活動の実態及び課題を把握することを目的に実施したものです。

2 調査の内容

- (1) 地域との関わりについて
- (2) 地域の支え合いについて
- (3) ボランティア活動について
- (4) 福祉サービスの利用について
- (5) 地域福祉のあり方について
- (6) ボランティア、NPO 法人等の活動について
- (7) その他

3 調査の対象

- (1) 市民（住民基本台帳より無作為抽出）

ア 令和 5 年 4 月 1 日時点に市内在住の 18 歳以上の方
（平成 17 年 4 月 1 日以前生まれの方）

抽出数 2,650 名 回答数 1,304 名（回収率 49.2%）※郵送 1,091 名、WEB 213 名

イ 令和 5 年 4 月 1 日時点に市内在住の 12 歳以上 17 歳以下の方
（平成 17 年 4 月 2 日から平成 23 年 4 月 1 日生まれの方）

抽出数 250 名 回答数 114 名（回収率 45.6%）※郵送 84 名、WEB 30 名

- (2) 団体

市内で活動する社会福祉法人、地区福祉推進会、ボランティア団体及び NPO 法人

対象 280 団体 回答数 189 団体（回収率 67.5%）※郵送 145 団体、WEB 44 団体

【参考】

- (3) 前回調査の回収状況等

	市民				団体	
	18 歳以上		12 歳以上 17 歳以下			
	回答数	回収率	回答数	回収率	回答数	回収率
平成 16 年	1,360/2,652	51.3%	110/248	44.4%	69/100	69.0%
平成 20 年	1,107/2,699	41.0%	89/201	41.0%	53/100	53.0%
平成 25 年	918/2,652	34.6%	84/250	33.6%	124/232	53.2%
平成 31 年	900/2,650	33.9%	98/250	39.2%	51/100	51.0%

調査の概要

(4) 市民（18 歳以上）を対象とした年代別回答状況

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
10 歳代	14	1.0%	11	1.0%	6	0.7%	5	0.6%	15	1.2%
20 歳代	137	10.1%	100	9.0%	55	6.0%	69	7.7%	93	7.1%
30 歳代	171	12.6%	179	16.2%	104	11.3%	88	9.8%	149	11.4%
40 歳代	224	16.5%	175	15.8%	115	12.5%	120	13.3%	174	13.3%
50 歳代	263	19.4%	185	16.7%	132	14.4%	143	15.9%	202	15.5%
60 歳代	256	18.8%	201	18.2%	208	22.7%	211	23.4%	255	19.6%
70 歳代	223	16.4%	164	14.8%	184	20.0%	171	19.0%	231	17.7%
80 歳以上	62	4.6%	81	7.3%	110	12.0%	90	10.0%	183	14.0%
無回答	8	0.6%	11	1.0%	4	0.4%	3	0.3%	2	0.2%
合計	1,358	100%	1,107	100%	918	100%	900	100%	1,304	100%

4 調査の方法

- (1) 配布：郵送
- (2) 回収：郵送又はWEB

5 調査の時期

令和 5 年 9 月 29 日から令和 5 年 10 月 20 日

6 分析・表示について

- (1) グラフ中の n はその項目の有効回答者数で、比率算出の基数となります。
- (2) 単回答（Single Answer）では、比率を小数点第 2 位で四捨五入しているため、比率の合計が 100% とならないことがあります
- (3) 複数回答（Multiple Answer）の設問では、原則として、その設問の回答対象となる者の数を基数として比率算出をしているので、比率の合計は 100% を超えることになります。なお、合計は表示していません。
- (4) 無回答には、無効回答を含んでいます。
- (5) 自由回答（Free Answer）については、掲載を省略しています。
- (6) グラフは、令和 5 年調査の結果を表示しています。

市民（18歳以上）

結果概要

※今回の調査は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期と重なる部分があり、単純な経年比較はできないことを念頭に置くものとする。

■ 回答者の属性

- ・男性：女性≒4：6となっています。（問1）
- ・「60歳代」の回答者の割合が、20%程度と最も高くなっています。
「80歳以上」の割合が増加傾向にあります。（問2）
- ・「30年以上」盛岡市に居住している回答者の割合が、60%程度と最も高くなっています。
- ・「持ち家（一戸建て）」である回答者の割合が、65%程度と最も高くなっています。（問5）
- ・「二世帯（親子など）」である回答者の割合が、40%程度と最も高くなっています。
「一世帯（夫婦など）」の割合が増加傾向にあります。（問6）
- ・週の半分以上、「1日3食全ての食事を1人で食べている」（孤食と思われる人）という回答者の割合は、25%程度となっています。（問7）
- ・現在の食事状況に「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」回答者の割合は、80%程度となっています。（問8）

■ 地域との関わりについて

- ・地域の人と「関わりがある（「おおいに関わりがある」又は「どちらかといえば関わりがある」）」という回答者の割合は、35%程度となっています。（問9）
- ・地域の人とのつながりに対して「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」という回答は、55%程度となっています。（問10）
- ・地域の人と「関わりがある」という人とその満足度を比較すると、「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」という回答が80%程度となっています。
なお、地域の人と「ほとんど関わりはない（「どちらかといえば関わりはない」を含む。）」という人とその満足度を比較すると、「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」という回答が45%程度となっています。（問9×問10）
- ・地域活動への参加状況（1年以内）については、「不参加」という回答が60%程度となっています。（問11）
- ・地域活動への参加に対する問題については、「参加する時間がない」という回答が35%程度と最も高く、次いで「興味や関心のもてる活動がない」という回答が30%程度となっています。（問12）
- ・地域活動に対する気持ちとしては、「内容によっては参加したい」という回答が50%程度となっています。（問13）
- ・安心して生活していくために重要だと思う取組みについては、「日常的な隣近所との関係づくり」という回答が50%程度となっています。（問15）

■ 地域の支え合いについて

- ・ 隣近所で困っている世帯への手助けに対する気持ちについては、「内容によってはしたい」という回答が 50%程度となっています。（問 16）
- ・ 隣近所の人に「手助けしてほしいときがある」という回答は、35%程度となっています。（問 17）
- ・ 地域の人に支えられた（助けられた）ことが「ある」という回答は、45%程度となっています。「ある」の割合が増加傾向にあります。（問 18）
- ・ 家族や親族以外に相談できる人や場所が「ある」という回答が 60%程度となっています。（問 19）
- ・ 災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係があると「感じる（どちらかといえば感じる）を含む。」という回答は、60%程度となっています。（問 20）
- ・ 災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係づくりに必要な取組みについては、「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」という回答が 40%程度と最も高く、次いで、「避難支援が必要な人の情報」という回答が 40%程度となっています。
減少傾向にあった「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」の割合が増加に転じています。一方で、「地域住民で結成する自主防災組織」「避難支援が必要な人の情報」の割合は減少傾向にあります。（問 21）

■ ボランティア活動について

- ・ ボランティア活動への参加状況（1 年以内）については、「不参加」という回答が 90%程度となっています。（問 22）
- ・ ボランティア活動に参加したきっかけとして、「自分たちのために必要な活動だから」という回答が 55%程度と最も高く、次いで「人の役に立ちたいから」が 30%程度となっています。
減少傾向にあった「自分たちのために必要な活動だから」の割合が増加に転じています。また、「楽しそう（おもしろそう）だから」の割合が増加傾向にあります。（問 23）
- ・ ボランティア活動への参加に対する問題については、「参加する時間がない」という回答が 40%程度と最も高く、次いで「活動についての情報がない」という回答が 35%程度となっています。（問 24）
- ・ ボランティア活動の普及については、「活動についての情報提供」が 55%程度と最も高く、次いで「ボランティアを必要としている人とのマッチング」が 40%程度となっています。

■ 福祉サービスの利用について

- ・ サービス利用者のうち、サービス内容が説明と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたと回答した方は、25%程度となっています。（問 26）
- ・ サービス内容が説明と違っていたと回答した方のうち、「サービスを受ける側なのであきらめた」という回答は、40%程度となっています。

■ 地域福祉のあり方について

- ・子どもたちへの福祉教育については、「家庭の中で親から学ぶ」という回答が 70%程度と最も高く、次いで「学校教育の中で学ぶ」という回答が 65%程度となっています。
減少傾向にあった「家庭の中で親から学ぶ」の割合が増加に転じています。また、増加傾向にあった「テレビやインターネットなどを通じて学ぶ」の割合が 20%程度増加しています。（問 28）
- ・福祉や健康に関する情報の入手先として、「新聞、テレビ、ラジオ」が 55%程度と最も高く、次いで「市や市社会福祉協議会の広報紙」が 50%程度となっています。
「インターネット」の割合が増加傾向にあります。（問 29）
- ・住み慣れた地域で安心して生活していくための地域住民の役割については、「住民同士で助け合うが、手の届かない部分は行政・民間・企業と協力する」が 40%程度と最も高く、次いで「行政・民間・企業で取り組み、手の届かない部分は住民が協力する」が 25%程度となっています。（問 30）
- ・地域福祉計画の取組みの評価では、進んだ（「大いに進んだ」又は「少し進んだ」）と回答した割合でみると、「福祉サービスの充実」が 35%程度と最も高く、次いで「ユニバーサルデザイン・バリアフリー等の普及」が 35%程度となっています。一方で、「世代間交流」は 10%程度と最も低く、唯一、進んだと回答した割合が、後退した（「少し後退した」又は「大いに後退した」）と回答した割合（15%程度）を下回っています。（問 31）

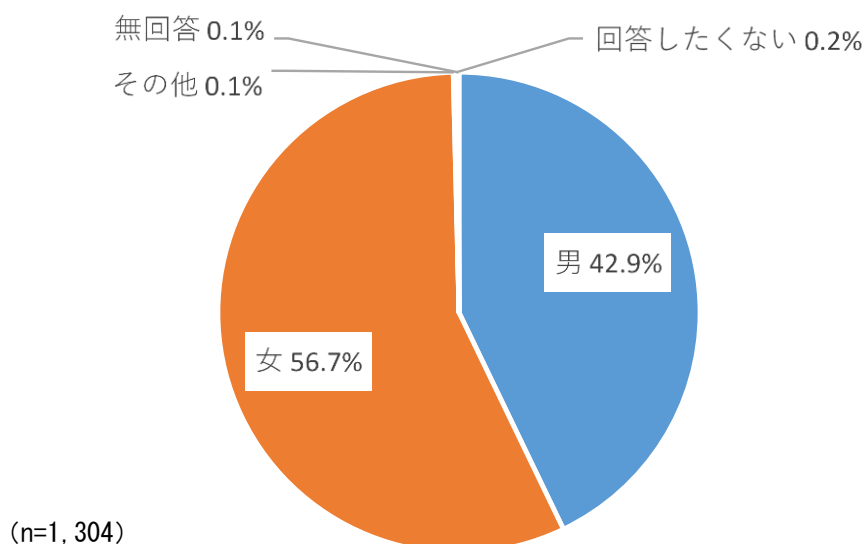
※ 複数回答の%の合計は、表示していません。

■回答者の属性

問 1 性別

「男性」42.9%、「女性」56.7%、「その他」0.1%、「回答したくない」0.2%となっています。
以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

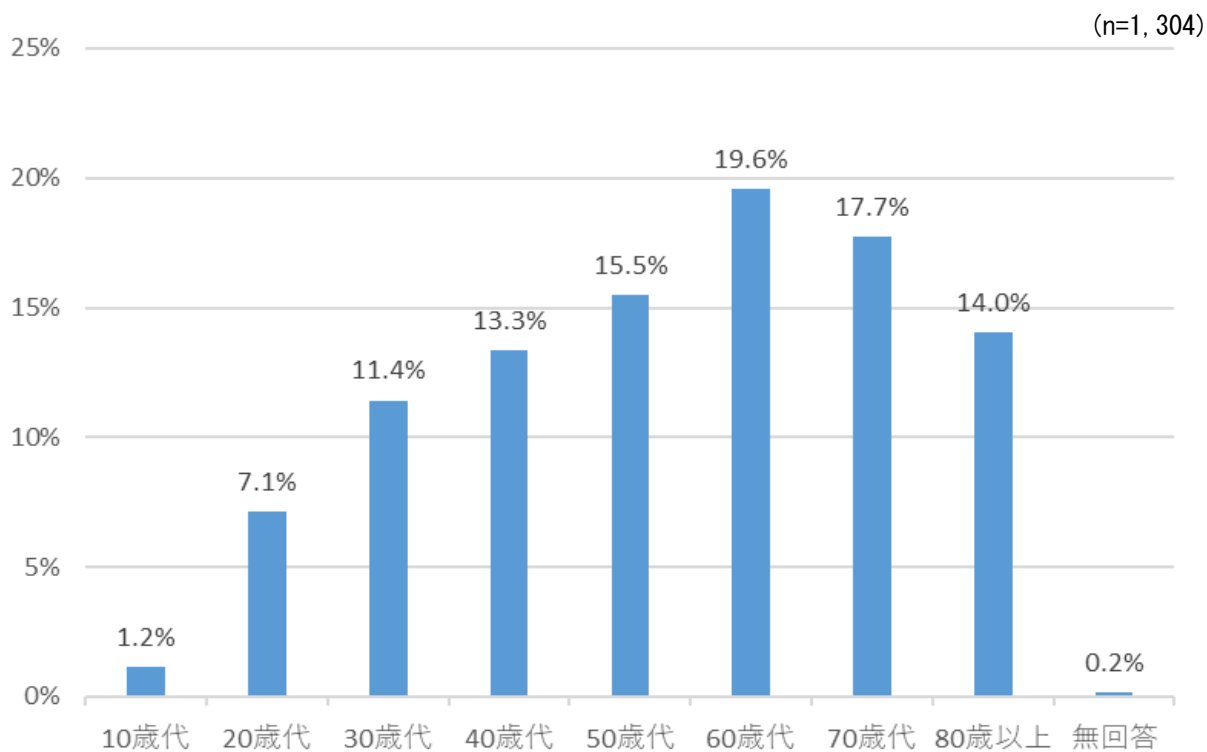
	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
男	596	43.9%	452	40.8%	377	41.1%	391	43.5%	559	42.9%
女	755	55.6%	642	58.0%	540	58.9%	504	56.0%	740	56.7%
その他	選択肢無		選択肢無		選択肢無		1	0.1%	1	0.1%
回答したくない	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		3	0.2%
無回答	7	0.5%	13	1.2%	0	0.0%	4	0.4%	1	0.1%
合計	1,358	100%	1,107	100%	917	100%	900	100%	1,304	100%



問 2 年齢

「60 歳代」が 19.6%と最も高く、次いで「70 歳代」が 17.7%となっています。
以前の調査と比較すると、「80 歳以上」の割合が増加傾向にあります。

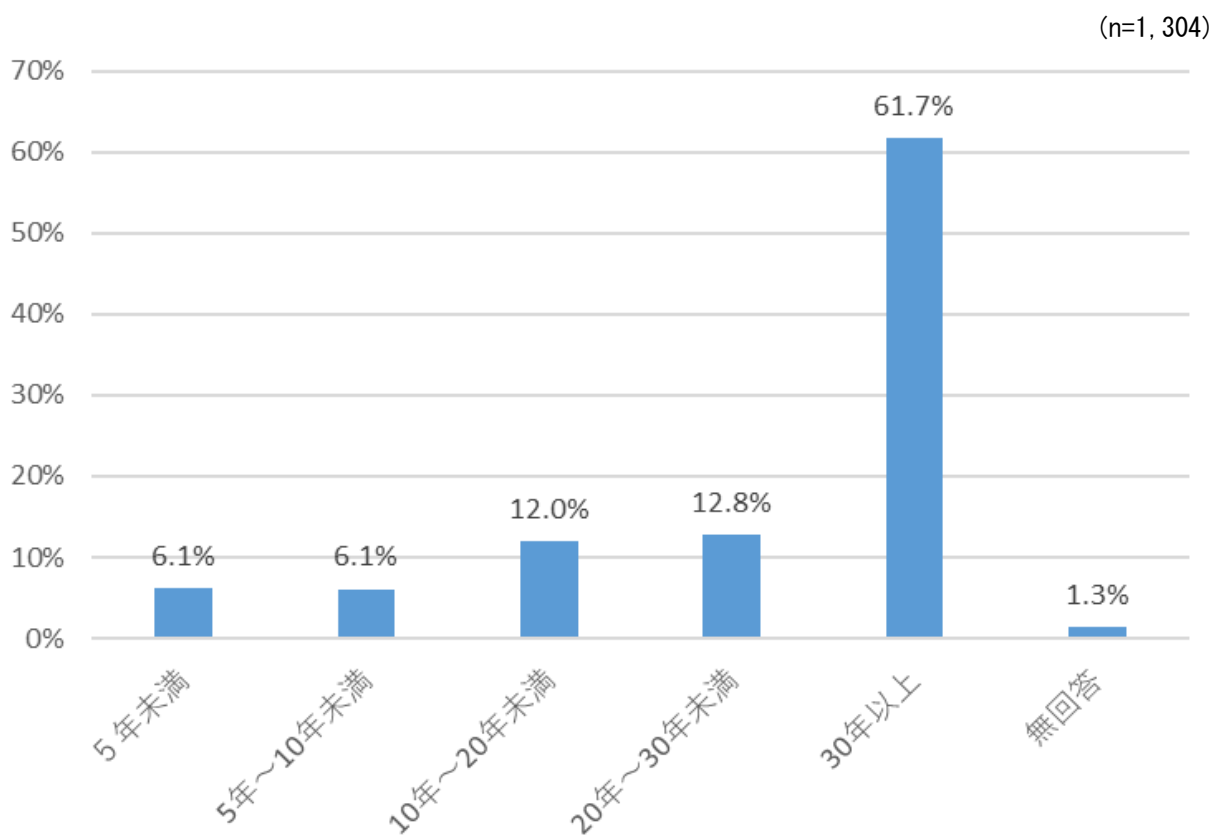
	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
10 歳代	14	1.0%	11	1.0%	6	0.7%	5	0.6%	15	1.2%
20 歳代	137	10.1%	100	9.0%	55	6.0%	69	7.7%	93	7.1%
30 歳代	171	12.6%	179	16.2%	104	11.3%	88	9.8%	149	11.4%
40 歳代	224	16.5%	175	15.8%	115	12.5%	120	13.3%	174	13.3%
50 歳代	263	19.4%	185	16.7%	132	14.4%	143	15.9%	202	15.5%
60 歳代	256	18.8%	201	18.2%	208	22.7%	211	23.4%	255	19.6%
70 歳代	223	16.4%	164	14.8%	184	20.0%	171	19.0%	231	17.7%
80 歳以上	62	4.6%	81	7.3%	110	12.0%	90	10.0%	183	14.0%
無回答	8	0.6%	11	1.0%	4	0.4%	3	0.3%	2	0.2%
合計	1,358	100%	1,107	100%	918	100%	900	100%	1,304	100%



問 3 居住年数

「30 年以上」が回答者の半数以上の 61.7%と最も高い回答となっています。
以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
5 年未満	95	7.0%	90	8.1%	84	9.2%	59	6.6%	80	6.1%
5 年～10 年未満	88	6.5%	83	7.5%	61	6.6%	51	5.7%	79	6.1%
10 年～20 年未満	170	12.5%	131	11.8%	85	9.3%	101	11.2%	156	12.0%
20 年～30 年未満	238	17.5%	182	16.4%	120	13.1%	126	14.0%	167	12.8%
30 年以上	757	55.8%	604	54.6%	563	61.3%	558	62.0%	805	61.7%
無回答	10	0.7%	17	1.5%	5	0.5%	5	0.6%	17	1.3%
合計	1,358	100%	1,107	100%	918	100%	900	100%	1,304	100%

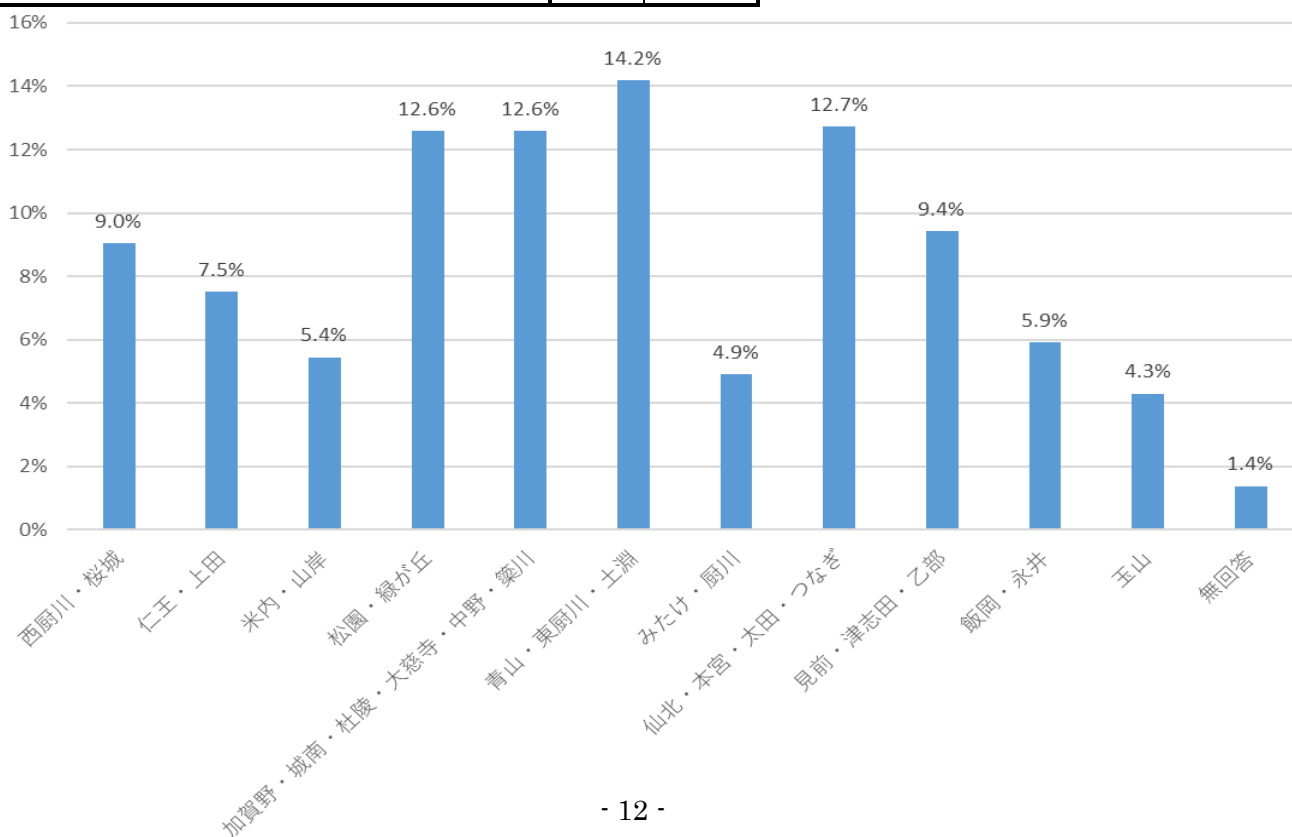


問 4 居住地域

「青山・東厨川・土淵」が 14.2%と最も高く、次いで「仙北・本宮・太田・つなぎ」が 12.7%となっています。

	R5	
	件数	構成比
西厨川・桜城	118	9.0%
仁王・上田	98	7.5%
米内・山岸	71	5.4%
松園・緑が丘	164	12.6%
加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	164	12.6%
青山・東厨川・土淵	185	14.2%
みたけ・厨川	64	4.9%
仙北・本宮・太田・つなぎ	166	12.7%
見前・津志田・乙部	123	9.4%
飯岡・永井	77	5.9%
玉山	56	4.3%
無回答	18	1.4%
合計	1,304	100%

(n=1,304)

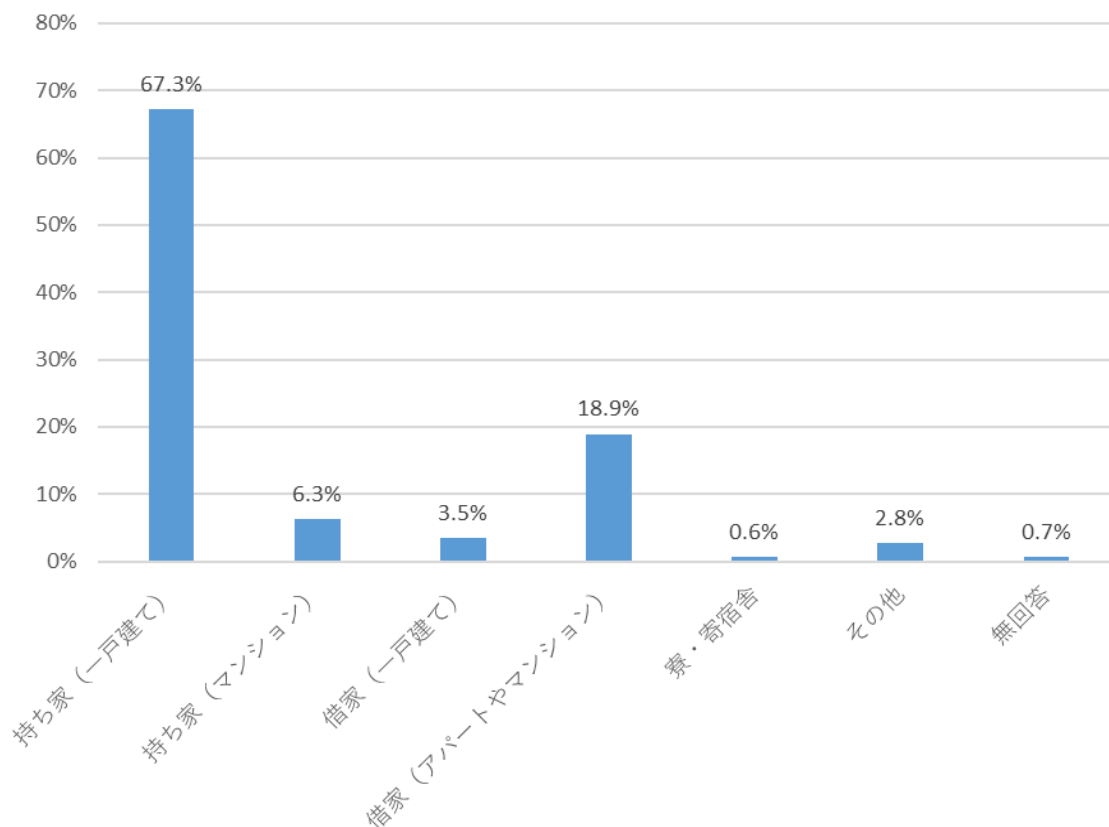


問 5 暮らしている住宅の種別

「持ち家（一戸建て）」が回答者の半数以上の 67.3% と最も高い回答となっています。
以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
持ち家（一戸建て）	966	71.1%	741	66.9%	587	63.9%	632	70.2%	877	67.3%
持ち家（マンション）	60	4.4%	50	4.5%	50	5.5%	47	5.2%	82	6.3%
借家（一戸建て）	88	6.5%	58	5.3%	36	3.9%	38	4.2%	45	3.5%
借家（アパートやマンション）	218	16.1%	221	20.0%	207	22.6%	153	17.0%	247	18.9%
寮・寄宿舍	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		8	0.6%
その他	20	1.5%	28	2.5%	37	4.0%	27	3.0%	36	2.8%
無回答	6	0.4%	9	0.8%	1	0.1%	3	0.4%	9	0.7%
合計	1,358	100%	1,107	100%	918	100%	900	100%	1,304	100%

(n=1,304)

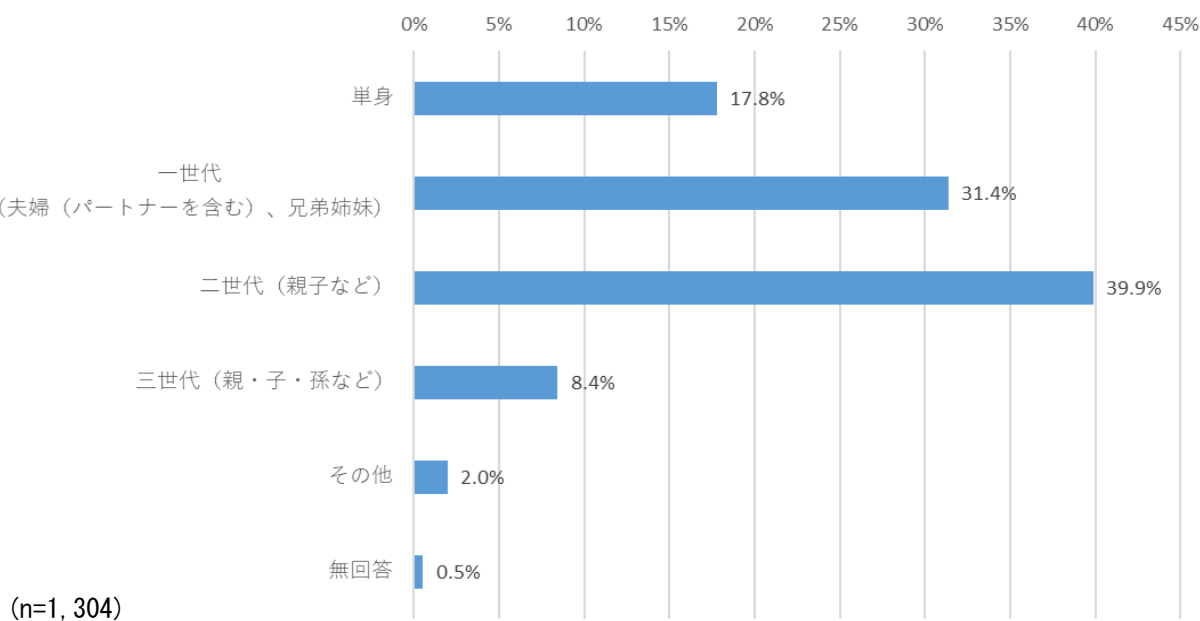


問 6 家族構成

「二世代（親子など）」が 39.9%と最も高く、次いで「一世代（夫婦（パートナーを含む）、兄弟姉妹）」が 31.4%となっています。

以前の調査と比較すると、「一世代」の割合が増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
単身	140	10.3%	140	12.7%	250	27.2%	131	14.6%	232	17.8%
一世代（夫婦（パートナーを含む）、兄弟姉妹）	308	22.7%	258	23.3%	230	25.1%	237	26.3%	409	31.4%
二世代（親子など）	609	44.9%	503	45.4%	309	33.7%	400	44.4%	520	39.9%
三世代（親・子・孫など）	218	16.0%	145	13.1%	67	7.3%	88	9.8%	110	8.4%
その他	72	5.3%	49	4.4%	48	5.2%	42	4.7%	26	2.0%
無回答	11	0.8%	12	1.1%	14	1.5%	2	0.2%	7	0.5%
合計	1,358	100%	1,107	100%	918	100%	900	100%	1,304	100%



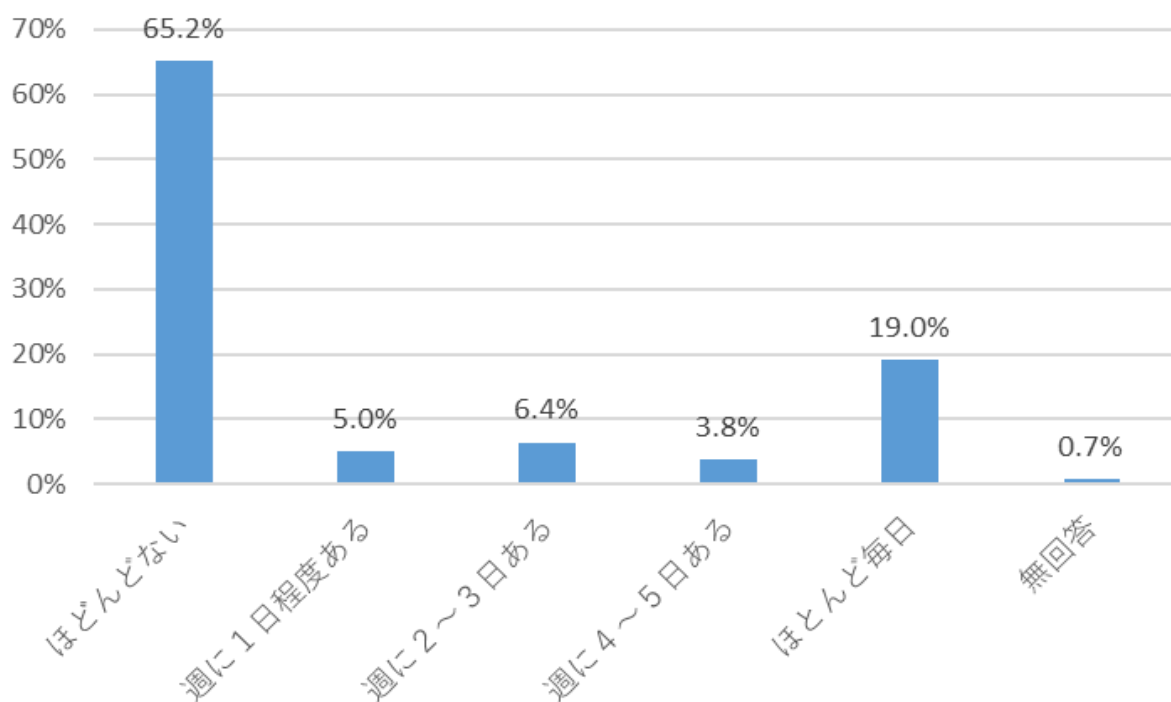
問 7 食事状況（1日3食全ての食事を1人で食べている割合）

「ほとんどない」が回答者の半数以上の 65.2%と最も高い回答となっています。

なお、「ほとんど毎日」と回答した割合は 19.0%であり、「週に4～5日ある」と回答した割合（3.8%）と合わせると、週の半分以上、1日3食全ての食事を1人で食べている「孤食」と思われる人の割合は、22.8%となっています。

	R5	
	件数	構成比
ほとんどない	850	65.2%
週に1日程度ある	65	5.0%
週に2～3日ある	83	6.4%
週に4～5日ある	49	3.8%
ほとんど毎日	248	19.0%
無回答	9	0.7%
合計	1,304	100%

(n=1,304)

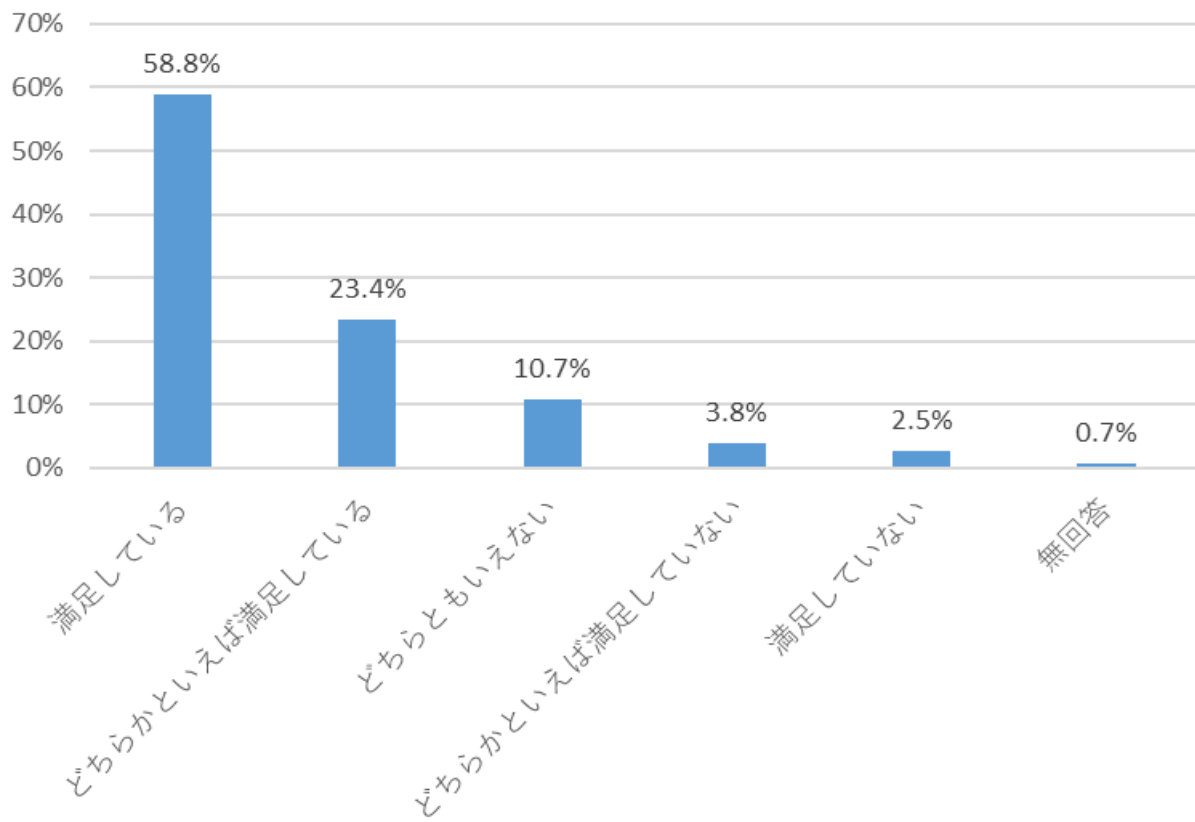


問 8 食事状況満足度

「満足している」が回答者の半数以上の 58.8%と最も高い回答となっています。

	R5	
	件数	構成比
満足している	767	58.8%
どちらかといえば満足している	305	23.4%
どちらともいえない	140	10.7%
どちらかといえば満足していない	50	3.8%
満足していない	33	2.5%
無回答	9	0.7%
合計	1,304	100%

(n=1,304)



問 7 食事状況 × 問8 食事状況満足度

食事状況とその満足度を比較すると、「満足している」という回答が、どの食事状況の場合も最も高い割合となっています。

また、「孤食」と思われる人（「週に4～5日ある」又は「ほとんど毎日」と回答した人）とその満足度を比較すると、「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」という回答が62.3%となっています。

なお、「孤食」ではない人の食事状況とその満足度を比較すると、「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」という回答が88.8%となっています。

			食事状況満足度					
			満足して いる	どちらか といえ ば満足 してい る	どちら ともい えない	どちら かとい え ば満足 してい ない	満足して いない	無回答
			n=767	n=305	n=140	n=50	n=33	n=9
食事状況	ほとんどない	n=850	70.6%	21.2%	5.1%	1.3%	1.6%	0.2%
	週に1日程度ある	n=65	46.2%	32.3%	15.4%	4.6%	1.5%	0.0%
	週に2～3日ある	n=83	37.3%	28.9%	18.1%	13.3%	2.4%	0.0%
	週に4～5日ある	n=49	32.7%	20.4%	22.4%	14.3%	10.2%	0.0%
	ほとんど毎日	n=248	35.9%	28.2%	24.2%	7.3%	4.4%	0.0%
	無回答	n=9	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	77.8%

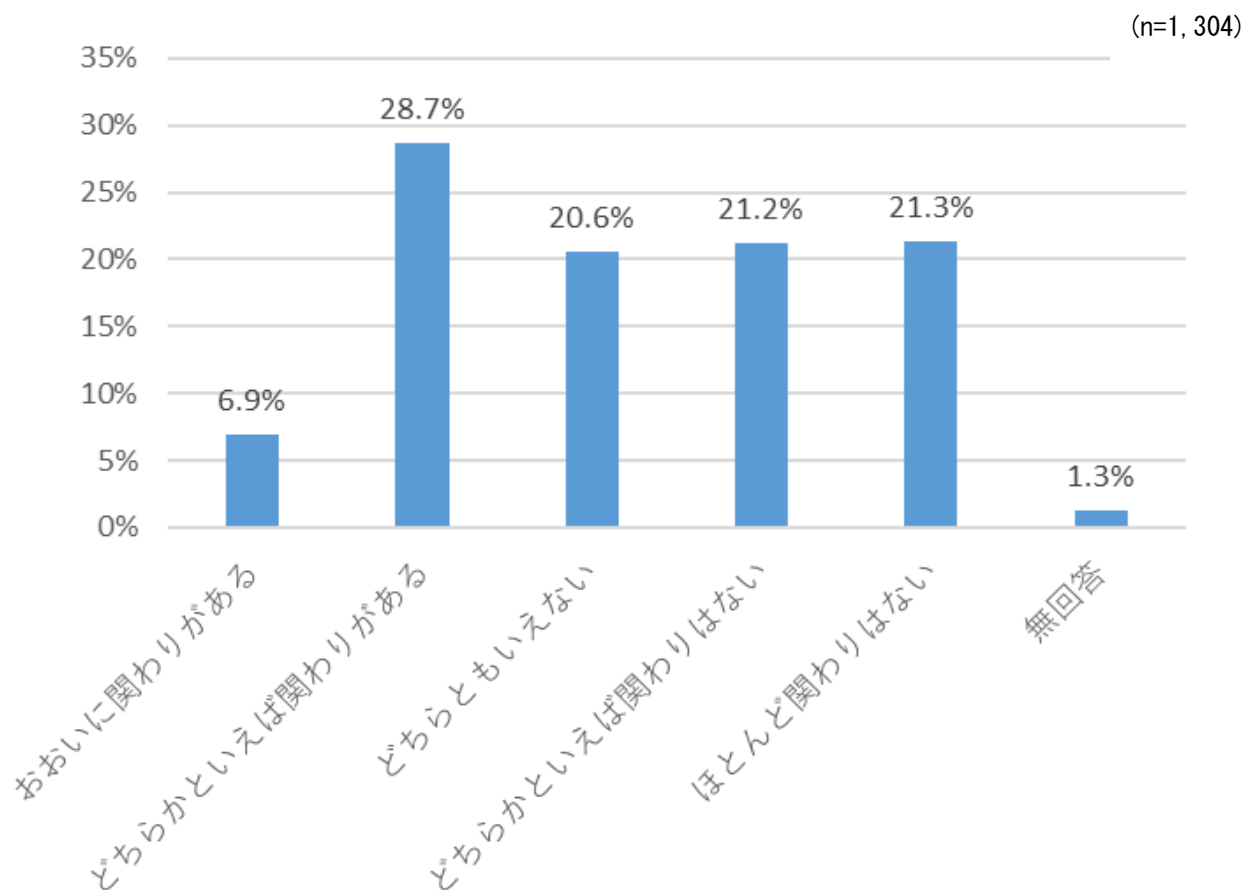
			食事状況満足度					
			満足して いる	どちらか といえ ば満足 してい る	どちら ともい えない	どちら かとい え ば満足 してい ない	満足して いない	無回答
			n=767	n=305	n=140	n=50	n=33	n=9
食事状況	ほとんどない	n=850	88.8%		6.8%	4.2%		0.2%
	週に1日程度ある	n=65						
	週に2～3日ある	n=83						
	週に4～5日ある	n=49	62.3%		23.9%	13.8%		0.0%
	ほとんど毎日	n=248						
	無回答	n=9	11.1%		11.1%	0.0%		77.8%

■地域との関わりについて

問 9 地域の人との関わり

「どちらかといえば関わりがある」が 28.7%と最も高く、次いで「ほとんど関わりがない」が 21.3%となっています。

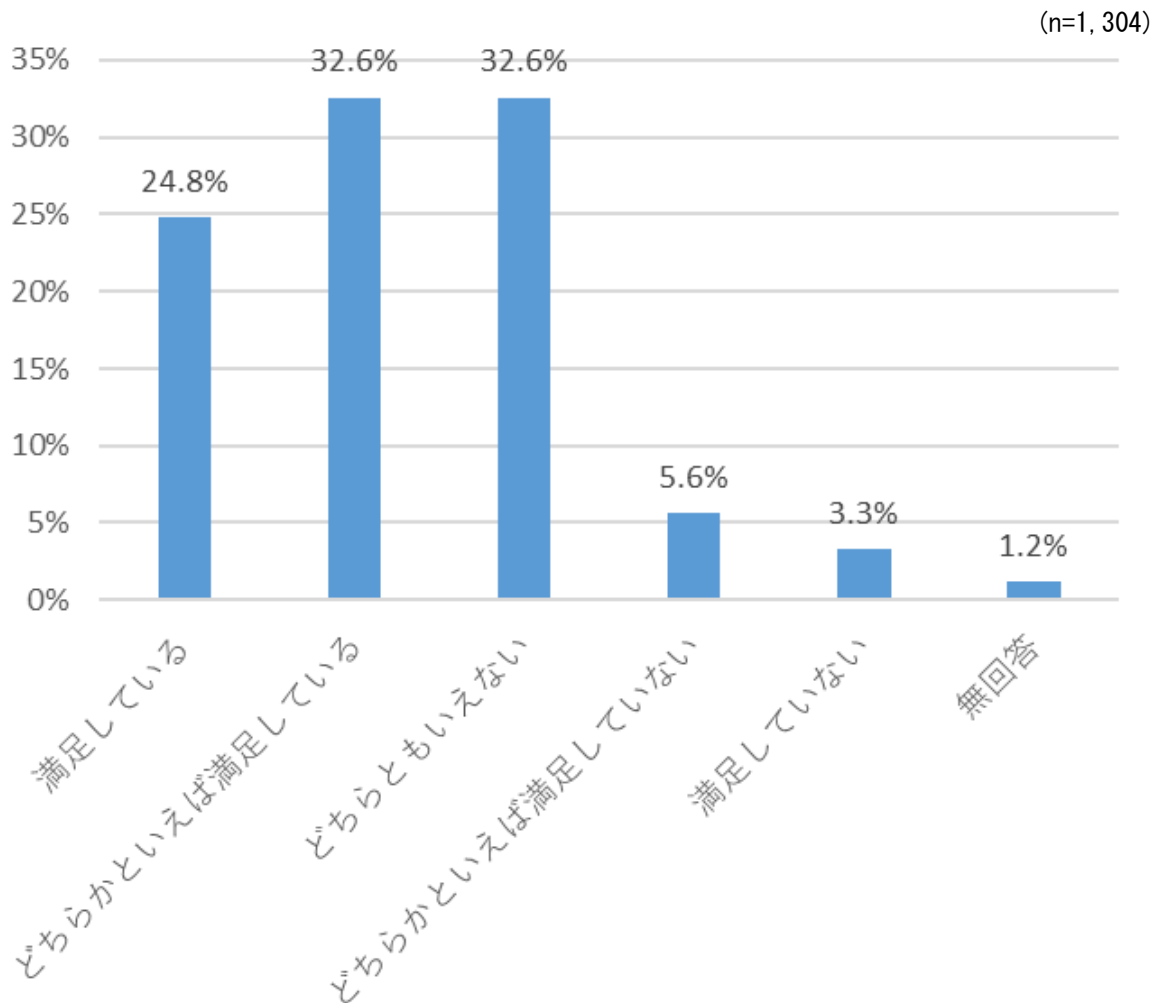
	R5	
	件数	構成比
おおいに関わりがある	90	6.9%
どちらかといえば関わりがある	374	28.7%
どちらともいえない	268	20.6%
どちらかといえば関わりはない	277	21.2%
ほとんど関わりはない	278	21.3%
無回答	17	1.3%
合計	1,304	100%



問 10 地域の人とのつながり満足度

「どちらかといえば満足している」及び「どちらともいえない」がそれぞれ 32.6%と最も高い回答となっています。

	R5	
	件数	構成比
満足している	323	24.8%
どちらかといえば満足している	425	32.6%
どちらともいえない	425	32.6%
どちらかといえば満足していない	73	5.6%
満足していない	43	3.3%
無回答	15	1.2%
合計	1,304	100%



問 9 地域の人との関わり × 問 10 地域の人とのつながり満足度

地域の人との関わりとその満足度を比較すると、「おおいに関わりがある」又は「ほとんど関わりはない」と回答した人は、「満足している」という回答が最も高い割合となっています。

また、地域の人と関わりがある人（「おおいに関わりがある」又は「どちらかといえば関わりがある」と回答した人）とその満足度を比較すると、「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」という回答が 82.1%となっています。

なお、地域の人と関わりがない人（「どちらかといえば関わりはない」又は「ほとんど関わりはない」と回答した人）とその満足度を比較すると、「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」という回答が 45.9%となっています。

			地域の人とのつながり満足度					
			満足して いる	どちらか といえば 満足して いる	どちらと もいえな い	どちらか といえば 満足して いない	満足して いない	無回答
			n=323	n=425	n=425	n=73	n=43	n=15
地域の人との関わり	おおいに関わりがある	n=90	68.9%	25.6%	4.4%	1.1%	0.0%	0.0%
	どちらかといえば関わりがある	n=374	24.3%	54.8%	17.4%	2.4%	1.1%	0.0%
	どちらともいえない	n=268	11.2%	29.9%	54.1%	4.1%	0.7%	0.0%
	どちらかといえば関わりはない	n=277	13.7%	26.4%	45.5%	12.3%	2.2%	0.0%
	ほとんど関わりはない	n=278	36.3%	15.5%	30.6%	6.5%	11.2%	0.0%
	無回答	n=17	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	88.2%

			地域の人とのつながり満足度					
			満足して いる	どちらか といえば 満足して いる	どちらと もいえな い	どちらか といえば 満足して いない	満足して いない	無回答
			n=323	n=425	n=425	n=73	n=43	n=15
地域の人との関わり	おおいに関わりがある	n=90	82.1%		14.9%	3.0%		0.0%
	どちらかといえば関わりがある	n=374						
	どちらともいえない	n=268	41.0%		54.1%	4.9%		0.0%
	どちらかといえば関わりはない	n=277	45.9%		38.0%	16.0%		0.0%
	ほとんど関わりはない	n=278						
	無回答	n=17	11.8%		0.0%	0.0%		88.2%

問 7 食事状況 × 問 9 地域の人との関わり

食事状況と地域の人との関わりを比較すると、「ほとんどない」という回答をした人は「どちらかといえば関わりがある」という回答が最も高い割合となっていますが、全体的にみると、食事状況に関わらず、地域の人と関わりはない（「どちらかといえば関わりはない」又は「ほとんど関わりはない」と回答した人）という回答が割合として高くなっています。

			地域の人との関わり					
			おおいに関わりがある	どちらかといえば関わりがある	どちらともいえない	どちらかといえば関わりはない	ほとんど関わりはない	無回答
			n=90	n=374	n=268	n=277	n=278	n=17
食事状況	ほとんどない	n=850	7.1%	31.6%	21.6%	20.7%	18.2%	0.7%
	週に1日程度ある	n=65	4.6%	24.6%	23.1%	26.2%	21.5%	0.0%
	週に2～3日ある	n=83	8.4%	22.9%	21.7%	21.7%	25.3%	0.0%
	週に4～5日ある	n=49	0.0%	8.2%	24.5%	24.5%	42.9%	0.0%
	ほとんど毎日	n=248	8.1%	26.2%	15.7%	20.6%	27.0%	2.4%
	無回答	n=9	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%	55.6%

			地域の人との関わり					
			おおいに関わりがある	どちらか といえ ば関わりがある	どちらとも いえ ない	どちらか といえ ば関わりは ない	ほとんど 関わりは ない	無回答
食事状況	ほとんどない	n=850	37.5%		21.7%	40.2%		2.8%
	週に1日程度ある	n=65						
	週に2～3日ある	n=83						
	週に4～5日ある	n=49	30.0%		17.2%	50.8%		2.0%
	ほとんど毎日	n=248						
	無回答	n=9	11.1%		0.0%	33.3%		55.6%

問 4 居住地域 × 問 9 地域の人との関わり

居住地域と地域の人との関わりを比較すると、7 地域においては、「どちらかといえば関わりがある」という回答が最も高い割合となっていますが、2 地域においては、「ほとんど関わりはない」という回答が最も高い割合となっています。

なお、地域の人と関わりがある（「おおいに関わりがある」又は「どちらかといえば関わりがある」と回答した人）という回答より、地域の人と関わりはない（「どちらかといえば関わりはない」又は「ほとんど関わりはない」と回答した人）という回答の割合が高い地域は、7 地域となっています。

			地域の人との関わり					
			おおいに関わりがある	どちらかといえば関わりがある	どちらともいえない	どちらかといえば関わりはない	ほとんど関わりはない	無回答
			n=90	n=374	n=268	n=277	n=278	n=17
居住地域	西厨川・桜城	n=118	3.4%	24.6%	22.9%	20.3%	28.8%	0.0%
	仁王・上田	n=98	4.1%	40.8%	16.3%	16.3%	21.4%	1.0%
	米内・山岸	n=71	11.3%	35.2%	16.9%	21.1%	14.1%	1.4%
	松園・緑が丘	n=164	4.3%	33.5%	22.6%	24.4%	14.0%	1.2%
	加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	n=164	7.9%	26.2%	22.6%	19.5%	22.6%	1.2%
	青山・東厨川・土淵	n=185	4.3%	27.6%	21.6%	25.9%	18.9%	1.6%
	みたけ・厨川	n=64	6.3%	25.0%	26.6%	17.2%	25.0%	0.0%
	仙北・本宮・太田・つなぎ	n=166	5.4%	25.9%	16.9%	21.7%	30.1%	0.0%
	見前・津志田・乙部	n=123	10.6%	23.6%	18.7%	25.2%	21.1%	0.8%
	飯岡・永井	n=77	16.9%	27.3%	23.4%	13.0%	19.5%	0.0%
	玉山	n=56	12.5%	32.1%	21.4%	19.6%	14.3%	0.0%
	無回答	n=18	0.0%	22.2%	5.6%	16.7%	16.7%	38.9%

地域福祉に関するアンケート調査（市民 18 歳以上）

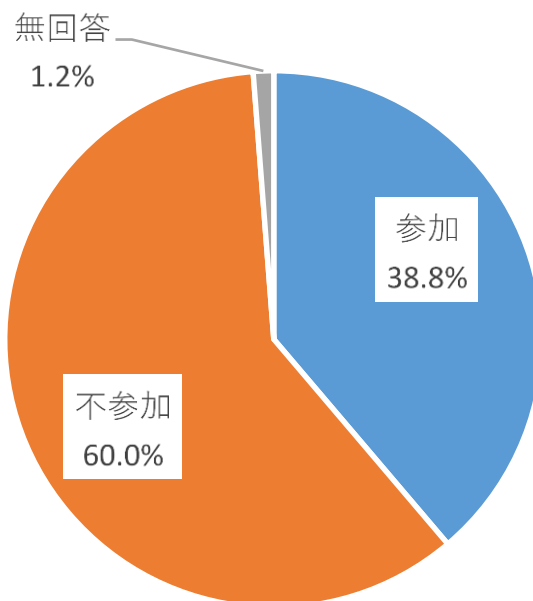
			地域の人との関わり					
			おおいに関わりがある	どちらかといえば関わりがある	どちらともいえない	どちらかといえば関わりはない	ほとんど関わりはない	無回答
			n=90	n=374	n=268	n=277	n=278	n=17
居住地域	西厨川・桜城	n=118	28.0%		22.9%	49.2%		0.0%
	仁王・上田	n=98	44.9%		16.3%	37.8%		1.0%
	米内・山岸	n=71	46.5%		16.9%	35.2%		1.4%
	松園・緑が丘	n=164	37.8%		22.6%	38.4%		1.2%
	加賀野・城南・ 杜陵・大慈寺・ 中野・築川	n=164	34.1%		22.6%	42.1%		1.2%
	青山・東厨川・ 土淵	n=185	31.9%		21.6%	44.9%		1.6%
	みたけ・厨川	n=64	31.3%		26.6%	42.2%		0.0%
	仙北・本宮・太 田・つなぎ	n=166	31.3%		16.9%	51.8%		0.0%
	見前・津志田・ 乙部	n=123	34.1%		18.7%	46.3%		0.8%
	飯岡・永井	n=77	44.2%		23.4%	32.5%		0.0%
	玉山	n=56	44.6%		21.4%	33.9%		0.0%
	無回答	n=18	22.2%		5.6%	33.3%		38.9%

問 11 地域活動の参加状況(1年以内)

「参加」38.8%、「不参加」60.0%となっています。

以前の調査と比較すると、前々回（H25）調査まで減少傾向であった「参加」の割合が、前回（H31）調査で増加に転じましたが、再び減少に転じています。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
参加	675	49.7%	543	49.1%	414	45.1%	435	48.3%	506	38.8%
不参加	676	49.8%	551	49.8%	473	51.5%	438	48.7%	782	60.0%
無回答	7	0.5%	13	1.2%	31	3.4%	27	3.0%	16	1.2%
合計	1,358	100%	1,107	100%	917	100%	900	100%	1,304	100%

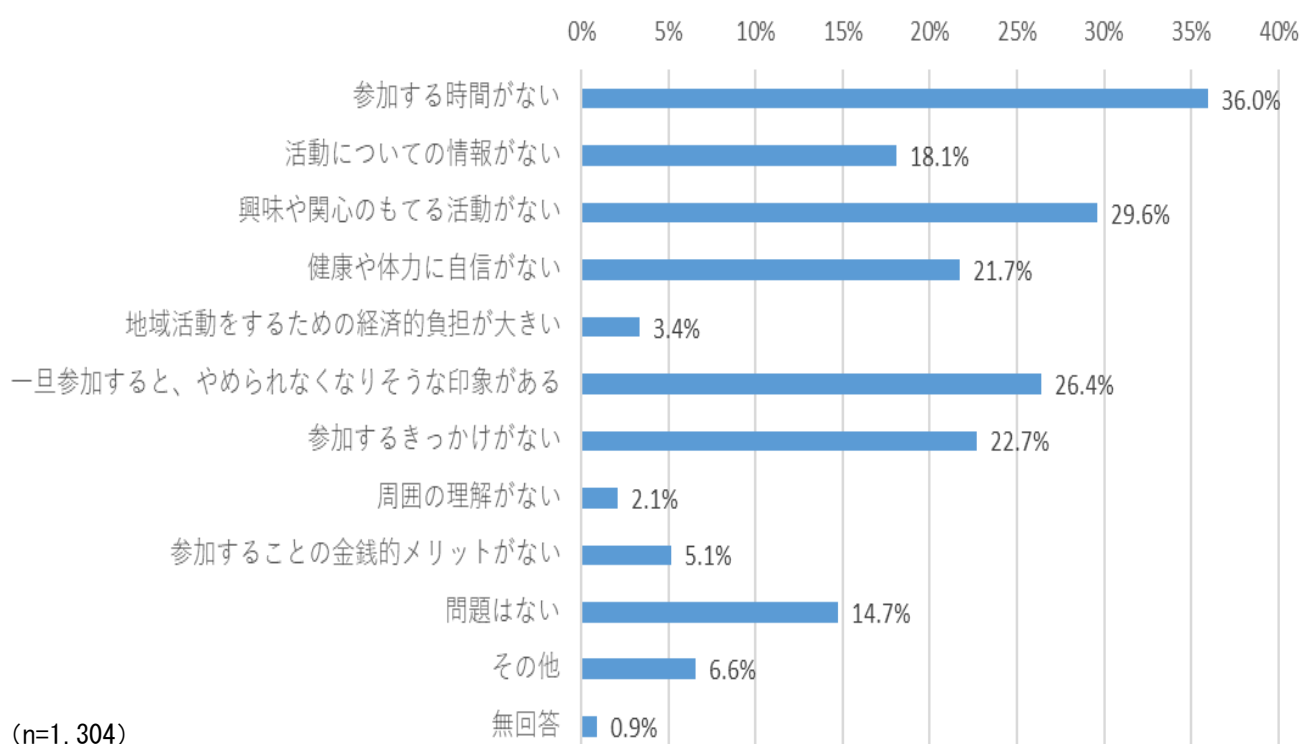


(n=1,304)

問 12 地域活動への参加に対する問題（あてはまるものすべて）

「参加する時間がない」が 36.0%と最も高く、次いで「興味や関心のもてる活動がない」が 29.6%となっています。

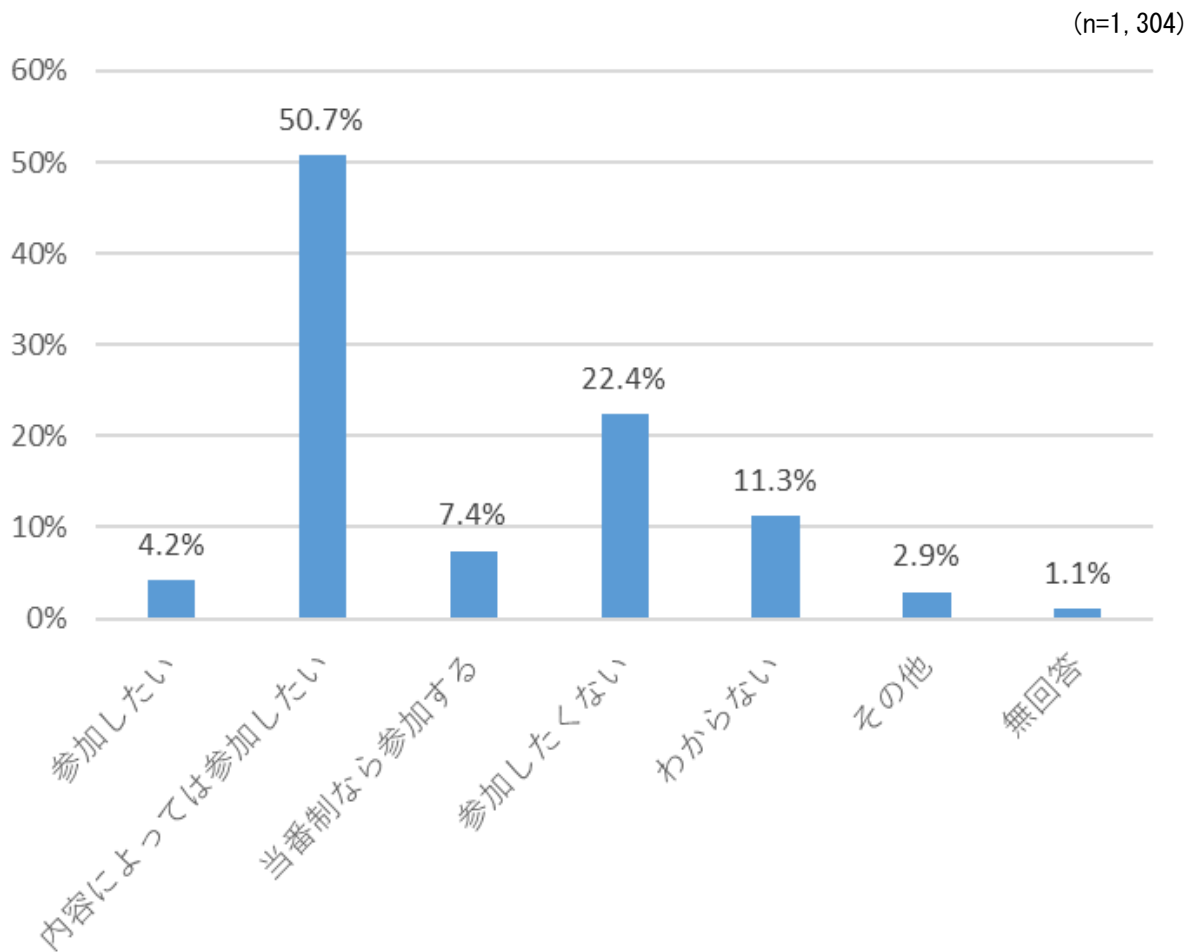
	R5	
	件数	構成比
参加する時間がない	469	36.0%
活動についての情報がない	236	18.1%
興味や関心のもてる活動がない	386	29.6%
健康や体力に自信がない	283	21.7%
地域活動をするための経済的負担が大きい	44	3.4%
一旦参加すると、やめられなくなりそうな印象がある	344	26.4%
参加するきっかけがない	296	22.7%
周囲の理解がない	27	2.1%
参加することの金銭的メリットがない	67	5.1%
問題はない	192	14.7%
その他	86	6.6%
無回答	12	0.9%
合計	1,304	-



問 13 地域活動に対する気持ち

「内容によっては参加したい」が回答者の半数以上の 50.7%と最も高い回答となっています。

	R5	
	件数	構成比
参加したい	55	4.2%
内容によっては参加したい	661	50.7%
当番制なら参加する	97	7.4%
参加したくない	292	22.4%
わからない	147	11.3%
その他	38	2.9%
無回答	14	1.1%
合計	1,304	100%

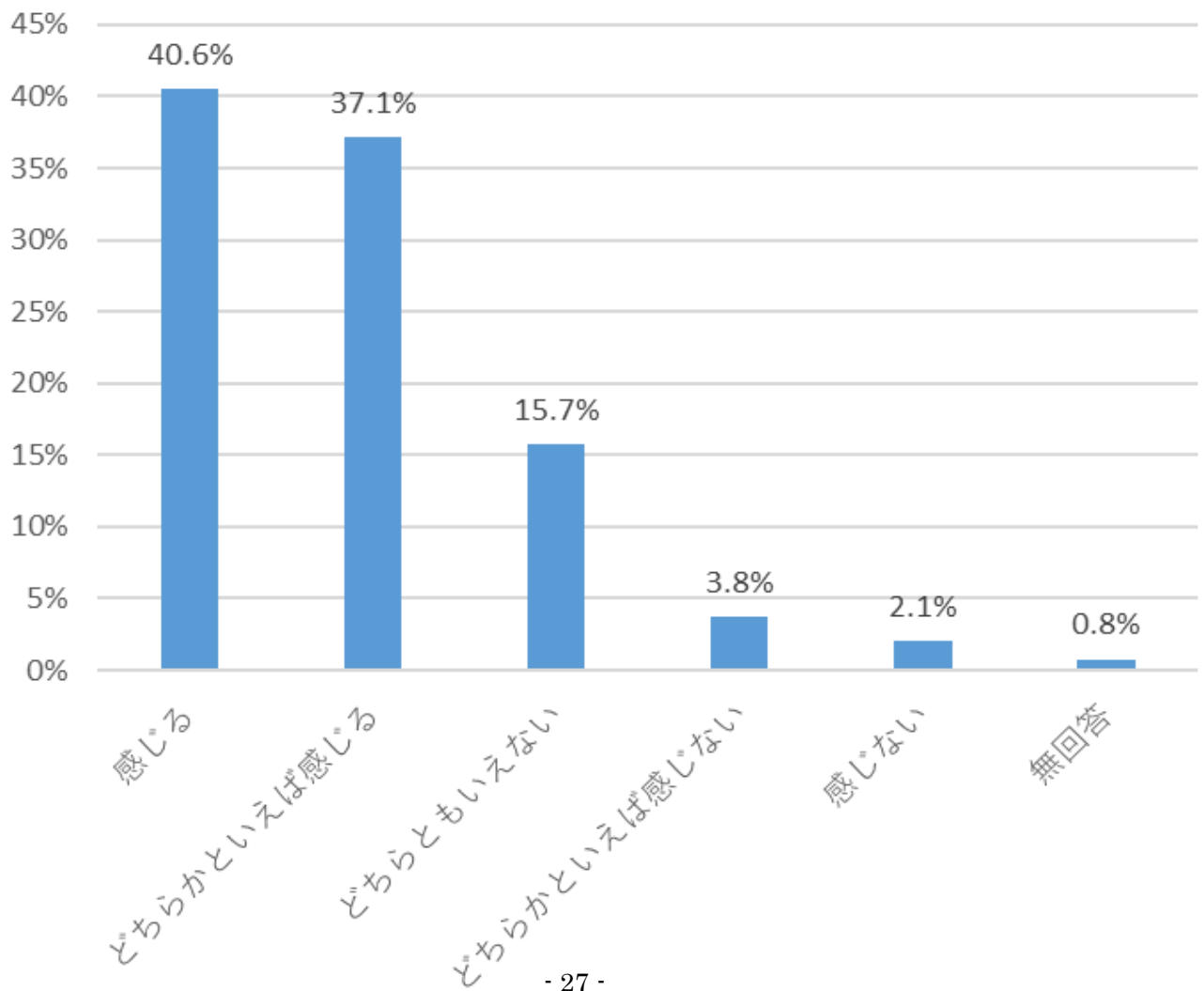


問 14 地域の住みやすさ

「感じる」が 40.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば感じる」が 37.1%となっています。

	R5	
	件数	構成比
感じる	529	40.6%
どちらかといえば感じる	484	37.1%
どちらともいえない	205	15.7%
どちらかといえば感じない	49	3.8%
感じない	27	2.1%
無回答	10	0.8%
合計	1,304	100%

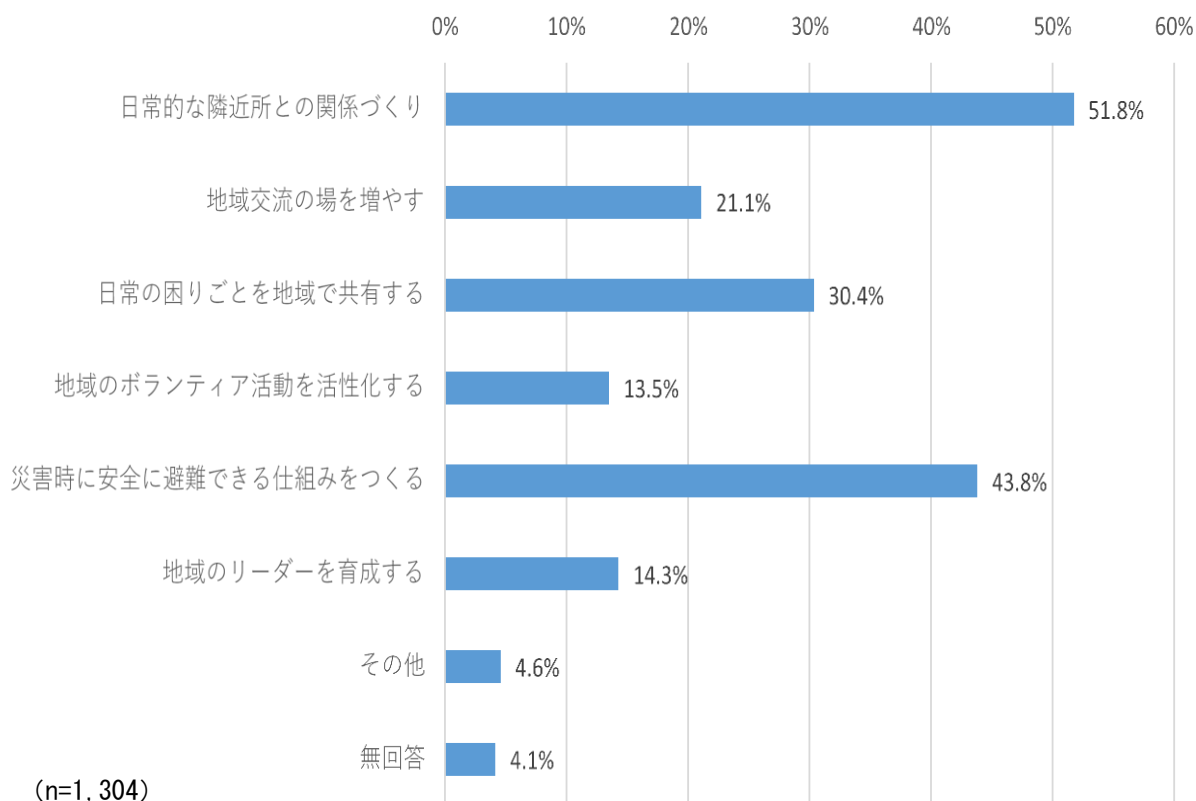
(n=1,304)



問 15 安心して生活していくために重要だと思う取り組み（あてはまるものすべて）

「日常的な隣近所との関係づくり」が 51.8%と最も高く、次いで「災害時に安全に避難できる仕組みをつくる」が 43.8%となっています。

	R5	
	件数	構成比
日常的な隣近所との関係づくり	675	51.8%
地域交流の場を増やす	275	21.1%
日常の困りごとを地域で共有する	396	30.4%
地域のボランティア活動を活性化する	176	13.5%
災害時に安全に避難できる仕組みをつくる	571	43.8%
地域のリーダーを育成する	186	14.3%
その他	60	4.6%
無回答	54	4.1%
合計	1,304	-



問 9 地域の人との関わり × 問 15 安心して生活していくために重要だと思う取り組み

地域の人との関わりと重要だと思う取り組みについて比較すると、地域の人と関わりがある人（「おおいに関わりがある」又は「どちらかといえば関わりがある」と回答した人）は、「日常的な隣近所との関係づくり」という回答が最も高い割合となっていますが、地域の人と関わりがない人（「どちらかといえば関わりはない」又は「ほとんど関わりはない」と回答した人）は「災害時に安全に避難できる仕組みをつくる」という回答が最も高い割合となっています。

			安心して生活していくために重要だと思う取り組み							
			日常的な 隣近所との 関係づくり	地域交流 の場を増 やす	日常の困 りごとを 地域で共 有する	地域のボ ランティア活動 を活性化す る	災害時に 安全に避 難できる 仕組みを つくる	地域の リーダー を育成す る	その他	無回答
			n=675	n=275	n=396	n=176	n=571	n=186	n=60	n=54
地域 の 人 と の 関 わ り	おおいに関わりがある	n=90	70.0%	34.4%	43.3%	26.7%	36.7%	34.4%	4.4%	-
	どちらかといえば関わりがある	n=374	66.6%	24.3%	32.4%	13.4%	36.1%	19.0%	4.3%	-
	どちらともいえない	n=268	53.0%	18.3%	29.1%	13.8%	45.1%	11.2%	1.9%	-
	どちらかといえば関わりはない	n=277	42.2%	20.6%	32.5%	13.0%	45.5%	9.7%	5.8%	-
	ほとんど関わりはない	n=278	35.6%	16.9%	24.1%	10.4%	55.8%	9.7%	6.8%	-
	無回答	n=17	29.4%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	-

問 4 居住地域 × 問 15 安心して生活していくために重要だと思う取り組み

居住地域と重要だと思う取り組みについて比較すると、9 地域においては、「日常的な隣近所との関係づくり」という回答が最も高い割合となっています。

なお、8 地域においては、「地域のボランティア活動を活性化する」という回答が最も低い割合となっています。

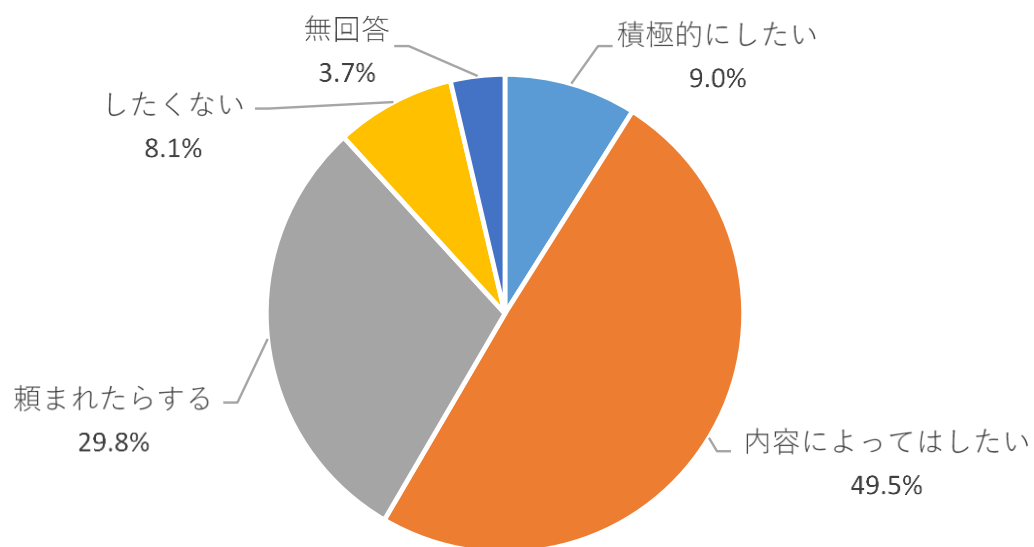
			安心して生活していくために重要だと思う取り組み							
			日常的な隣近所との関係づくり	地域交流の場を増やす	日常の困りごとを地域で共有する	地域のボランティア活動を活性化する	災害時に安全に避難できる仕組みをつくる	地域のリーダーを育成する	その他	無回答
			n=675	n=275	n=396	n=176	n=571	n=186	n=60	n=54
居住地域	西厨川・桜城	n=118	45.8%	15.3%	28.0%	12.7%	56.8%	17.8%	4.2%	-
	仁王・上田	n=98	54.1%	29.6%	35.7%	16.3%	45.9%	8.2%	3.1%	-
	米内・山岸	n=71	45.1%	14.1%	46.5%	18.3%	35.2%	14.1%	7.0%	-
	松園・緑が丘	n=164	55.5%	25.6%	36.0%	16.5%	38.4%	16.5%	3.0%	-
	加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	n=164	43.9%	20.7%	25.6%	12.8%	43.3%	14.6%	5.5%	-
	青山・東厨川・土淵	n=185	57.8%	21.1%	28.1%	13.0%	46.5%	13.0%	2.7%	-
	みたけ・厨川	n=64	43.8%	17.2%	17.2%	14.1%	42.2%	9.4%	6.3%	-
	仙北・本宮・太田・つなぎ	n=166	53.6%	23.5%	27.1%	12.7%	45.8%	14.5%	4.2%	-
	見前・津志田・乙部	n=123	51.2%	23.6%	37.4%	10.6%	49.6%	13.0%	4.9%	-
	飯岡・永井	n=77	63.6%	19.5%	36.4%	14.3%	35.1%	18.2%	5.2%	-
	玉山	n=56	51.8%	16.1%	16.1%	7.1%	37.5%	16.1%	10.7%	-
	無回答	n=18	44.4%	0.0%	16.7%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%	-

■地域の支え合いについて

問 16 隣近所で困っている世帯への手助けについての気持ち

「内容によってはしたい」が 49.5%と最も高く、次いで「頼まれたらする」が 29.8%となっています。

	R5	
	件数	構成比
積極的にしたい	117	9.0%
内容によってはしたい	645	49.5%
頼まれたらする	388	29.8%
したくない	106	8.1%
無回答	48	3.7%
合計	1,304	100%

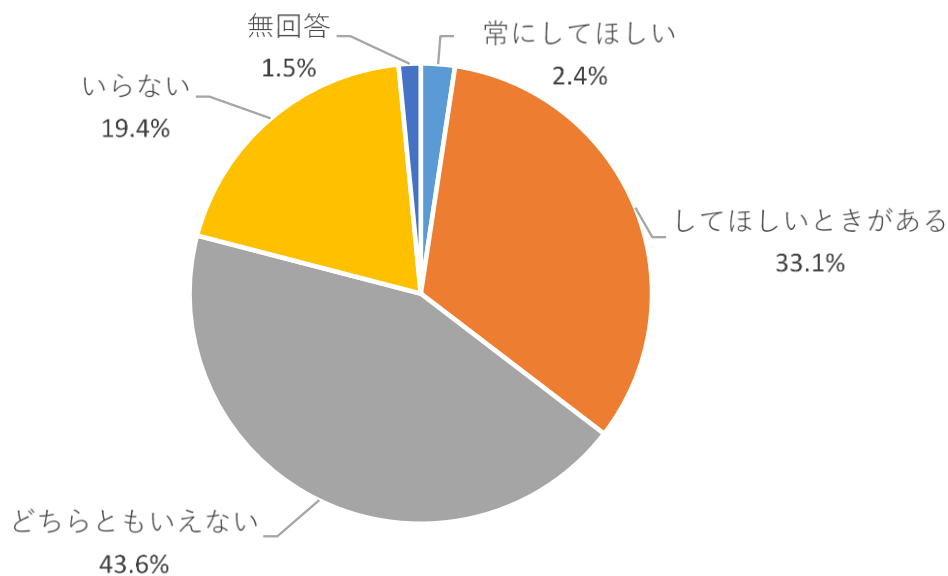


(n=1,304)

問 17 隣近所の人に手助けしてほしいか

「どちらともいえない」が 43.6%と最も高く、次いで「してほしいときがある」が 33.1%となっています。

	R5	
	件数	構成比
常にしてほしい	31	2.4%
してほしいときがある	431	33.1%
どちらともいえない	569	43.6%
いらない	253	19.4%
無回答	20	1.5%
合計	1,304	100%

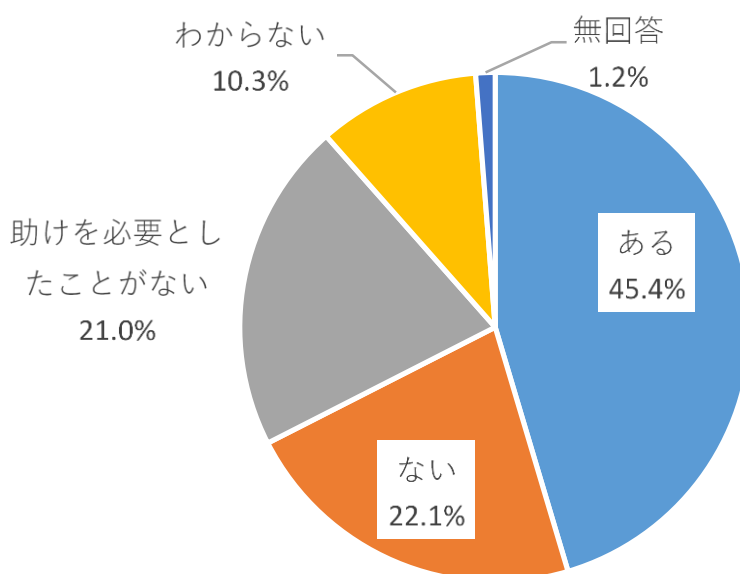


(n=1,304)

問 18 地域の人に支えられた(助けられた)ことの有無

「ある」45.4%、「ない」22.1%となっています。
以前の調査と比較すると、「ある」の割合が増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ある	279	20.5%	235	21.2%	203	22.1%	195	21.7%	592	45.4%
ない	631	46.5%	522	47.2%	437	47.6%	406	45.1%	288	22.1%
助けを必要としたことがない	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		274	21.0%
わからない	353	26.0%	276	24.9%	217	23.6%	243	27.0%	134	10.3%
無回答	95	7.0%	74	6.7%	61	6.7%	56	6.2%	16	1.2%
合計	1,358	100%	1,107	100%	917	100%	900	100%	1,304	100%

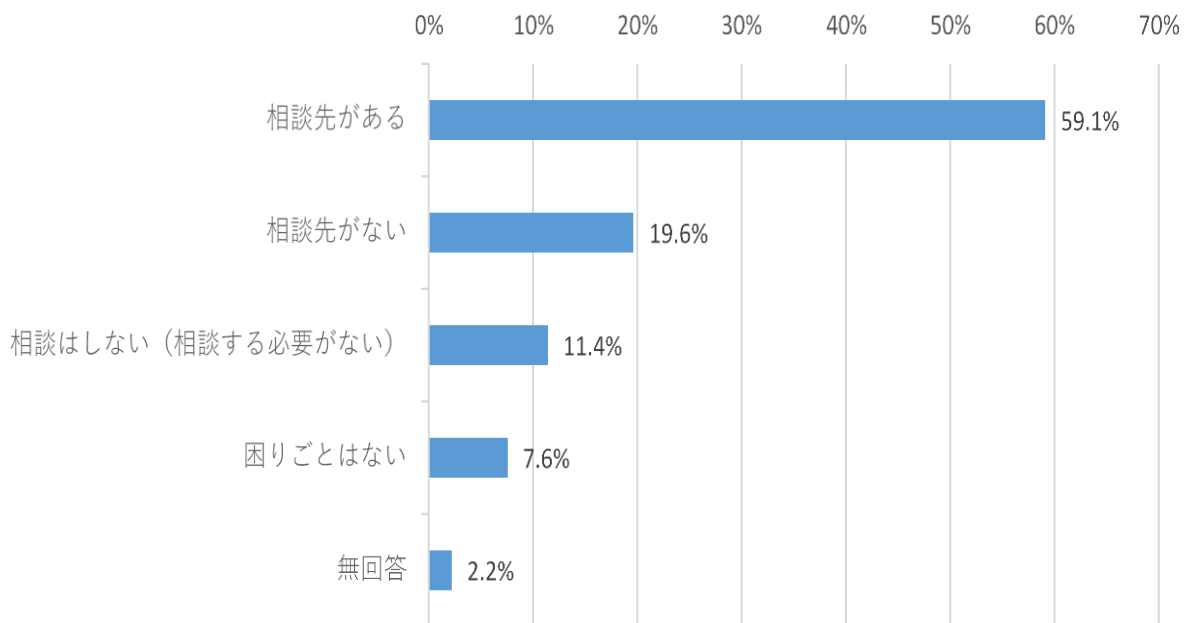


(n=1,304)

問 19 家族や親族以外に相談できる人または相談できる場所の有無

「相談先がある」が回答者の半数以上の 59.1%と最も高い回答となっています。

	R5	
	件数	構成比
相談先がある	771	59.1%
相談先がない	256	19.6%
相談はしない（相談する必要がある）	149	11.4%
困りごとはない	99	7.6%
無回答	29	2.2%
合計	1,304	100%



(n=1,304)

問 9 地域の人との関わり × 問 19 家族や親族以外に相談できる人・場所の有無

地域の人との関わりと相談できる人・場所の有無について比較すると、関わり具合に関わらず、「相談先がある」という回答が最も高い割合となっています。

しかし、関わり具合が低くなるのに比例し、「相談先がない」という回答の割合が高くなっています。

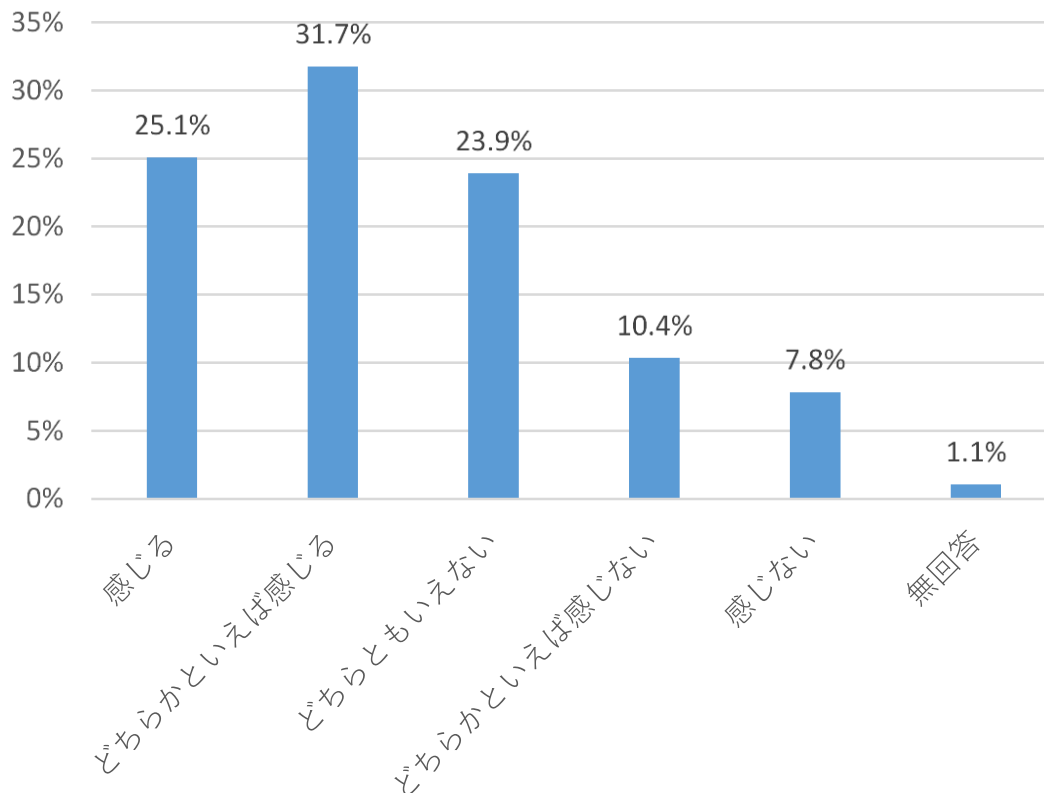
			家族や親族以外に相談できる人・場所の有無				
			相談先がある	相談先がない	相談はしない（相談する必要がない）	困りごとはない	無回答
			n=771	n=256	n=149	n=99	n=29
地域との関わり	おおいに関わりがある	n=90	67.8%	11.1%	5.6%	13.3%	2.2%
	どちらかといえば関わりがある	n=374	68.2%	13.6%	10.4%	5.9%	1.9%
	どちらともいえない	n=268	64.2%	16.4%	10.8%	6.0%	2.6%
	どちらかといえば関わりはない	n=277	53.4%	23.5%	12.3%	8.7%	2.2%
	ほとんど関わりはない	n=278	46.0%	29.1%	15.1%	8.3%	1.4%
	無回答	n=17	41.2%	29.4%	0.0%	11.8%	17.6%

問 20 災害時に近隣の人と支え合う(助け合う)関係があると感じているか

「どちらかといえば感じる」が 31.7%と最も高く、次いで「感じる」が 25.1%となっています。

	R5	
	件数	構成比
感じる	327	25.1%
どちらかといえば感じる	414	31.7%
どちらともいえない	312	23.9%
どちらかといえば感じない	135	10.4%
感じない	102	7.8%
無回答	14	1.1%
合計	1,304	100%

(n=1,304)



問 9 地域の人との関わり × 問 20 災害時に近隣の人と支え合う(助け合う)関係性

地域の人との関わりと災害時に近隣の人と支え合う(助け合う)関係性について比較すると、「ほとんど関わりはない」という人を除き、関係性を「感じる（「どちらかといえば感じる」を含む。）」という回答の割合が高くなっています。

			災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係性					
			感じる	どちらか といえば 感じる	どちらと もいえな い	どちらか といえば 感じない	感じない	無回答
			n=327	n=414	n=312	n=135	n=102	n=14
地域との 関わり	おおいに関わりがある	n=90	58.9%	31.1%	7.8%	1.1%	0.0%	1.1%
	どちらかといえば関わりがある	n=374	31.8%	41.2%	21.1%	2.9%	2.4%	0.5%
	どちらともいえない	n=268	21.6%	33.2%	32.8%	8.6%	2.6%	1.1%
	どちらかといえば関わりはない	n=277	17.3%	30.7%	26.4%	16.2%	7.9%	1.4%
	ほとんど関わりはない	n=278	16.9%	20.1%	21.9%	18.3%	22.7%	0.0%
	無回答	n=17	11.8%	11.8%	23.5%	23.5%	5.9%	23.5%

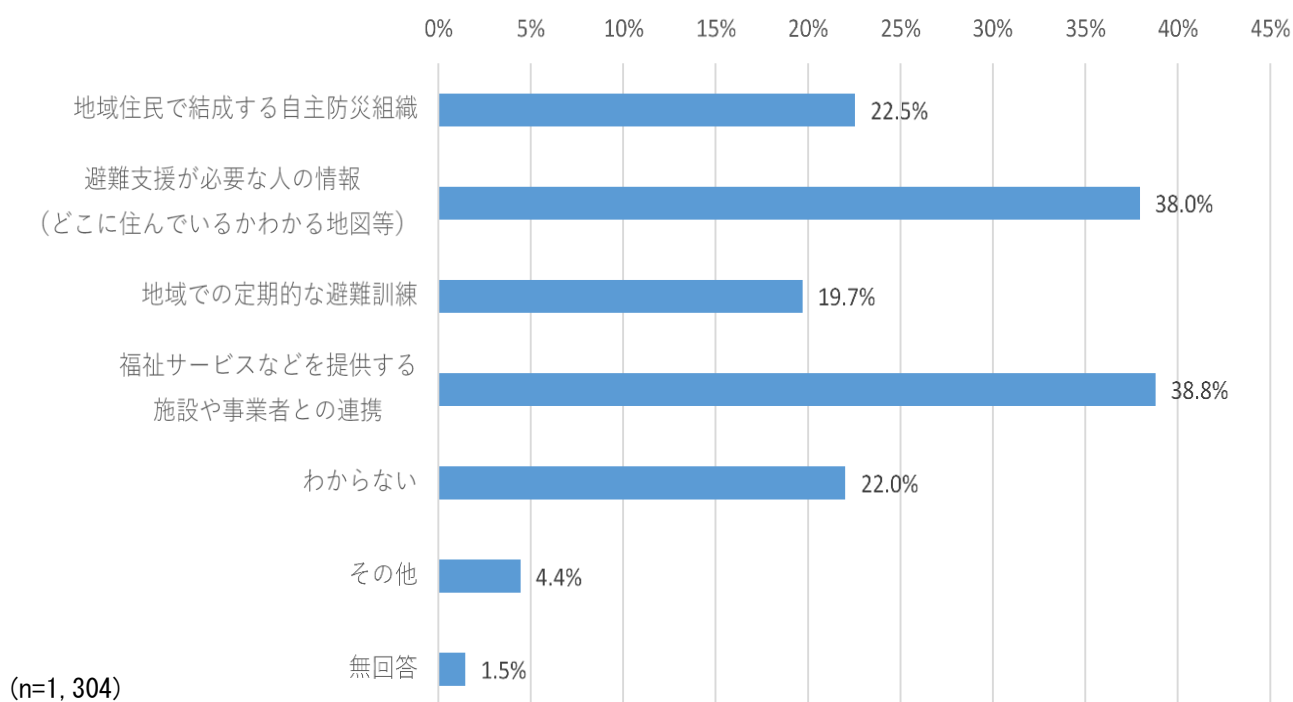
問 21 災害時に近隣の人と支え合う(助け合う)関係づくりには何が必要か(あてはまるものすべて)

「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」が 38.8%と最も高く、次いで「避難支援が必要な人の情報（どこに住んでいるかわかる地図等）」が 38.0%となっています。

以前の調査と比較すると、減少傾向にあった「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」の割合が増加に転じています。一方で、「地域住民で結成する自主防災組織」「避難支援が必要な人の情報」の割合は減少傾向にあります。

	H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
地域住民で結成する自主防災組織	464	41.9%	374	40.8%	355	39.4%	294	22.5%
避難支援が必要な人の情報（どこに住んでいるかわかる地図等）	675	61.0%	506	55.2%	468	52.0%	495	38.0%
地域での定期的な避難訓練	257	23.2%	251	27.4%	235	26.1%	257	19.7%
地域やグループなどでの勉強会	231	20.9%	149	16.2%	149	16.6%	選択肢無	
福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	391	35.3%	319	34.8%	272	30.2%	506	38.8%
わからない	122	11.0%	102	11.1%	130	14.4%	287	22.0%
その他	33	3.0%	29	3.2%	23	2.6%	58	4.4%
無回答	63	5.7%	83	9.0%	91	10.1%	19	1.5%
合計	1,107	-	917	-	900	-	1,304	-

※H31 までは、選択肢のうち、3つまでしか選択できない。



問 9 地域の人との関わり × 問 21 災害時に近隣の人と支え合う(助け合う)関係づくりに必要なこと

地域の人との関わりと災害時に支え合う（助け合う）関係づくりに必要なことについて比較すると、地域の人とおおいに関わりがある人は「地域住民で結成する自主防災組織」という回答が最も高い割合となっており、どちらかといえば関わりがある人（「どちらともいえない」を含む。）は、「避難支援が必要な人の情報（どこに住んでいるかわかる地図等）」という回答が最も高い割合となっていますが、地域の人と関わりがない人（「どちらかといえば関わりはない」又は「ほとんど関わりはない」と回答した人）は、「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」という回答が最も高い割合となっています。

			災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係づくりに必要なこと					
			地域住民で結成する自主防災組織	避難支援が必要な人の情報（どこに住んでいるかわかる地図等）	地域での定期的な避難訓練	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	わからない	その他
			n=294	n=495	n=257	n=506	n=287	n=58
地域の人との関わり	おおいに関わりがある	n=90	48.9%	43.3%	31.1%	36.7%	13.3%	3.3%
	どちらかといえば関わりがある	n=374	24.6%	42.8%	23.5%	41.4%	12.6%	5.3%
	どちらともいえない	n=268	20.9%	41.0%	11.6%	35.1%	26.1%	3.4%
	どちらかといえば関わりはない	n=277	19.5%	37.5%	21.3%	41.2%	21.3%	5.1%
	ほとんど関わりはない	n=278	16.5%	28.1%	17.3%	37.8%	34.2%	4.3%
	無回答	n=17	11.8%	23.5%	17.6%	29.4%	23.5%	0.0%

問 4 居住地域 × 問 21 災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係づくりに必要なこと

居住地域と災害時に支え合う（助け合う）関係づくりに必要なことについて比較すると、「避難支援が必要な人の情報」及び「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」という回答がそれぞれ 5 地域において、最も高い割合となっています。

なお、7 地域においては、「地域での定期的な避難訓練」という回答が最も低い割合となっています。

			災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係づくりに必要なこと						
			地域住民で結成する自主防災組織	避難支援が必要な人の情報（どこに住んでいるかわかる地図等）	地域での定期的な避難訓練	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	わからない	その他	無回答
			n=294	n=495	n=257	n=506	n=287	n=58	n=19
居住地域	西厨川・桜城	n=118	23. 7%	34. 7%	21. 2%	44. 1%	22. 0%	4. 2%	－
	仁王・上田	n=98	26. 5%	30. 6%	31. 6%	41. 8%	21. 4%	3. 1%	－
	米内・山岸	n=71	23. 9%	49. 3%	18. 3%	42. 3%	15. 5%	7. 0%	－
	松園・緑が丘	n=164	22. 6%	40. 2%	20. 1%	39. 0%	23. 2%	3. 7%	－
	加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	n=164	22. 6%	42. 1%	15. 2%	38. 4%	25. 6%	3. 0%	－
	青山・東厨川・土淵	n=185	20. 5%	42. 7%	18. 4%	40. 5%	22. 7%	3. 2%	－
	みたけ・厨川	n=64	23. 4%	28. 1%	15. 6%	25. 0%	29. 7%	3. 1%	－
	仙北・本宮・太田・つなぎ	n=166	19. 9%	31. 9%	19. 3%	37. 3%	24. 1%	7. 8%	－
	見前・津志田・乙部	n=123	26. 8%	35. 0%	22. 8%	42. 3%	16. 3%	7. 3%	－
	飯岡・永井	n=77	19. 5%	46. 8%	20. 8%	31. 2%	15. 6%	1. 3%	－
	玉山	n=56	23. 2%	37. 5%	10. 7%	41. 1%	19. 6%	3. 6%	－
	無回答	n=18	11. 1%	22. 2%	22. 2%	22. 2%	27. 8%	5. 6%	－

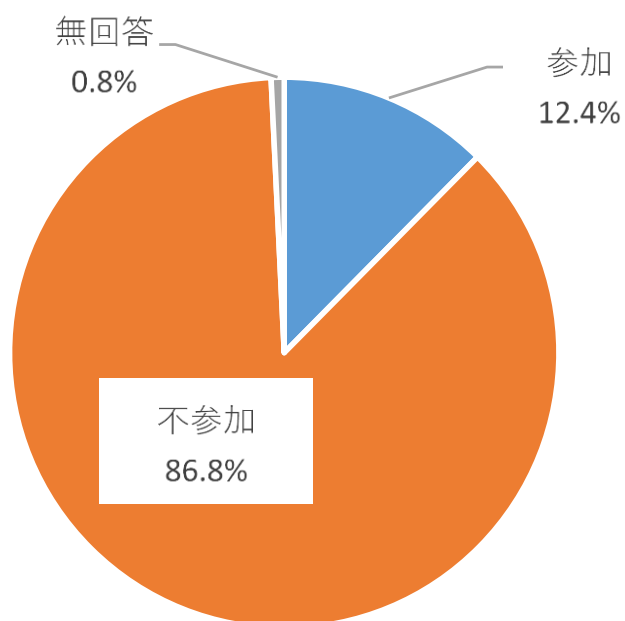
■ボランティア活動について

問 22 ボランティア活動への参加状況（1年以内）

「参加」12.4%、「不参加」86.8%となっています。
以前の調査と比較すると、「不参加」の割合が増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
参加	383	28.2%	362	32.7%	313	34.1%	291	32.3%	162	12.4%
不参加	950	70.0%	726	65.6%	567	61.8%	570	63.4%	1,132	86.8%
無回答	25	1.8%	19	1.7%	38	4.1%	39	4.3%	10	0.8%
合計	1,358	100%	1,107	100%	917	100%	900	100%	1,304	100%

※H31 までは、これまでのボランティア活動経験の有無を聞いている。



(n=1,304)

問 23 ボランティア活動に参加したきっかけ（あてはまるものすべて）

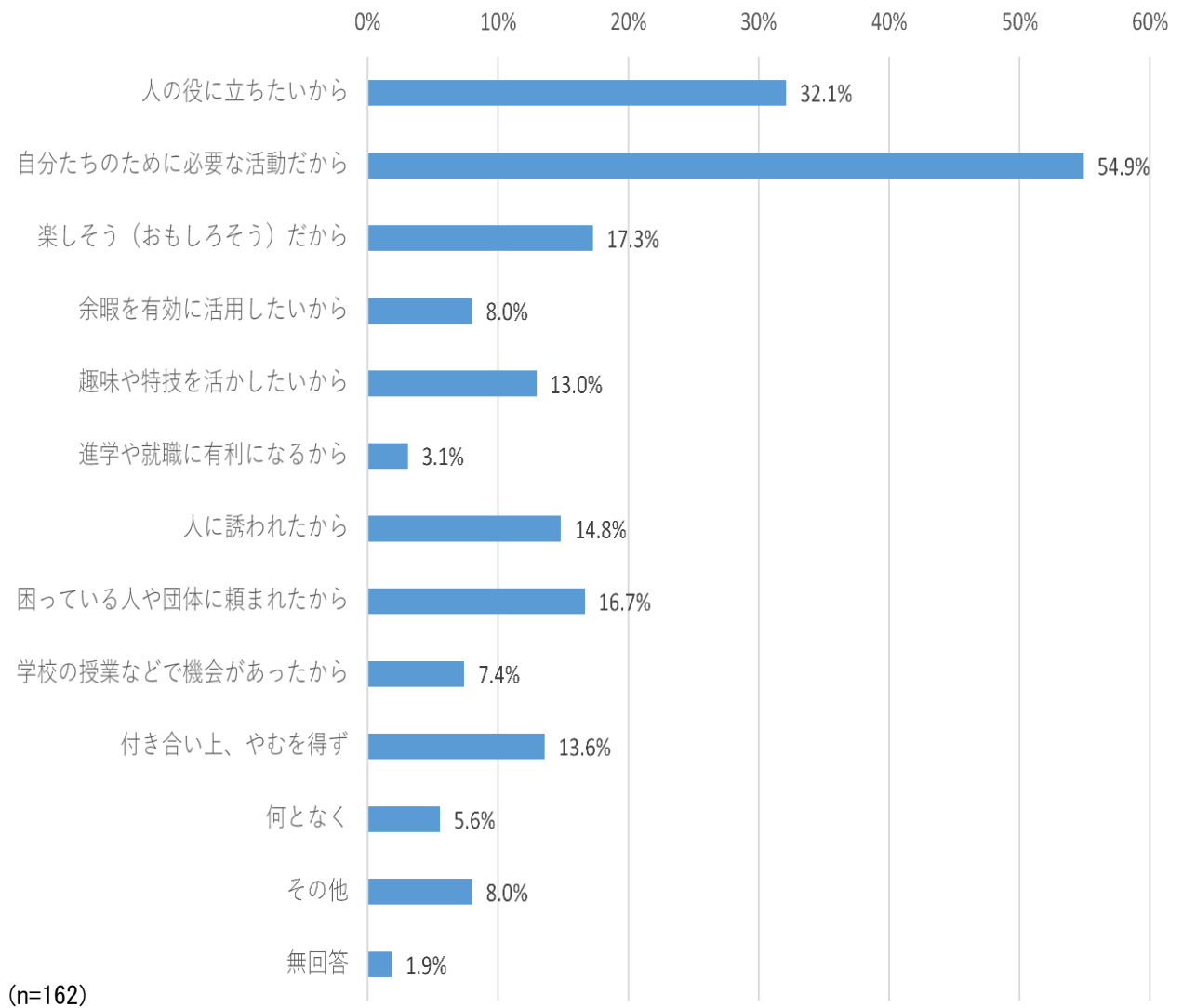
ボランティア活動に参加したと回答した 162 人に対して、ボランティア活動に参加したきっかけについて尋ねたところ、「自分たちのために必要な活動だから」が 54.9%と最も高く、次いで「人の役に立ちたいから」が 32.1%となっています。

以前の調査と比較すると、減少傾向にあった「自分たちのために必要な活動だから」の割合が増加に転じています。また、「楽しそう（おもしろそう）だから」の割合が増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
人の役に立ちたいから	147	38.4%	129	35.6%	134	42.8%	107	36.8%	52	32.1%
自分たちのために必要な活動だから	159	41.5%	121	33.4%	104	33.2%	85	29.2%	89	54.9%
楽しそう（おもしろそう）だから	29	7.6%	25	6.9%	16	5.1%	23	7.9%	28	17.3%
余暇を有効に活用したいから	41	10.7%	38	10.5%	38	12.1%	27	9.3%	13	8.0%
趣味や特技を活かしたいから	47	12.3%	56	15.5%	38	12.1%	43	14.8%	21	13.0%
進学や就職に有利になるから	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		5	3.1%
人に誘われたから	67	17.5%	57	15.7%	60	19.2%	54	18.6%	24	14.8%
困っている人や団体に頼まれたから	68	17.8%	53	14.6%	59	18.8%	61	21.0%	27	16.7%
学校の授業などで機会があったから	77	20.1%	88	24.3%	51	16.3%	43	14.8%	12	7.4%
付き合い上、やむを得ず	29	7.6%	28	7.7%	24	7.7%	23	7.9%	22	13.6%
何となく	15	3.9%	14	3.9%	6	1.9%	5	1.7%	9	5.6%
その他	20	5.2%	26	7.2%	27	8.6%	17	5.8%	13	8.0%
無回答	21	5.5%	21	5.8%	25	8.0%	25	8.6%	3	1.9%
合計	383	-	362	-	313	-	291	-	162	-

※H31 までは、選択肢のうち、3 つまでしか選択できない。

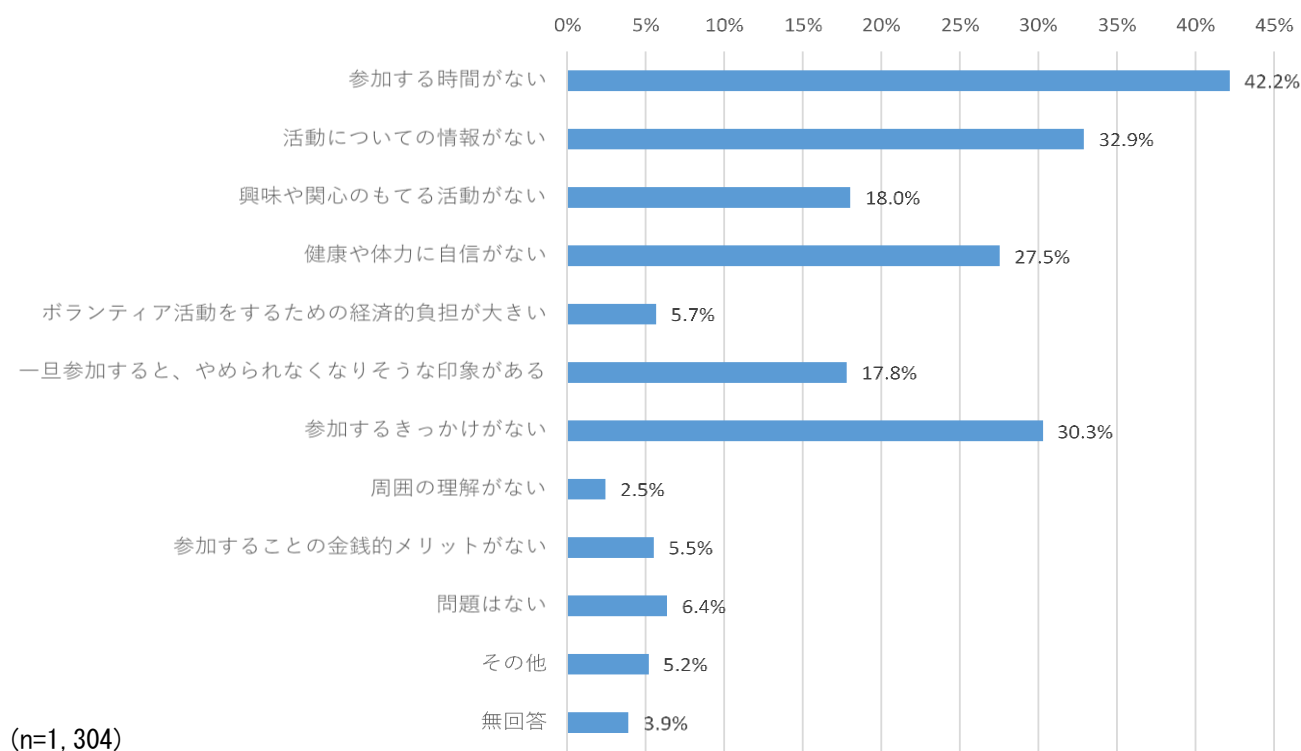
地域福祉に関するアンケート調査（市民 18 歳以上）



問 24 ボランティア活動への参加に対する問題（あてはまるものすべて）

「参加する時間がない」が 42.2%と最も高く、次いで「活動についての情報がない」が 32.9%となっています。

	R5	
	件数	構成比
参加する時間がない	550	42.2%
活動についての情報がない	429	32.9%
興味や関心のもてる活動がない	235	18.0%
健康や体力に自信がない	359	27.5%
ボランティア活動をするための経済的負担が大きい	74	5.7%
一旦参加すると、やめられなくなりそうな印象がある	232	17.8%
参加するきっかけがない	395	30.3%
周囲の理解がない	32	2.5%
参加することの金銭的メリットがない	72	5.5%
問題はない	83	6.4%
その他	68	5.2%
無回答	51	3.9%
合計	1,304	—



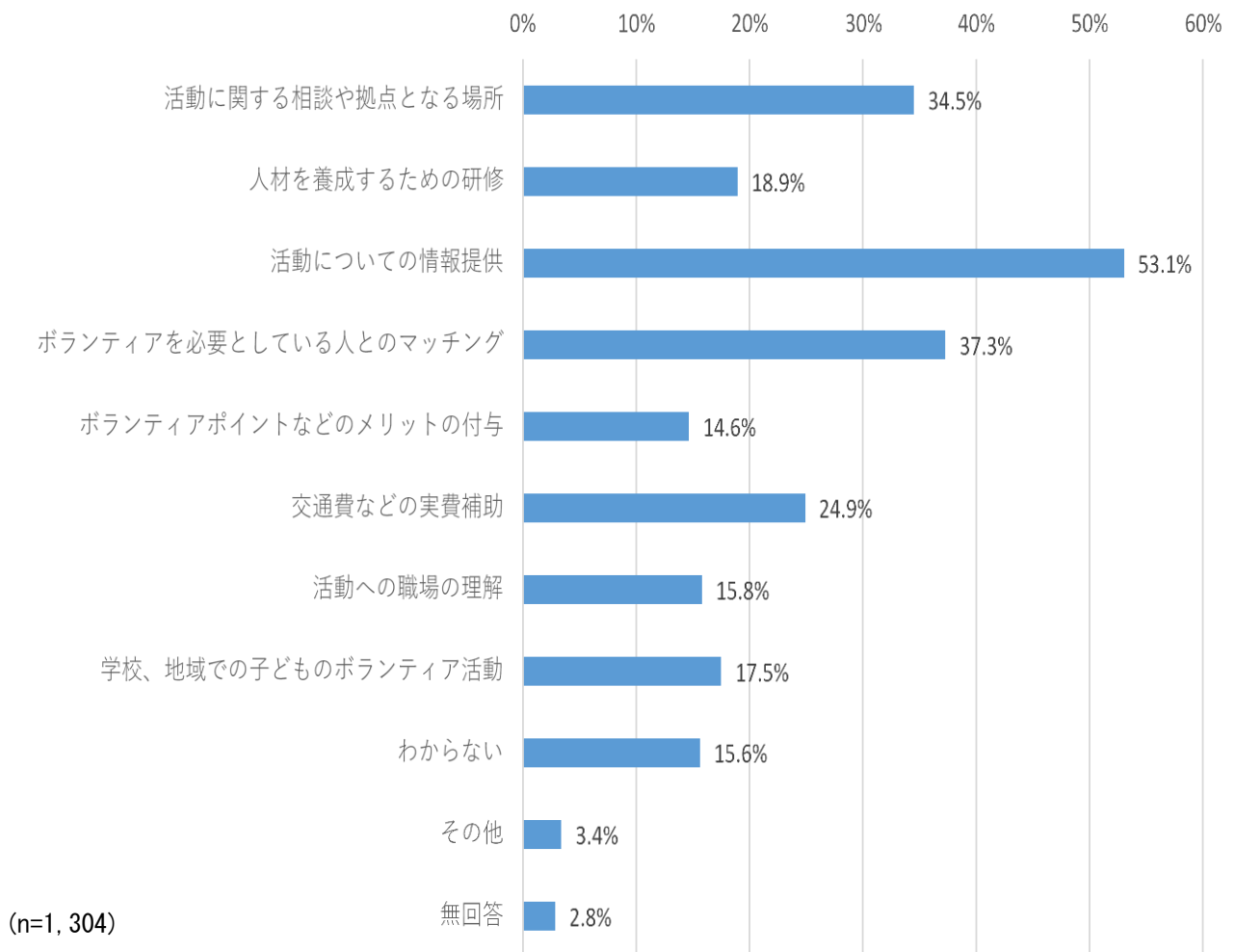
問 25 ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと（あてはまるものすべて）

「活動についての情報提供」が 53.1%と最も高く、次いで「ボランティアを必要としている人とのマッチング」が 37.3%となっています。

以前の調査と比較すると、前々回（H25）調査まで増加傾向であった「活動に関する相談や拠点となる場所」の割合が、前回（H31）調査で減少に転じましたが、再び増加に転じています。一方で、「交通費などの実費補助」の割合は減少傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
活動に関する相談や拠点となる場所	262	19.3%	208	18.8%	192	20.9%	144	16.0%	450	34.5%
人材を養成するための研修	314	23.1%	189	17.1%	142	15.5%	116	12.9%	247	18.9%
活動についての情報提供	565	41.6%	444	40.1%	359	39.1%	367	40.8%	692	53.1%
ボランティアを必要としている人とのマッチング	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		486	37.3%
ボランティアポイントなどのメリットの付与	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		191	14.6%
交通費などの実費補助	503	37.0%	437	39.5%	393	42.8%	373	41.4%	325	24.9%
活動への職場の理解	316	23.3%	274	24.8%	250	27.2%	272	30.2%	206	15.8%
学校、地域での子どものボランティア活動	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		228	17.5%
学校での子どものボランティア活動	470	34.6%	433	39.1%	356	38.8%	329	36.6%	選択肢無	
地域での子どものボランティア活動	220	16.2%	216	19.5%	152	16.6%	127	14.1%	選択肢無	
わからない	120	8.8%	107	9.7%	104	11.3%	104	11.6%	204	15.6%
その他	33	2.4%	30	2.7%	17	1.9%	15	1.7%	44	3.4%
無回答	124	9.1%	73	6.6%	56	6.1%	77	8.6%	37	2.8%
合計	1,358	—	1,107	—	917	—	900	—	1,304	—

地域福祉に関するアンケート調査（市民 18 歳以上）



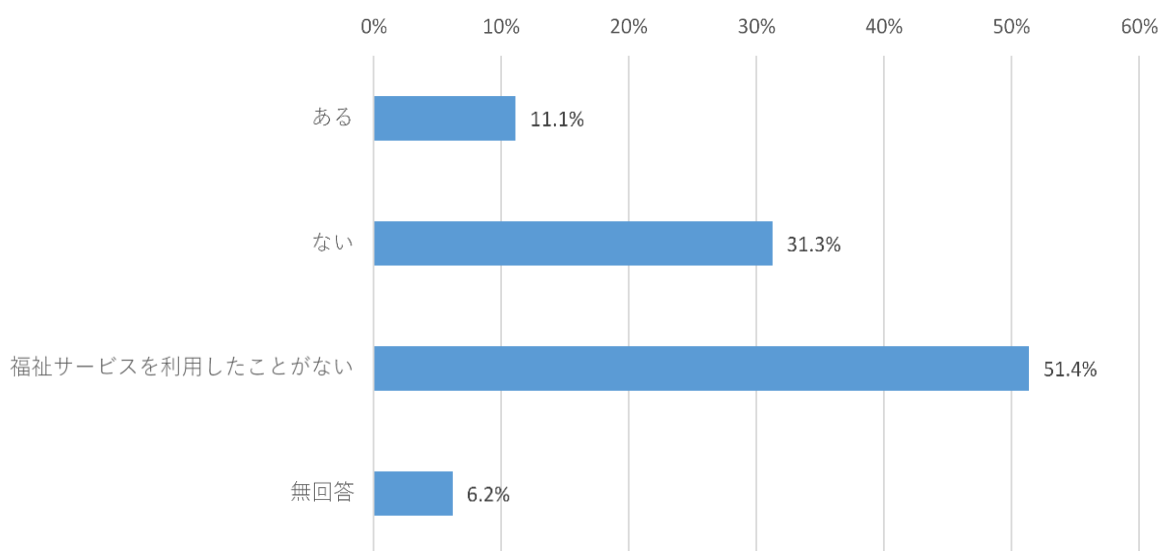
福祉サービスの利用について

問 26 福祉サービス利用時に説明内容とサービス内容の相違の有無

「ある」11.1%、「ない」31.3%となっています。

以前の調査と比較すると、サービス利用者（「ある」又は「ない」と回答した者）のうち「ある」という割合は、前々回（H25）調査では23.7%（71/300）、前回（H31）調査では20.7%（69/334）と減少傾向にありましたが、今回は26.2%（145/553）と増加に転じています。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ある	84	6.2%	77	7.0%	71	7.7%	69	7.7%	145	11.1%
ない	272	20.0%	231	20.9%	229	25.0%	265	29.4%	408	31.3%
福祉サービスを利用したことがない	915	67.4%	762	68.8%	564	61.4%	497	55.2%	670	51.4%
無回答	87	6.4%	37	3.3%	54	5.9%	69	7.7%	81	6.2%
合計	1,358	100%	1,107	100%	917	100%	900	100%	1,304	100%



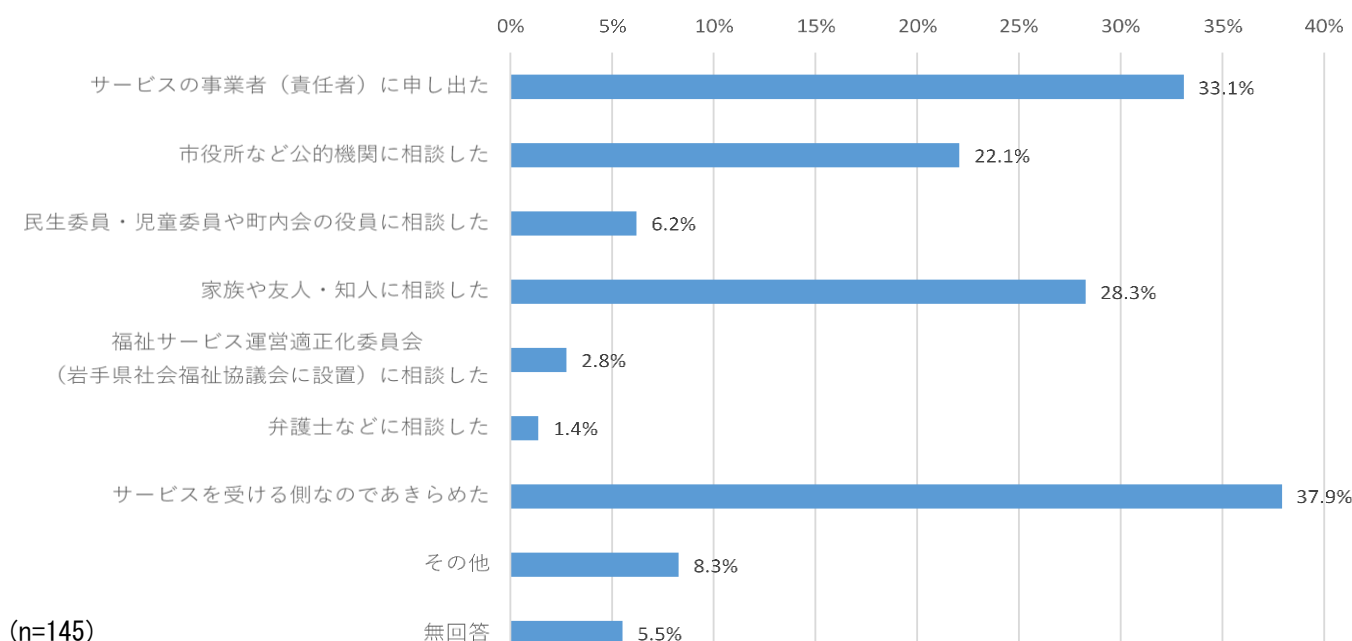
(n=1,304)

問 27 福祉サービス利用時に説明内容とサービス内容が違っていた場合のその後の対応
(あてはまるものすべて)

説明された内容と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたことがあると回答した 145 人に対して、その後の対応について尋ねたところ、「サービスを受ける側なのであきらめた」が 37.9%と最も高く、次いで「サービスの事業者（責任者）に申し出た」が 33.1%となっています。

以前の調査と比較すると、減少傾向にあった「家族や友人・知人に相談した」の割合が増加に転じています。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
サービスの事業者（責任者）に申し出た	23	27.4%	14	18.2%	20	28.2%	26	37.7%	48	33.1%
市役所など公的機関に相談した	30	35.7%	21	27.3%	18	25.4%	18	26.1%	32	22.1%
民生委員・児童委員や町内会の役員に相談した	7	8.3%	3	3.9%	5	7.0%	5	7.2%	9	6.2%
家族や友人・知人に相談した	26	31.0%	15	19.5%	9	12.7%	8	11.6%	41	28.3%
福祉サービス運営適正化委員会（岩手県社会福祉協議会に設置）に相談した	5	6.0%	1	1.3%	5	7.0%	1	1.4%	4	2.8%
弁護士などに相談した	2	2.4%	2	2.6%	1	1.4%	2	2.9%	2	1.4%
サービスを受ける側なのであきらめた	31	36.9%	22	28.6%	27	38.0%	22	31.9%	55	37.9%
その他	7	8.3%	10	13.0%	3	4.2%	3	4.3%	12	8.3%
無回答	2	2.4%	5	6.5%	1	1.4%	2	2.9%	8	5.5%
合計	84	-	77	-	71	-	69	-	145	-



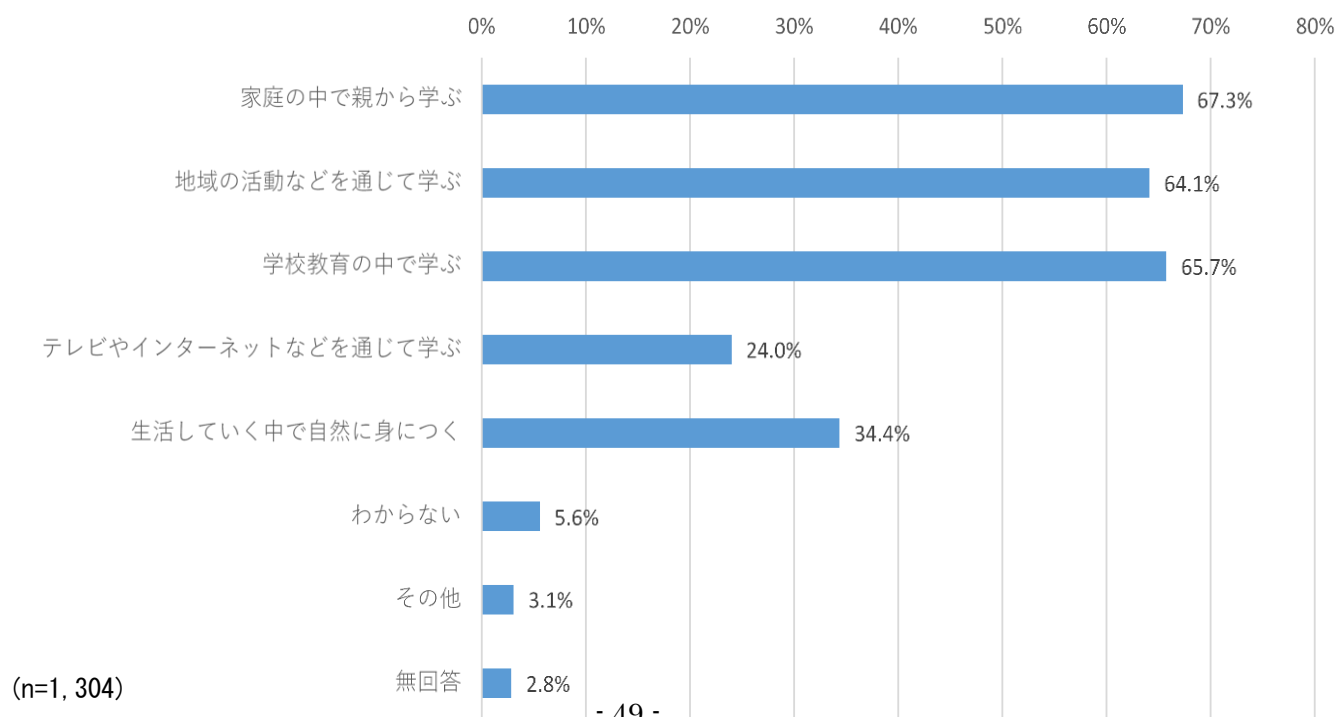
■地域福祉のあり方について

問 28 子どもたちに対する福祉教育について（あてはまるものすべて）

「家庭の中で親から学ぶ」が 67.3%と最も高く、次いで「学校教育の中で学ぶ」が 65.7%となっています。

以前の調査と比較すると、減少傾向にあった「家庭の中で親から学ぶ」の割合が増加に転じています。また、増加傾向にあった「テレビやインターネットなどを通じて学ぶ」の増加率が特に高くなっています。

	H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
家庭の中で親から学ぶ	593	53.6%	475	51.7%	379	42.1%	878	67.3%
地域の活動などを通じて学ぶ	446	40.3%	359	39.1%	358	39.8%	836	64.1%
学校教育の中で学ぶ	616	55.6%	574	62.5%	551	61.2%	857	65.7%
テレビやインターネットなどを通じて学ぶ	47	4.2%	32	3.5%	45	5.0%	313	24.0%
生活していく中で自然に身につく	136	12.3%	105	11.4%	98	10.9%	448	34.4%
特に必要はない	5	0.5%	4	0.4%	6	0.7%	選択肢無	
わからない	28	2.5%	40	4.4%	27	3.0%	73	5.6%
その他	20	1.8%	15	1.6%	8	0.9%	40	3.1%
無回答	86	7.8%	54	5.9%	89	9.9%	37	2.8%
合計	1,107	—	917	—	900	—	1,304	—



問 29 福祉や健康に関する情報の入手先（あてはまるものすべて）

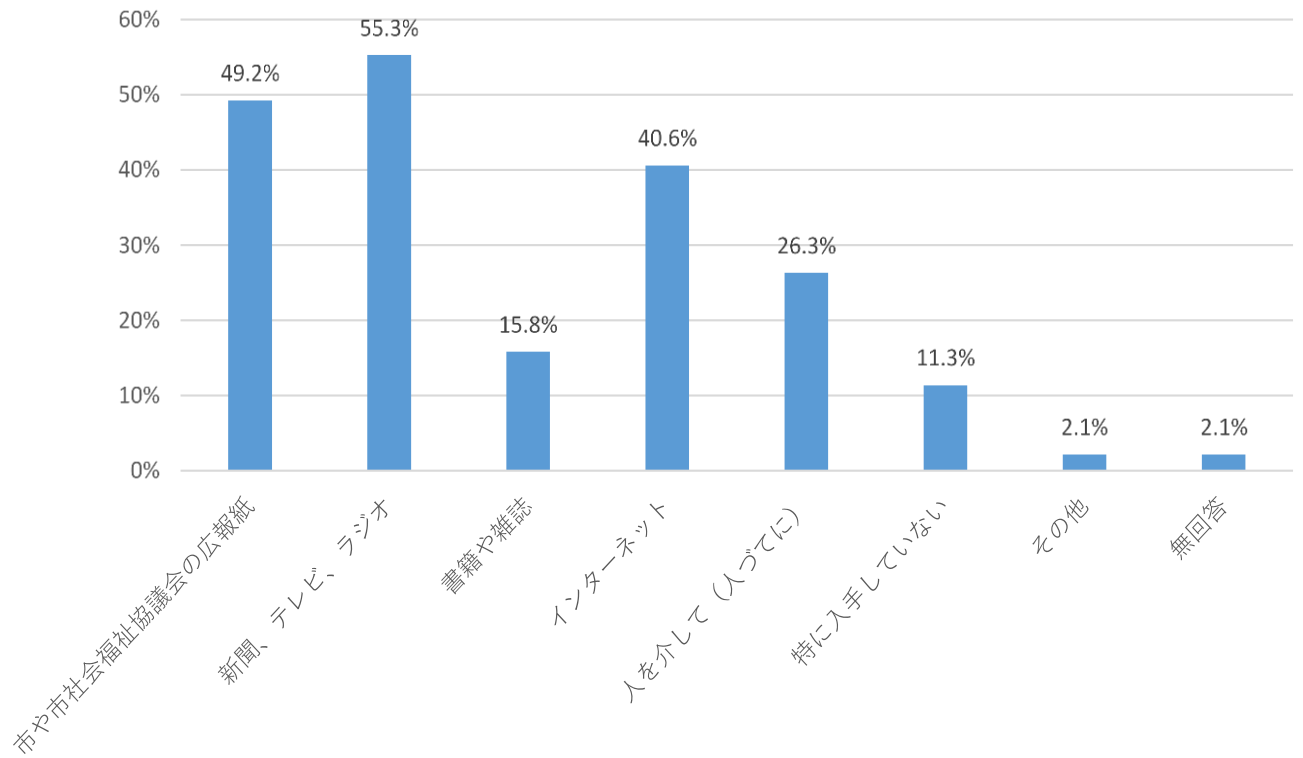
「新聞、テレビ、ラジオ」が 55.3%と最も高く、次いで「市や市社会福祉協議会の広報紙」が 49.2%となっています。

以前の調査と比較すると、「インターネット」の割合が増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
市や市社会福祉協議会の広報紙	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		642	49.2%
広報もりおか	935	68.9%	675	61.0%	588	64.1%	547	60.8%	選択肢無	
市のパンフレットなど	267	19.7%	221	20.0%	174	19.0%	142	15.8%	選択肢無	
福祉もりおか（市社会福祉協議会発行）	367	27.0%	324	29.3%	275	30.0%	233	25.9%	選択肢無	
新聞、テレビ、ラジオ	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		721	55.3%
新聞	609	44.8%	424	38.3%	304	33.1%	280	31.1%	選択肢無	
テレビやラジオ	624	45.9%	425	38.4%	353	38.5%	364	40.4%	選択肢無	
書籍や雑誌	255	18.8%	214	19.3%	163	17.8%	134	14.9%	206	15.8%
インターネット	116	8.5%	159	14.4%	177	19.3%	244	27.1%	529	40.6%
人を介して（人づてに）	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		343	26.3%
家族や友人・知人	373	27.5%	250	22.6%	229	24.9%	226	25.1%	選択肢無	
民生委員・児童委員	47	3.5%	28	2.5%	49	5.3%	21	2.3%	選択肢無	
隣近所の人	98	7.2%	71	6.4%	66	7.2%	51	5.7%	選択肢無	
回覧板	423	31.1%	260	23.5%	235	25.6%	229	25.4%	選択肢無	
病院や施設	295	21.7%	249	22.5%	229	24.9%	218	24.2%	選択肢無	
特に入手していない	103	7.6%	99	8.9%	83	9.0%	71	7.9%	148	11.3%
その他	22	1.6%	23	2.1%	12	1.3%	10	1.1%	28	2.1%
無回答	30	2.2%	37	3.3%	30	3.3%	40	4.4%	28	2.1%
合計	1,358	-	1,107	-	917	-	900	-	1,304	-

地域福祉に関するアンケート調査（市民 18 歳以上）

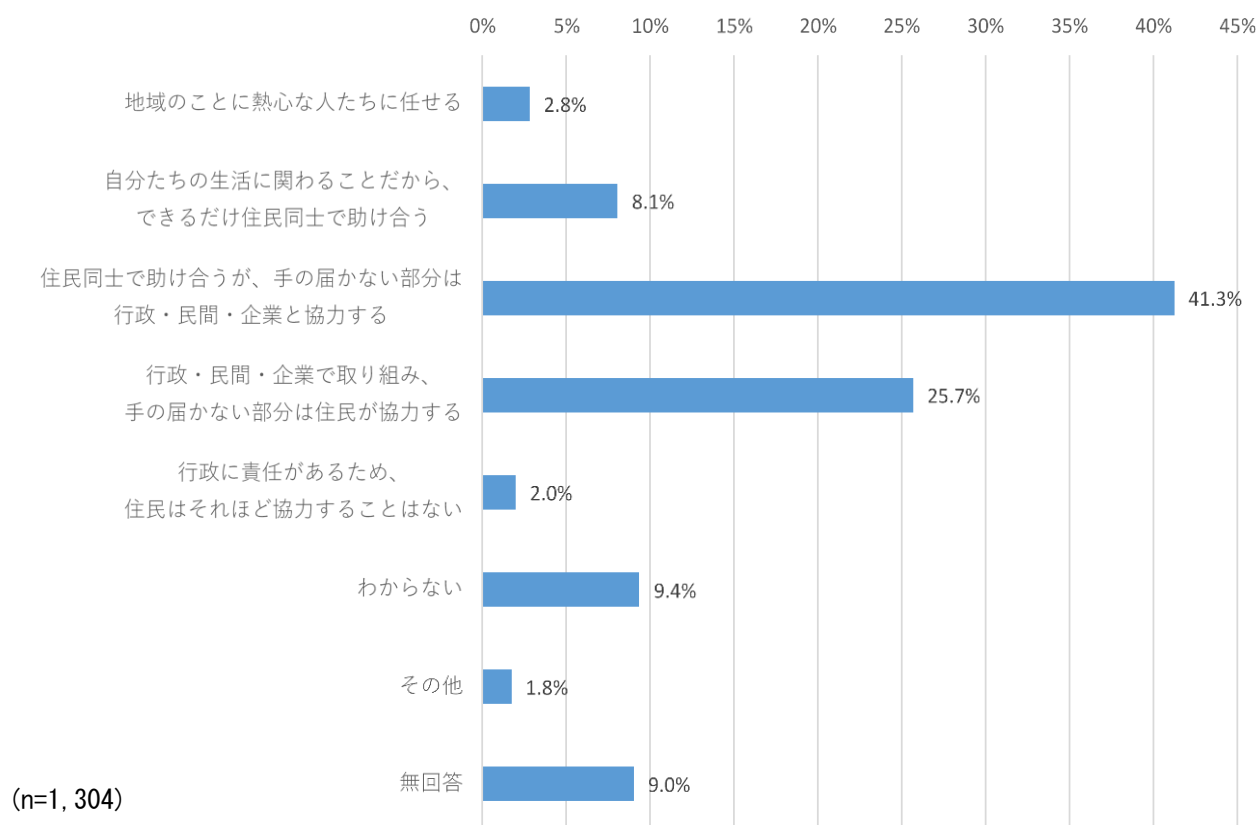
(n=1,304)



問 30 住みなれた地域で安心して生活していくための地域住民の役割

「住民同士で助け合うが、手の届かない部分は行政・民間・企業と協力する」が 41.3%と最も高く、次いで「行政・民間・企業で取り組み、手の届かない部分は住民が協力する」が 25.7%となっています。

	R5	
	件数	構成比
地域のことに熱心な人たちに任せる	37	2.8%
自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で助け合う	105	8.1%
住民同士で助け合うが、手の届かない部分は行政・民間・企業と協力する	538	41.3%
行政・民間・企業で取り組み、手の届かない部分は住民が協力する	335	25.7%
行政に責任があるため、住民はそれほど協力することはない	26	2.0%
わからない	122	9.4%
その他	23	1.8%
無回答	118	9.0%
合計	1,304	100%

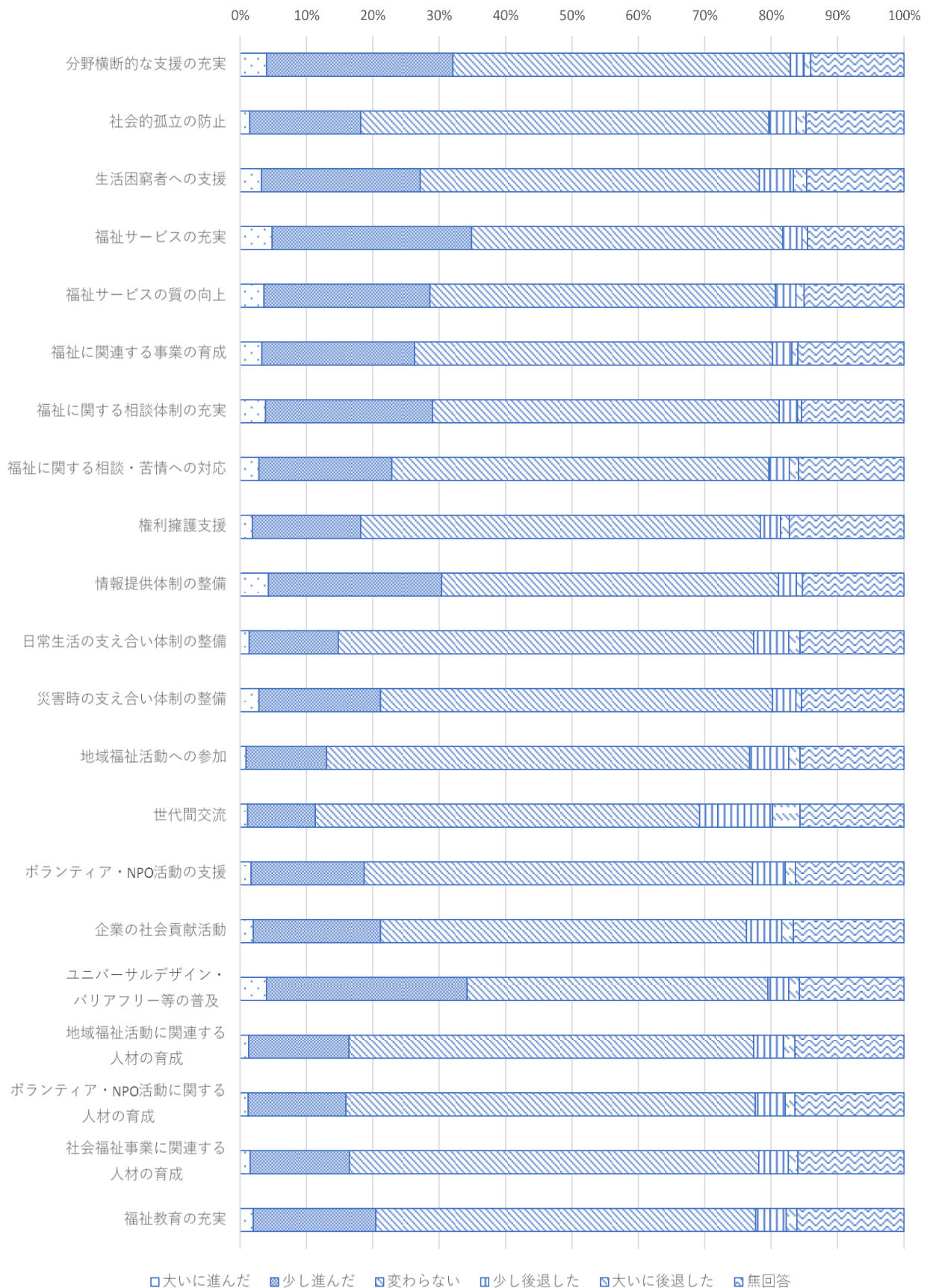


問 31 地域福祉計画の取組に関わる評価

進んだ（「大いに進んだ」又は「少し進んだ」）と回答した割合でみると、「福祉サービスの充実」が 34.9%と最も高く、次いで「ユニバーサルデザイン・バリアフリー等の普及」が 34.2%となっています。一方で、「世代間交流」は 11.4%と最も低く、唯一、進んだと回答した割合が、後退した（「少し後退した」又は「大いに後退した」）と回答した割合（15.1%）を下回っています。

	大いに 進んだ	少し 進んだ	変わら ない	少し 後退した	大いに 後退した	無回答
分野横断的な支援の充実	4.0%	28.1%	50.8%	2.1%	1.0%	14.0%
社会的孤立の防止	1.5%	16.7%	61.5%	4.1%	1.5%	14.7%
生活困窮者への支援	3.2%	23.9%	51.1%	5.1%	2.0%	14.6%
福祉サービスの充実	4.8%	30.1%	46.9%	2.9%	0.8%	14.5%
福祉サービスの質の向上	3.6%	25.0%	52.1%	3.1%	1.2%	15.0%
福祉に関連する事業の育成	3.3%	23.0%	53.9%	2.9%	0.9%	16.0%
福祉に関する相談体制の充実	3.8%	25.2%	52.2%	2.8%	0.6%	15.4%
福祉に関する相談・苦情への対応	2.8%	20.0%	56.8%	3.1%	1.4%	15.9%
権利擁護支援	1.8%	16.3%	60.2%	3.1%	1.3%	17.3%
情報提供体制の整備	4.3%	26.1%	50.8%	2.7%	0.9%	15.3%
日常生活の支え合い体制の整備	1.4%	13.4%	62.6%	5.3%	1.7%	15.6%
災害時の支え合い体制の整備	2.8%	18.3%	59.0%	3.5%	0.8%	15.4%
地域福祉活動への参加	0.9%	12.1%	63.7%	5.9%	1.7%	15.6%
世代間交流	1.2%	10.2%	57.9%	11.0%	4.1%	15.6%
ボランティア・NPO 活動の支援	1.7%	17.0%	58.5%	4.9%	1.5%	16.3%
企業の社会貢献活動	2.0%	19.2%	55.1%	5.3%	1.8%	16.6%
ユニバーサルデザイン・バリアフリー等の普及	4.0%	30.2%	45.3%	3.1%	1.6%	15.7%
地域福祉活動に関連する人材の育成	1.3%	15.1%	61.0%	4.5%	1.7%	16.4%
ボランティア・NPO 活動に関する人材の育成	1.2%	14.7%	61.7%	4.5%	1.5%	16.4%
社会福祉事業に関連する人材の育成	1.5%	15.0%	61.7%	4.4%	1.5%	16.0%
福祉教育の充実	2.0%	18.5%	57.2%	4.6%	1.6%	16.1%

地域福祉に関するアンケート調査（市民 18 歳以上）



市民（12歳以上17歳以下）

結果概要

※今回の調査は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期と重なる部分があり、単純な経年比較はできないことを念頭に置くものとする。

■ 回答者の属性

- ・男性：女性≒5：5となっています。（問1）
- ・同居家族について、多い順に「母親」「父親」「兄弟姉妹」となっています。（問2）
- ・「家族の持ち家（一戸建て）」である回答者の割合が、70%程度と最も高くなっています。（問4）
- ・近所の大人との付き合いについて、「あいさつ程度はする」という回答者の割合が、55%程度と最も高くなっています。（問5）
- ・週の半分以上、「朝食または夕食を1人で食べている」（孤食と思われる人）という回答者の割合は、10%程度となっています。（問6）
- ・現在の食事状況に「満足している（「どちらかといえば満足している」を含む。）」回答者の割合は、90%程度となっています。（問7）

■ 地域との関わりについて

- ・町内の行事への参加状況（小学校卒業以降）については、「参加」という回答が60%程度となっています。（問8）
- ・町内の行事への参加に対する気持ちとしては、「内容によっては参加したい」という回答が55%程度となっています。（問9）
- ・隣近所で困っている人への手助けに対する気持ちについては、「頼まれたらする」という回答が45%程度となっています。（問11）
- ・安心して生活していくために重要だと思う取り組みについては、「災害時に安全に避難できる仕組みをつくる」という回答が60%程度となっています。（問12）

■ ボランティア活動について

- ・ボランティア活動への参加状況（小学校卒業以降）については、「参加」という回答が50%程度となっています。（問13）
- ・誰と一緒にボランティア活動をしたかについては、「学校で」という回答が50%程度となっています。（問14）
- ・ボランティア活動に参加したきっかけとして、「人の役に立ちたいから」及び「学校の授業などで機会があったから」がそれぞれ40%程度となっています。（問15）
- ・ボランティア活動への参加に対する気持ちについては、「内容によっては参加したい」という回答が60%程度となっています。（問16）
- ・ボランティア活動への参加に対する問題については、「参加する時間がない」という回答が45%程度と最も高く、次いで「興味や関心をもてる活動がない」という回答が35%程度となっています。（問17）

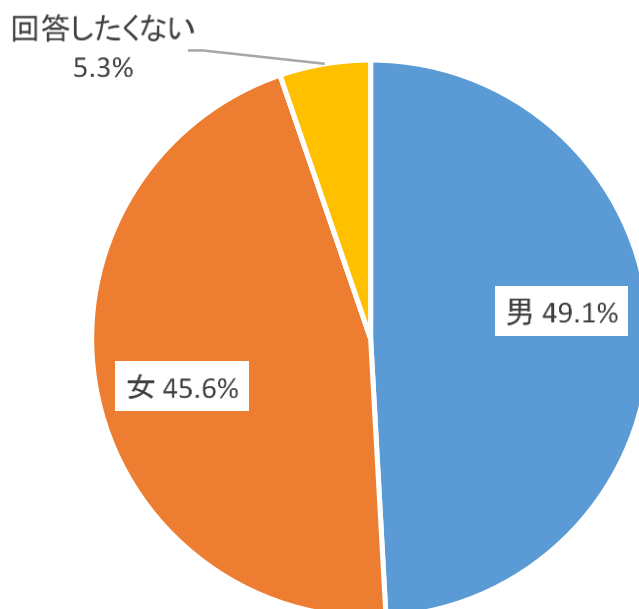
※ 複数回答の%の合計は、表示していません。

■回答者の属性

問 1 性別

「男性」49.1%、「女性」45.6%、「回答したくない」5.3%となっています。
以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
男	51	46.8%	41	46.1%	37	44.0%	51	52.0%	56	49.1%
女	58	53.2%	48	53.9%	47	56.0%	47	48.0%	52	45.6%
その他	選択肢無		選択肢無		選択肢無		0	0.0%	0	0.0%
回答したくない	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	5.3%
合計	109	100%	89	100%	84	100%	98	100%	114	100%

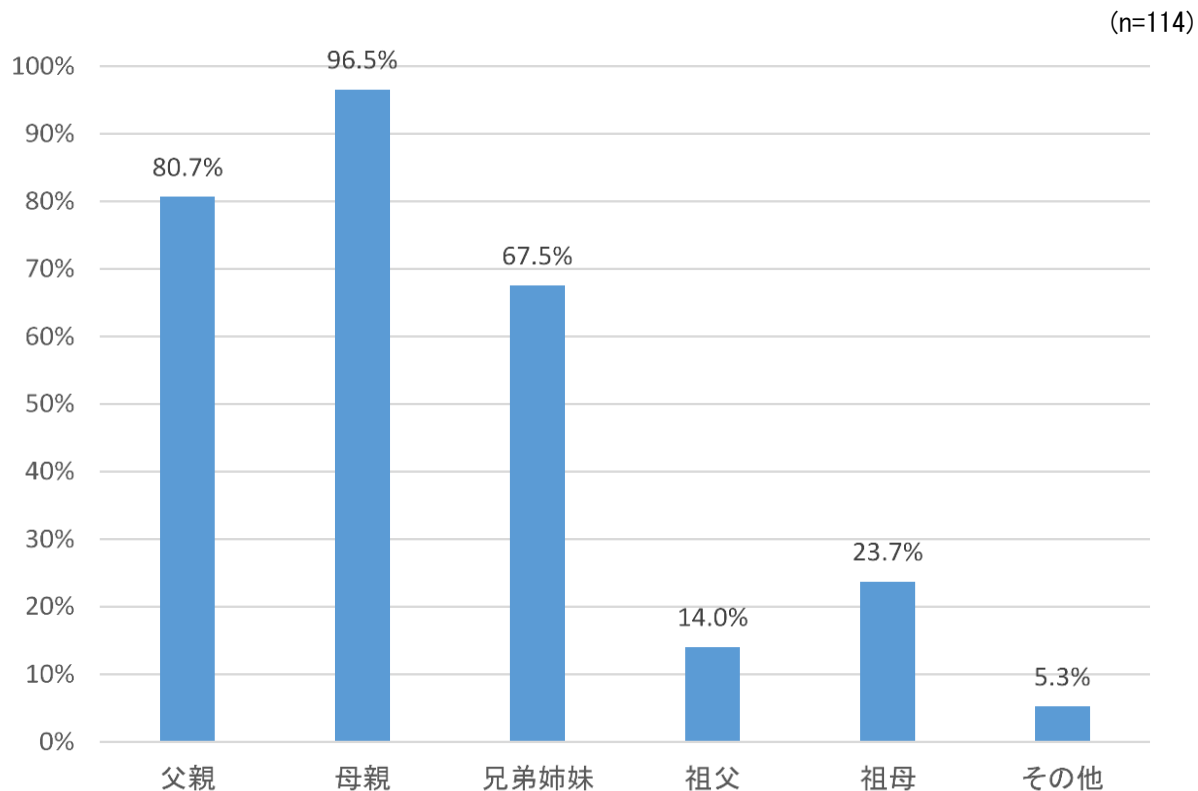


(n=114)

問 2 同居の家族(あてはまるものすべて)

多い順に「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」となっています。
以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

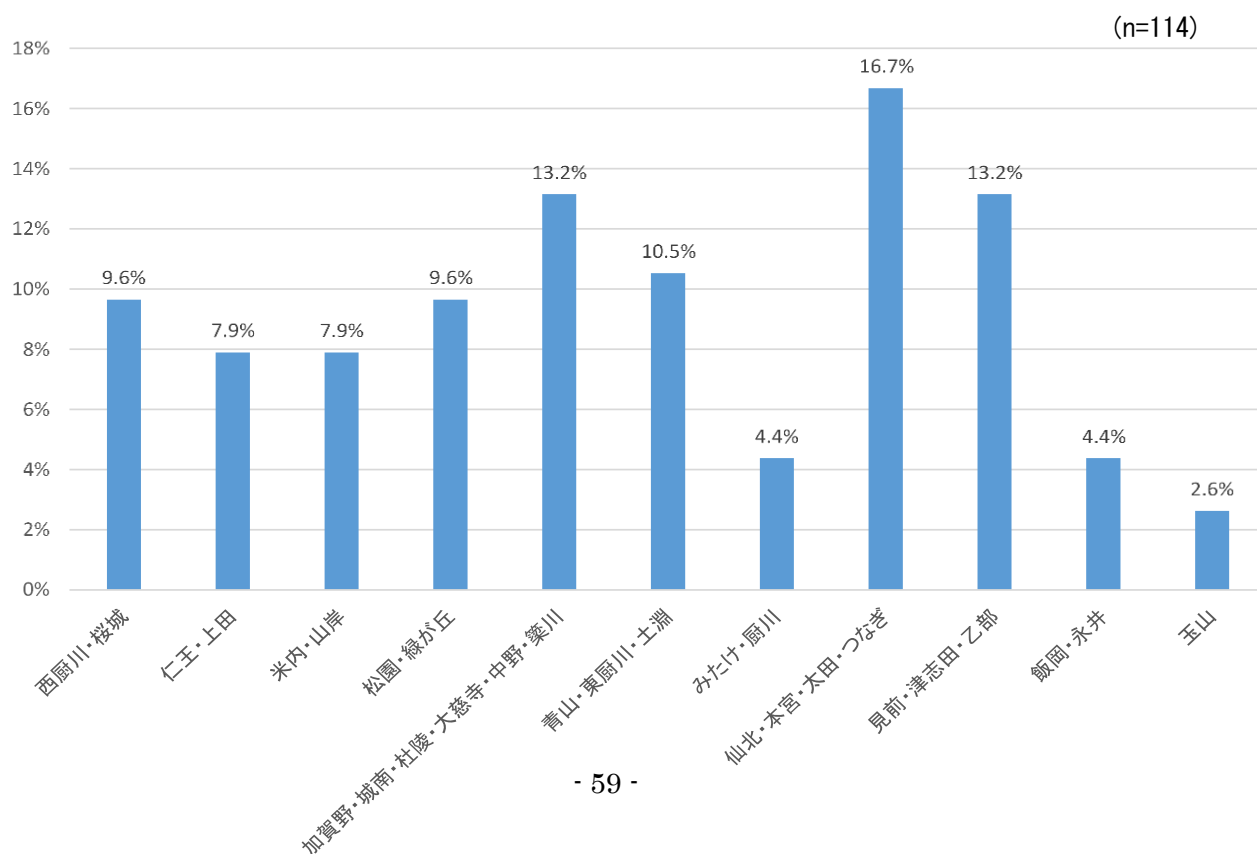
	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
父親	100	91.7%	72	80.9%	69	82.1%	84	85.7%	92	80.7%
母親	106	97.2%	86	96.6%	81	96.4%	93	94.9%	110	96.5%
兄弟姉妹	95	87.2%	78	87.6%	64	76.2%	65	66.3%	77	67.5%
祖父	17	15.6%	11	12.4%	10	11.9%	17	17.3%	16	14.0%
祖母	22	20.2%	14	15.7%	16	19.0%	27	27.6%	27	23.7%
その他	1	0.9%	4	4.5%	2	2.4%	1	1.0%	6	5.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	109	—	89	—	84	—	98	—	114	—



問 3 居住地域

「仙北・本宮・太田・つなぎ」が 16.7%と最も高く、次いで「見前・津志田・乙部」が 13.2%となっています。

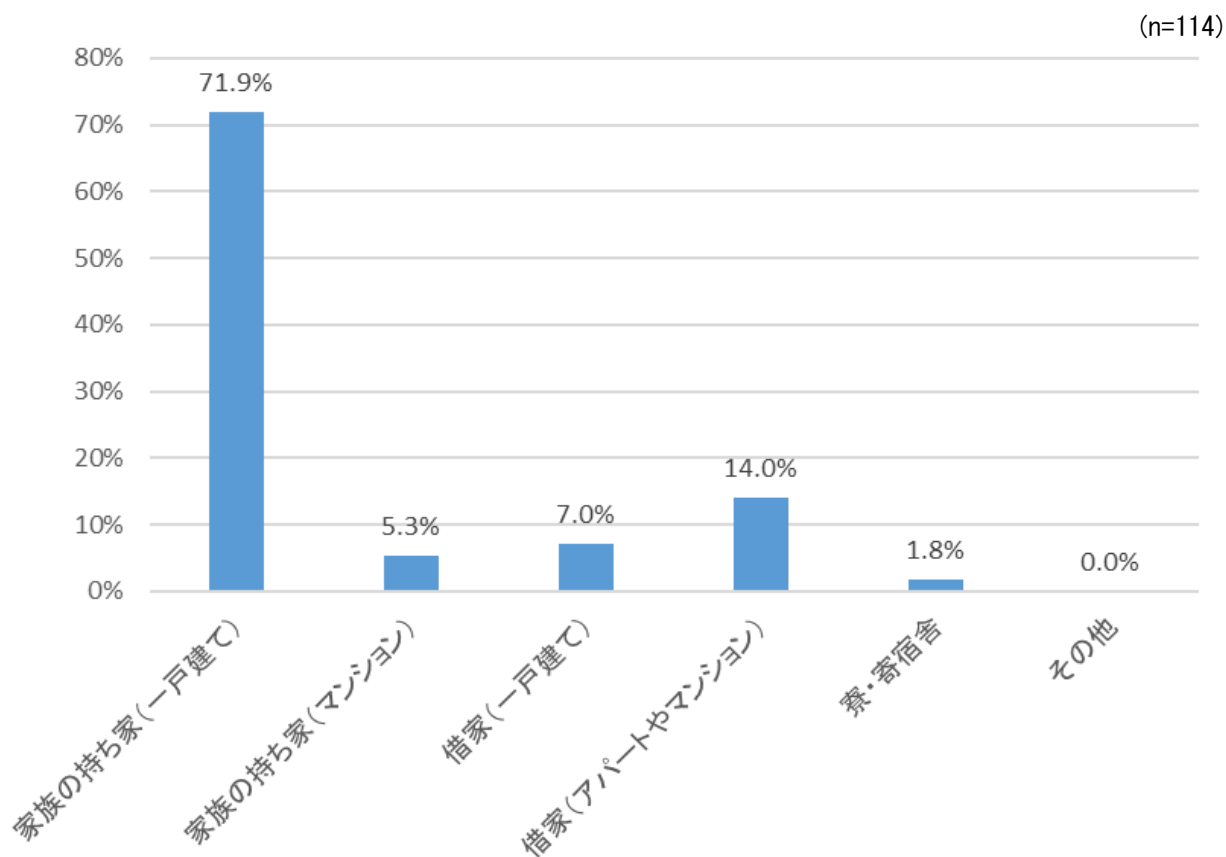
	R5	
	件数	構成比
西厨川・桜城	11	9.6%
仁王・上田	9	7.9%
米内・山岸	9	7.9%
松園・緑が丘	11	9.6%
加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	15	13.2%
青山・東厨川・土淵	12	10.5%
みたけ・厨川	5	4.4%
仙北・本宮・太田・つなぎ	19	16.7%
見前・津志田・乙部	15	13.2%
飯岡・永井	5	4.4%
玉山	3	2.6%
無回答	0	0.0%
合計	114	100%



問 4 暮らしている住宅の種別

「家族の持ち家（一戸建て）」が回答者の半数以上の 71.9%と最も高い回答となっています。以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

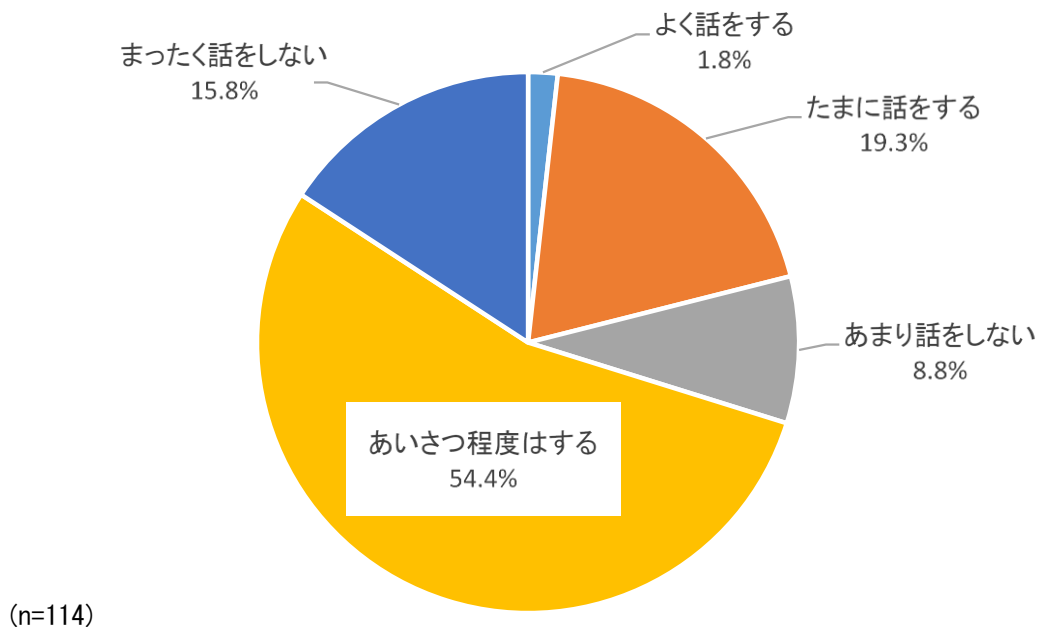
	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
持ち家（一戸建て）	73	67.0%	53	59.6%	48	57.2%	78	79.6%	82	71.9%
持ち家（マンション）	6	5.5%	5	5.6%	10	11.9%	8	8.2%	6	5.3%
借家（一戸建て）	10	9.2%	10	11.2%	8	9.5%	4	4.0%	8	7.0%
借家（アパートやマンション）	17	15.6%	19	21.4%	17	20.2%	8	8.2%	16	14.0%
寮・寄宿舍	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		2	1.8%
その他	3	2.7%	2	2.2%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	109	100	89	100	84	100	900	100%	114	100%



問 5 近所の大人との付き合い

「あいさつ程度はする」が回答者の半数以上の 54.4%と最も高い回答となっています。
以前の調査と比較すると、「まったく話をしない」の割合が増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
よく話をする	3	2.8%	4	4.5%	1	1.2%	0	0.0%	2	1.8%
たまに話をする	24	22.0%	23	25.9%	17	20.2%	28	28.6%	22	19.3%
あまり話をしない	7	6.4%	10	11.2%	5	6.0%	4	4.1%	10	8.8%
あいさつ程度はする	60	55.1%	42	47.2%	55	65.5%	57	58.2%	62	54.4%
まったく話をしない	12	11.0%	10	11.2%	6	7.1%	8	8.1%	18	15.8%
その他	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	選択肢無	
無回答	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	109	100%	89	100%	84	100%	98	100%	114	100%

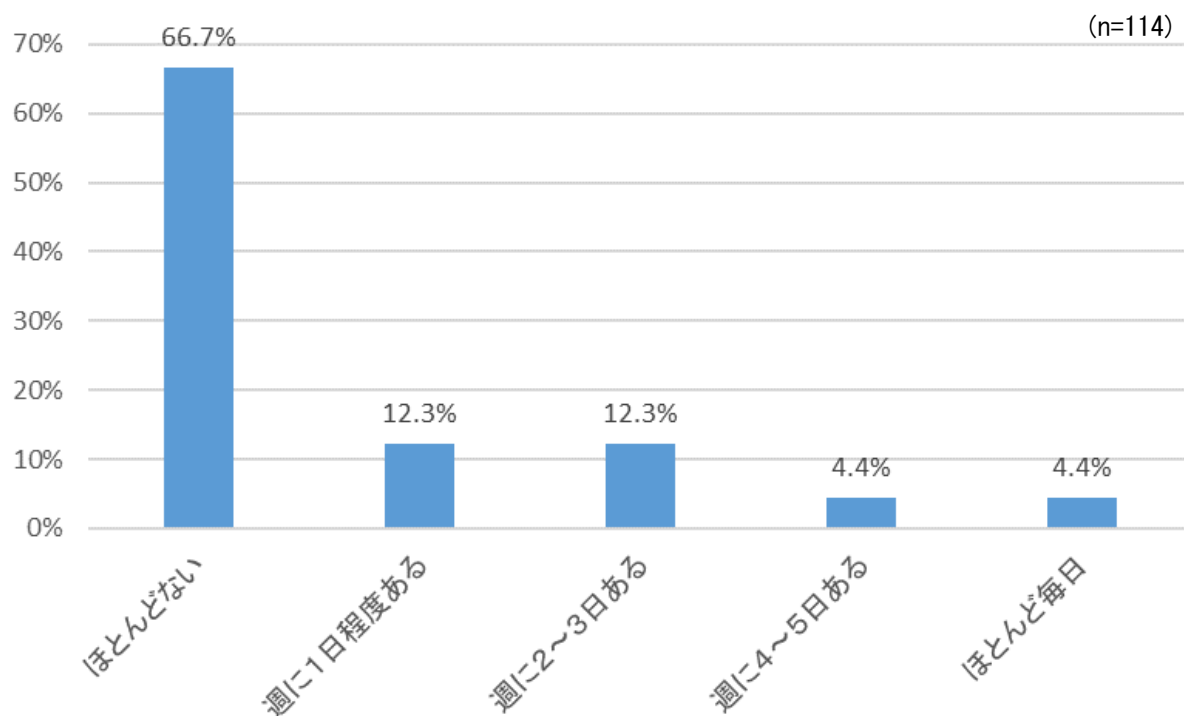


問 6 食事状況(朝食または夕食を1人で食べている割合)

「ほとんどない」が回答者の半数以上の 66.7%と最も高い回答となっています。

なお、「ほとんど毎日」と回答した割合は 4.4%であり、「週に 4～5 日ある」と回答した割合（4.4%）と合わせると、週の半分以上、朝食または夕食を 1 人で食べている「孤食」と思われる人の割合は、8.8%となっています。

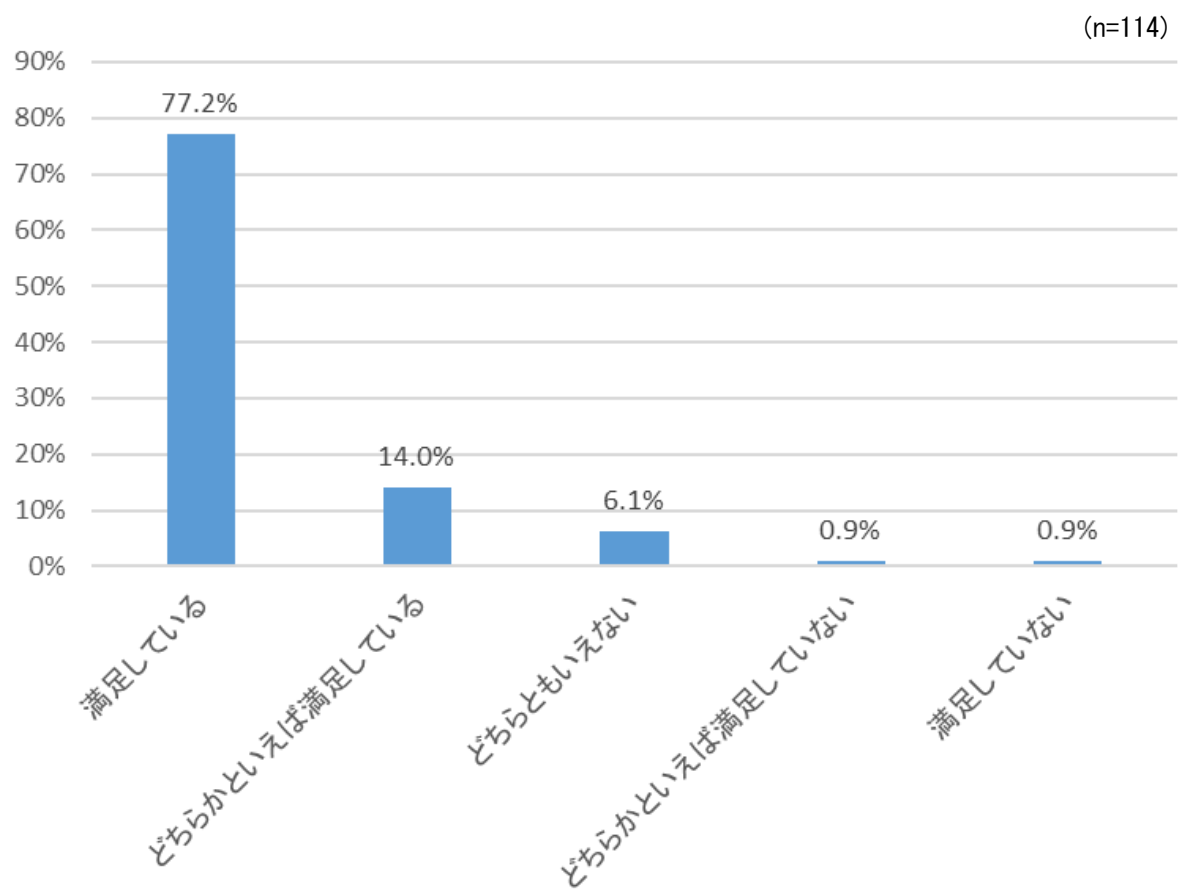
	R5	
	件数	構成比
ほとんどない	76	66.7%
週に 1 日程度ある	14	12.3%
週に 2～3 日ある	14	12.3%
週に 4～5 日ある	5	4.4%
ほとんど毎日	5	4.4%
無回答	0	0.0%
合計	114	100%



問 7 食事状況満足度

「満足している」が回答者の半数以上の 77.2%と最も高い回答となっています。

	R5	
	件数	構成比
満足している	88	77.2%
どちらかといえば満足している	16	14.0%
どちらともいえない	7	6.1%
どちらかといえば満足していない	1	0.9%
満足していない	1	0.9%
無回答	0	0.0%
合計	114	100%

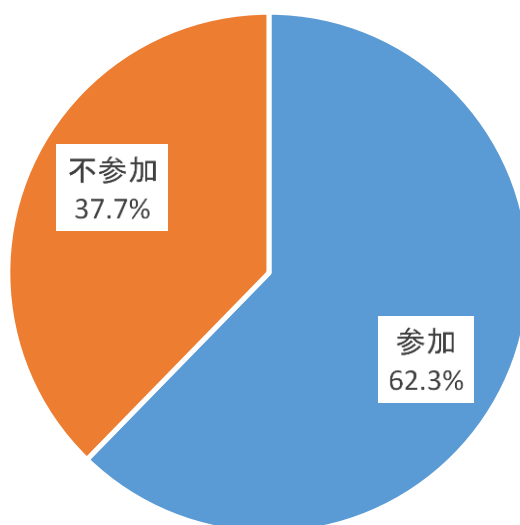


■地域との関わりについて

問 8 町内の行事への参加状況（小学校卒業以降）

「参加」 62.3%、「不参加」 37.7%となっています。

	R5	
	件数	構成比
参加	71	62.3%
不参加	43	37.7%
無回答	0	0.0%
合計	114	100%



(n=114)

問 3 居住地域 × 問 8 町内の行事への参加状況

居住地域と町内の行事への参加状況を比較すると、8 地域においては、「参加」している割合の方が高くなっています。

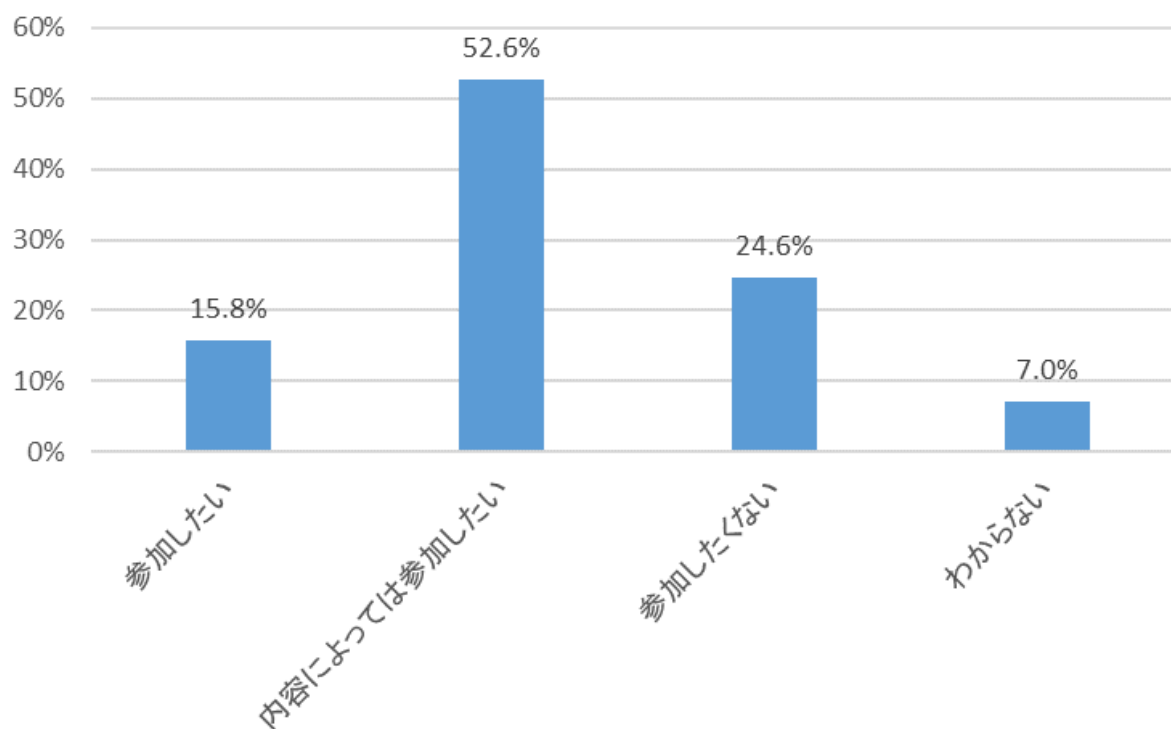
			町内の行事への参加状況	
			参加	不参加
			n=71	n=43
居住地域	西厨川・桜城	n=11	45. 5%	54. 5%
	仁王・上田	n=9	33. 3%	66. 7%
	米内・山岸	n=9	66. 7%	33. 3%
	松園・緑が丘	n=11	90. 9%	9. 1%
	加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	n=15	53. 3%	46. 7%
	青山・東厨川・土淵	n=12	83. 3%	16. 7%
	みたけ・厨川	n=5	60. 0%	40. 0%
	仙北・本宮・太田・つなぎ	n=19	36. 8%	63. 2%
	見前・津志田・乙部	n=15	86. 7%	13. 3%
	飯岡・永井	n=5	80. 0%	20. 0%
	玉山	n=3	66. 7%	33. 3%

問 9 町内の行事に対する気持ち

「内容によっては参加したい」が回答者の半数以上の 52.6%と最も高い回答となっています。

	R5	
	件数	構成比
参加したい	18	15.8%
内容によっては参加したい	60	52.6%
参加したくない	28	24.6%
わからない	8	7.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	114	100%

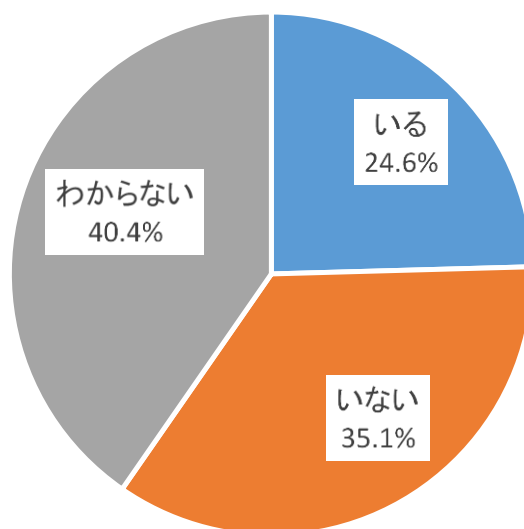
(n=114)



問 10 身近に手助けが必要な人の有無

「いる」 24.6%、「いない」 35.1%、「わからない」 40.4%となっています。
以前の調査と比較すると、「わからない」の割合が増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
いる	24	22.0%	29	32.6%	18	21.4%	26	26.5%	28	24.6%
いない	73	67.0%	46	51.7%	49	58.3%	51	52.0%	40	35.1%
わからない	12	11.0%	12	13.5%	15	17.9%	17	17.4%	46	40.4%
無回答	0	0.0%	2	2.2%	2	2.4%	4	4.1%	0	0.0%
合計	109	100%	89	100%	84	100%	98	100%	114	100%

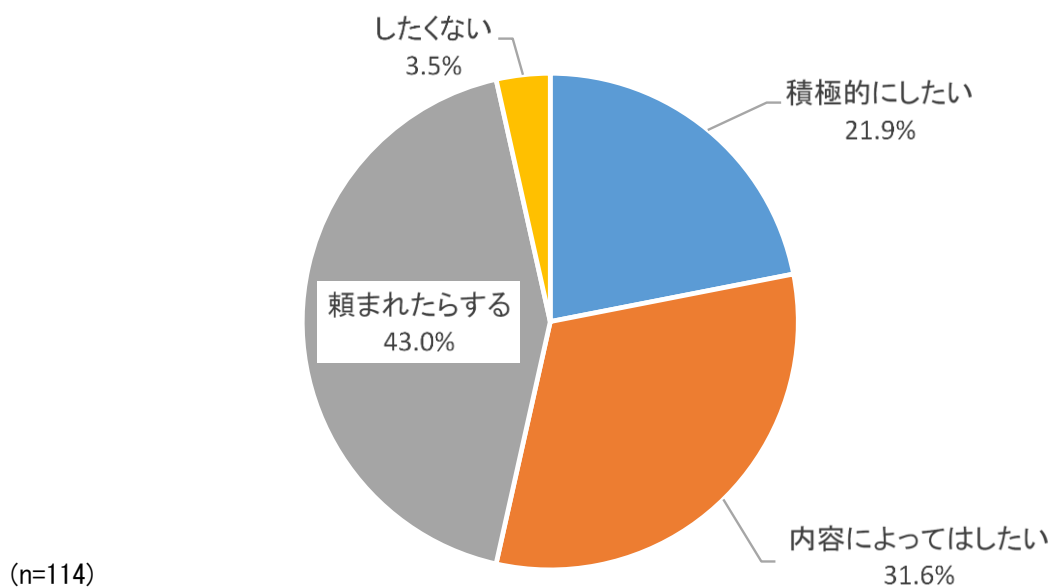


(n=114)

問 11 隣近所で困っている人への手助けについての気持ち

「頼まれたらする」が 43.0%と最も高く、次いで「内容によってはしたい」が 31.6%となっています。

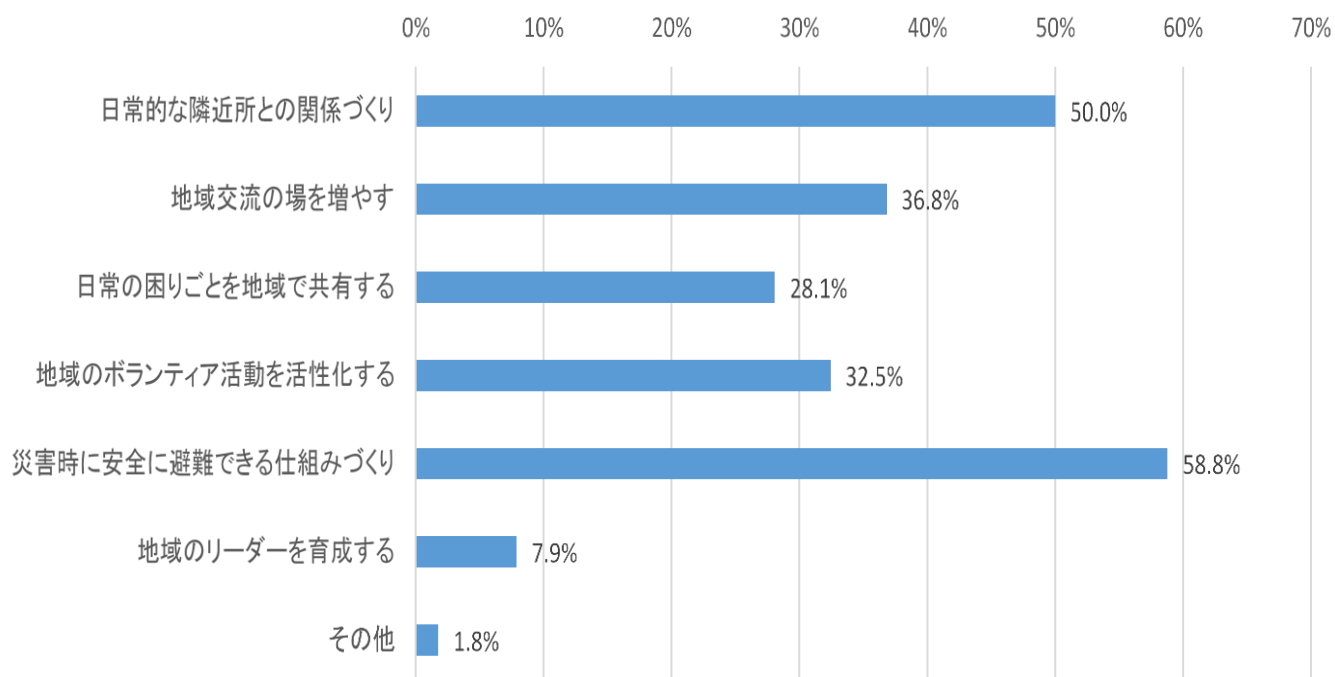
	R5	
	件数	構成比
積極的にしたい	25	21.9%
内容によってはしたい	36	31.6%
頼まれたらする	49	43.0%
したくない	4	3.5%
無回答	0	0.0%
合計	114	100%



問 12 住みなれた地域で安心して生活していくために重要だと思う取り組み(あてはまるものすべて)

「災害時に安全に避難できる仕組みづくり」が 58.8%と最も高く、次いで「日常的な隣近所との関係づくり」が 50.0%となっています。

	R5	
	件数	構成比
日常的な隣近所との関係づくり	57	50.0%
地域交流の場を増やす	42	36.8%
日常の困りごとを地域で共有する	32	28.1%
地域のボランティア活動を活性化する	37	32.5%
災害時に安全に避難できる仕組みづくり	67	58.8%
地域のリーダーを育成する	9	7.9%
その他	2	1.8%
無回答	0	0.0%
合計	114	100%



(n=114)

問 3 居住地域 × 問 12 安心して生活していくために重要だと思う取り組み

居住地域と重要だと思う取り組みについて比較すると、5 地域においては、「災害時に安全に避難できる仕組みづくり」という回答が最も高い割合となっています。

なお、全 11 地域において、「地域のリーダーを育成する」という回答が最も低い割合となっています。

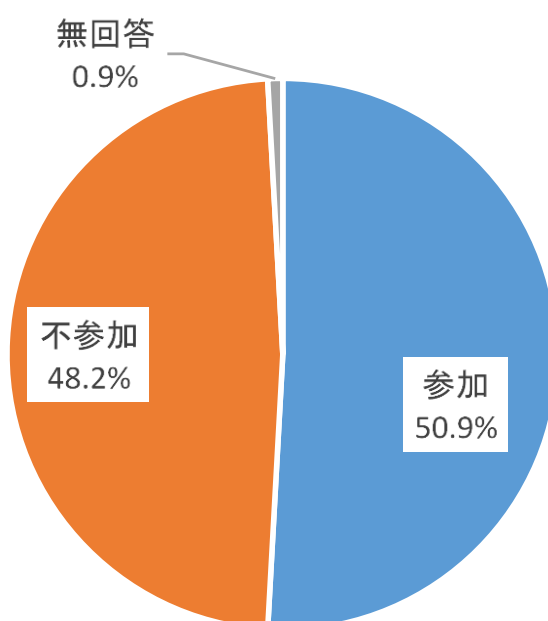
			安心して生活していくために重要だと思う取り組み						
			日常的な 隣近所と の関係づ くり	地域交流 の場を増 やす	日常の困 りごとを 地域で共 有する	地域のボ ランティ ア活動を 活性化す る	災害時に 安全に避 難できる 仕組みづ くり	地域のリ ーダーを 育成する	その他
			n=57	n=42	n=32	n=37	n=67	n=9	n=2
居住地域	西厨川・桜城	n=11	63.6%	27.3%	36.4%	36.4%	45.5%	0.0%	0.0%
	仁王・上田	n=9	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	77.8%	0.0%	11.1%
	米内・山岸	n=9	33.3%	11.1%	55.6%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%
	松園・緑が丘	n=11	45.5%	63.6%	27.3%	36.4%	54.5%	27.3%	0.0%
	加賀野・城南・杜 陵・大慈寺・中野・ 築川	n=15	60.0%	40.0%	33.3%	26.7%	40.0%	13.3%	0.0%
	青山・東厨川・土淵	n=12	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	66.7%	8.3%	8.3%
	みたけ・厨川	n=5	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	仙北・本宮・太田・ つなぎ	n=19	36.8%	42.1%	26.3%	15.8%	68.4%	5.3%	0.0%
	見前・津志田・乙部	n=15	66.7%	40.0%	20.0%	46.7%	53.3%	13.3%	0.0%
	飯岡・永井	n=5	80.0%	40.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	玉山	n=3	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%

■ボランティア活動について

問 13 ボランティア活動への参加状況（小学校卒業以降）

「参加」 50.9%、「不参加」 48.2%となっています。

	R5	
	件数	構成比
参加	58	50.9%
不参加	55	48.2%
無回答	1	0.9%
合計	114	100%



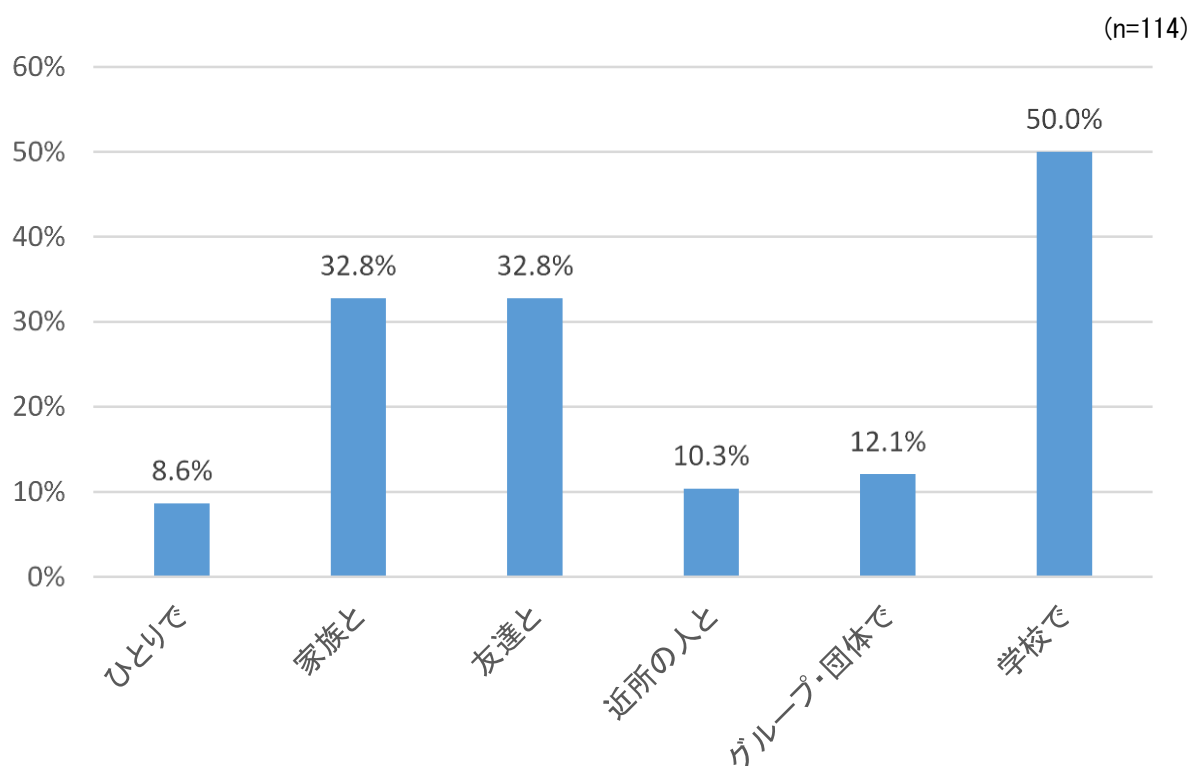
(n=114)

問 14 誰と一緒にボランティア活動をしたか（あてはまるものすべて）

ボランティア活動に参加したことがあると回答した 58 人に対して、誰と一緒にボランティア活動に参加したかについて尋ねたところ、「学校で」が 50.0%と最も高く、次いで「家族と」及び「友達と」がそれぞれ 32.8%となっています。

以前の調査と比較すると、増加傾向にあった「ひとりで」の割合が減少に転じています。また、「学校で」の割合も減少傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ひとりで	8	8.2%	8	10.5%	10	14.1%	14	16.1%	5	8.6%
家族と	13	13.4%	6	7.9%	15	21.1%	17	19.5%	19	32.8%
友達と	36	37.1%	32	42.1%	26	36.6%	39	44.8%	19	32.8%
近所の人と	16	16.5%	9	11.8%	7	9.9%	14	16.1%	6	10.3%
グループ・団体で	28	28.9%	18	23.7%	21	29.6%	24	27.6%	7	12.1%
学校で	75	77.3%	54	71.1%	45	63.4%	54	62.1%	29	50.0%
その他	3	3.1%	2	2.6%	4	5.6%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	7.2%	4	5.3%	16	22.5%	4	4.6%	0	0.0%
合計	97	－	76	－	71	－	87	－	58	－



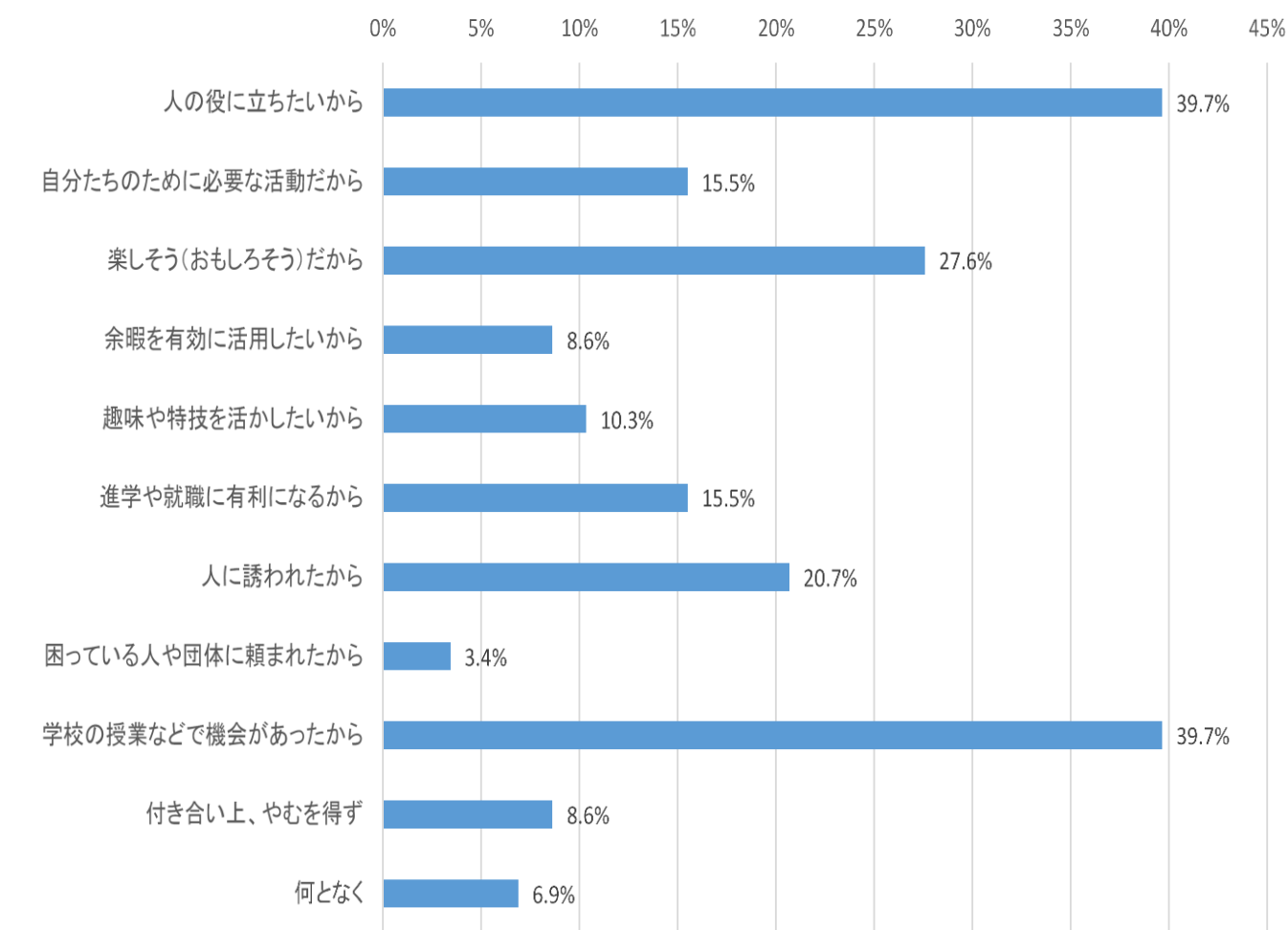
問 15 ボランティア活動に参加したきっかけ（あてはまるものすべて）

ボランティア活動に参加したことがあると回答した 58 人に対して、ボランティア活動に参加したきっかけについて尋ねたところ、「人の役に立ちたいから」「学校の授業などで機会があったから」が 39.7%と最も高くなっています。

以前の調査と比較すると、「人の役に立ちたいから」の割合が増加傾向にあります。一方で、「学校の授業などで機会があったから」の割合は減少傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
人の役に立ちたいから	18	18.6%	14	18.4%	14	19.7%	17	19.5%	23	39.7%
するのが当然だと思ったから	5	5.2%	11	14.5%	7	9.9%	15	17.2%	選択肢無	
自分たちのために必要な活動だから	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		9	15.5%
ボランティアの経験をしたかったから	19	19.6%	22	28.9%	15	21.1%	18	20.7%	選択肢無	
楽しそう（おもしろそう）だから	12	12.4%	14	18.4%	15	21.1%	15	17.2%	16	27.6%
余暇を有効に活用したいから	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		5	8.6%
趣味や特技を活かしたいから	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		6	10.3%
進学や就職に有利になるから	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		9	15.5%
親から活動のことを聞いて	9	9.3%	5	6.6%	11	15.5%	10	11.5%	選択肢無	
人に誘われたから	14	14.4%	18	23.7%	8	11.3%	18	20.7%	12	20.7%
困っている人や団体に頼まれたから	10	10.3%	5	6.6%	3	4.2%	5	5.7%	2	3.4%
学校の授業などで機会があったから	82	84.5%	61	80.3%	54	76.1%	62	71.3%	23	39.7%
付き合い上、やむを得ず	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		5	8.6%
何となく	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		2	3.4%
その他	7	7.2%	2	2.6%	4	5.6%	2	2.3%	0	0.0%
無回答	7	7.2%	4	5.3%	14	19.7%	2	2.3%	0	0.0%
合計	97	-	76	-	71	-	87	-	58	-

地域福祉に関するアンケート調査（市民 12 歳以上 17 歳以下）

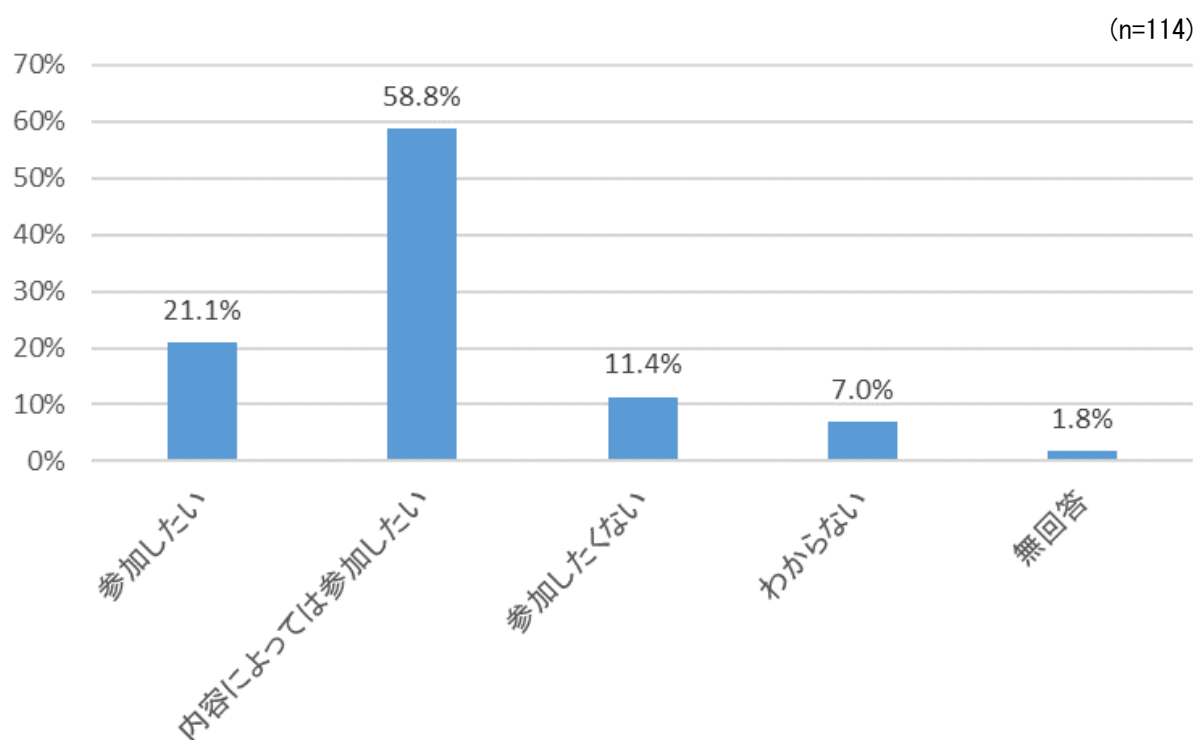


(n=58)

問 16 ボランティア活動に対する気持ち

「内容によっては参加したい」が回答者の半数以上の 58.8%と最も高い回答となっています。

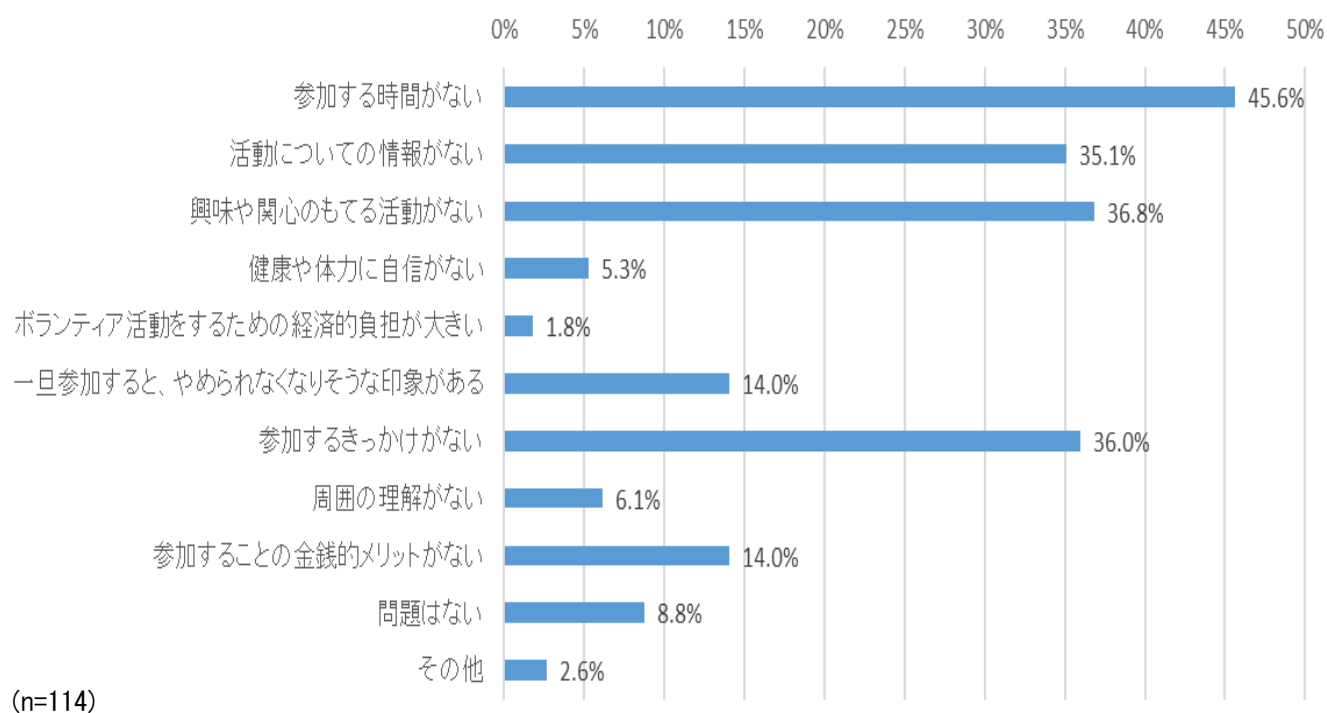
	R5	
	件数	構成比
参加したい	24	21.1%
内容によっては参加したい	67	58.8%
参加したくない	13	11.4%
わからない	8	7.0%
その他	0	0.0%
無回答	2	1.8%
合計	114	100%



問 17 ボランティア活動への参加に対する問題（あてはまるものすべて）

「参加する時間がない」が 45.6%と最も高く、次いで「興味や関心のもてる活動がない」が 36.8%となっています。

	R5	
	件数	構成比
参加する時間がない	52	45.6%
活動についての情報がない	40	35.1%
興味や関心のもてる活動がない	42	36.8%
健康や体力に自信がない	6	5.3%
ボランティア活動をするための経済的負担が大きい	2	1.8%
一旦参加すると、やめられなくなりそうな印象がある	16	14.0%
参加するきっかけがない	41	36.0%
周囲の理解がない	7	6.1%
参加することの金銭的メリットがない	16	14.0%
問題はない	10	8.8%
その他	3	2.6%
無回答	0	0.0%
合計	114	-



団体（社会福祉法人、地区福祉推進会、ボランティア団体及びNPO法人）

結果概要

※今回の調査は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時期と重なる部分があり、単純な経年比較はできないことを念頭に置くものとする。

■ 基本属性について

- ・組織形態の回答割合は次のとおりとなっています。（問 1）

NPO法人 : 32.3%

ボランティア団体 : 26.5%

社会福祉法人 : 24.9%

地区福祉推進会 : 16.4%

■ 事業について

- ・活動範囲については、「市内の一部地域」と回答した団体の割合が、30%程度と最も高くなっています。（問 2）
- ・事業分野については、「児童・母子福祉」と回答した団体の割合が、40%程度と最も高くなっています。（問 3）
- ・他団体との協力関係等の有無については、「社会福祉協議会」と回答した団体の割合が、70%程度と最も高くなっています。（問 4）
- ・サービスの質を向上させるための取り組みについては、「関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている」と回答した団体の割合が、70%程度と最も高くなっています。（問 5）
- ・運営上の課題については、「スタッフが不足している」と回答した団体の割合が、60%程度となっています。（問 6）

■ 今後の活動意向・要望について

- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるために必要なことについては、「町内会など、地域団体と連携して、活動の場を広げる」と回答した団体の割合が、55%程度と最も高くなっています。（問 7）

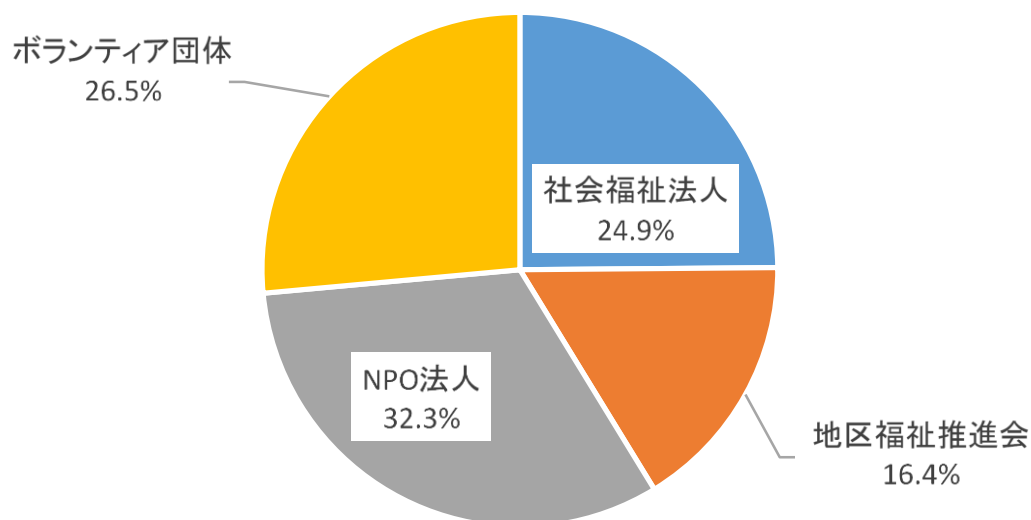
※ 複数回答の%の合計は、表示していません。

■基本属性について

問 1 団体の種類

「社会福祉法人」24.9%、「地区福祉推進会」16.4%、「NPO法人」32.3%、「ボランティア団体」26.5%となっています。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
社会福祉法人	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		47	24.9%
地区福祉推進会	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		31	16.4%
福祉関係団体	5	7.3	7	13.2	19	15.3	14	27.5	選択肢無	
ボランティア団体	37	53.6	19	35.8	42	33.9	7	13.7	50	26.5%
NPO法人	19	27.5	18	34	48	38.7	27	52.9	61	32.3%
その他	8	11.6	9	17	14	11.3	3	5.9	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	1	0.8	0	0	0	0.0%
合計	69	100%	53	100%	124	100%	51	100%	189	100%



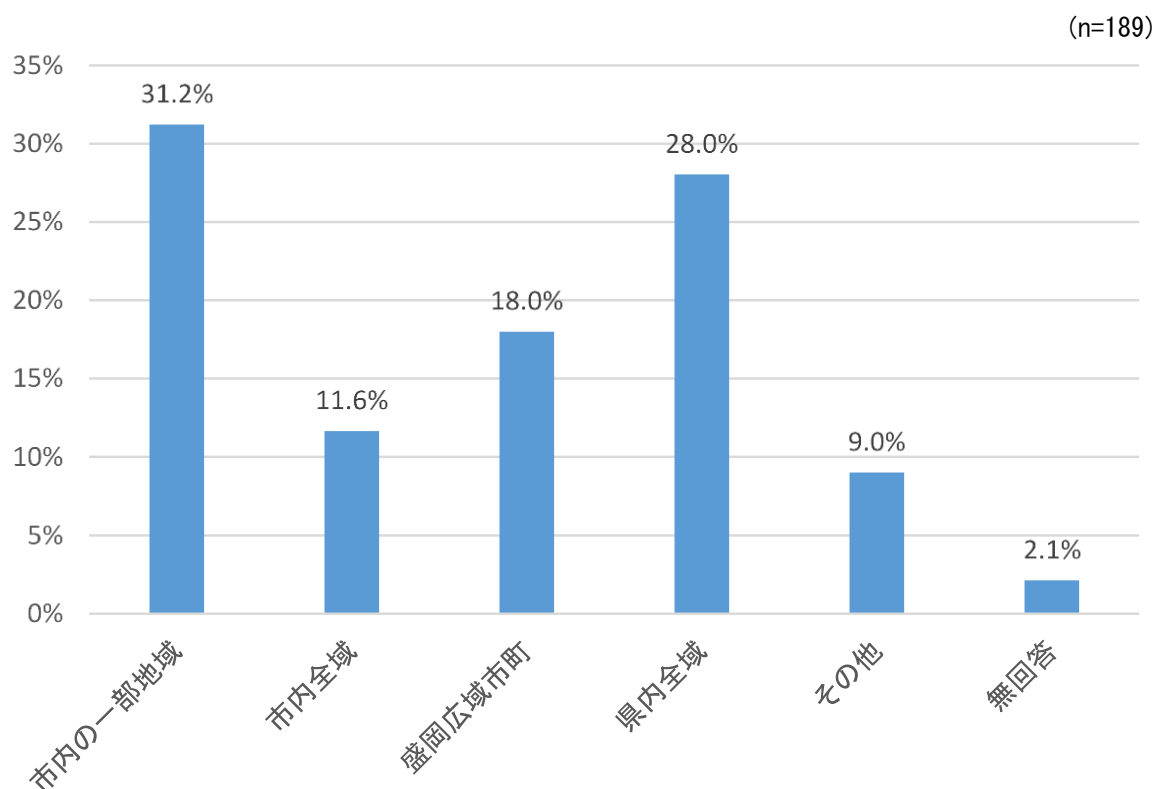
(n=189)

■事業について

問 2 活動範囲

「市内の一部地域」が31.2%と最も高く、次いで「県内全域」が28.0%となっています。
以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
市内の一部地域	10	14.5%	9	17.0%	37	29.8%	17	33.3%	59	31.2%
市内全域	17	24.6%	9	17.0%	17	13.7%	3	5.9%	22	11.6%
盛岡広域市町	19	27.5%	16	30.2%	25	20.2%	10	19.6%	34	18.0%
県内全域	16	23.2%	11	20.7%	28	22.6%	14	27.5%	53	28.0%
隣接県	3	4.4%	1	1.9%	5	4.0%	0	0.0%	選択肢無	
その他	4	5.8%	5	9.4%	12	9.7%	7	13.7%	17	9.0%
無回答	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.1%
合計	69	100%	53	100%	124	100%	51	100%	189	100%



地域福祉に関するアンケート調査（団体）

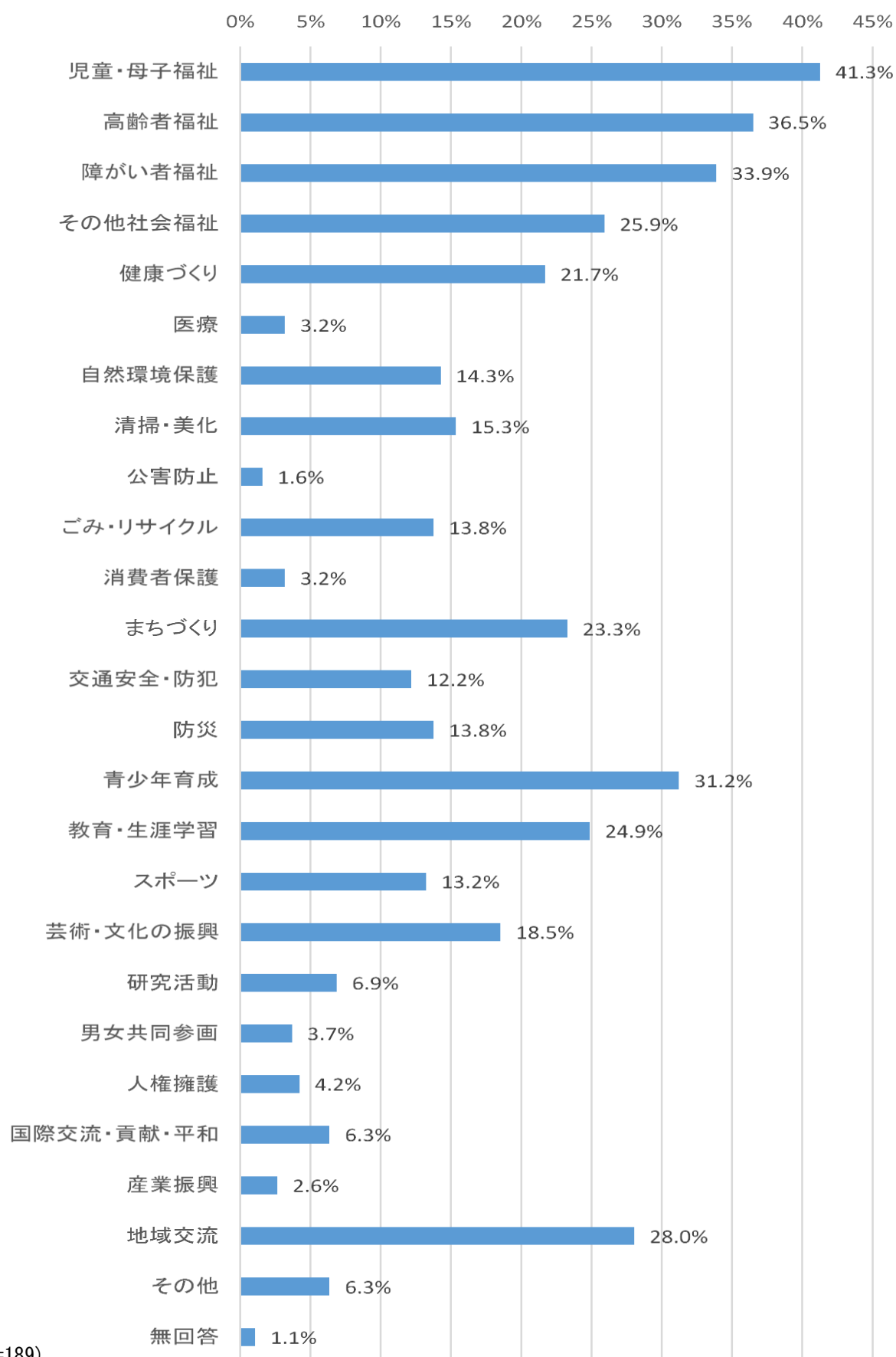
問 2 事業分野(あてはまるものすべて)

各団体が取り組んでいる活動分野では、「児童・母子福祉」が 43.1%と最も多く、次いで、「高齢者福祉」の 41.2%、「障がい福祉」「地域交流」の 33.3%となっています。

以前の調査と比較しても、特に顕著な違いはみられません。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
児童・母子福祉	16	23.2%	13	24.5%	33	26.6%	22	43.1%	78	41.3%
高齢者福祉	24	34.8%	21	39.6%	55	44.4%	21	41.2%	69	36.5%
障がい者福祉	45	65.2%	24	45.3%	56	45.1%	17	33.3%	64	33.9%
その他社会福祉	16	23.2%	11	20.8%	24	19.4%	10	19.6%	49	25.9%
健康づくり	9	13.0%	13	24.5%	36	29.0%	8	15.7%	41	21.7%
医療	3	4.3%	8	15.1%	11	8.9%	6	11.8%	6	3.2%
自然環境保護	5	7.2%	8	15.1%	14	11.3%	8	15.7%	27	14.3%
清掃・美化	6	8.7%	8	15.1%	19	15.3%	9	17.6%	29	15.3%
公害防止	3	4.3%	3	5.7%	5	4.0%	4	7.8%	3	1.6%
ごみ・リサイクル	6	8.7%	6	11.3%	21	16.9%	7	13.7%	26	13.8%
消費者保護	2	2.9%	5	9.4%	10	8.1%	6	11.8%	6	3.2%
まちづくり	4	5.8%	7	13.2%	8	6.5%	6	11.8%	44	23.3%
交通安全・防犯	1	1.4%	6	11.3%	14	11.3%	7	13.7%	23	12.2%
防災	2	2.9%	6	11.3%	15	12.1%	7	13.7%	26	13.8%
青少年育成	18	26.1%	16	30.2%	40	32.3%	16	31.4%	59	31.2%
教育・生涯学習	23	33.3%	13	24.5%	31	25.0%	11	21.6%	47	24.9%
スポーツ	2	2.9%	6	11.3%	16	12.9%	7	13.7%	25	13.2%
芸術・文化の振興	8	11.6%	8	15.1%	22	17.7%	7	13.7%	35	18.5%
研究活動	2	2.9%	4	7.5%	4	3.2%	4	7.8%	13	6.9%
男女共同参画	5	7.2%	9	17.0%	8	6.5%	6	11.8%	7	3.7%
人権擁護	5	7.2%	4	7.5%	12	9.7%	4	7.8%	8	4.2%
国際交流・貢献・平和	7	10.1%	6	11.3%	10	8.1%	6	11.8%	12	6.3%
産業振興	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%	3	5.9%	5	2.6%
地域交流	25	36.2%	18	34.0%	41	33.1%	17	33.3%	53	28.0%
その他	7	10.1%	8	15.1%	18	14.5%	5	9.8%	12	6.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	2	1.1%
合計	69	—	53	—	124	—	51	—	189	—

地域福祉に関するアンケート調査（団体）



(n=189)

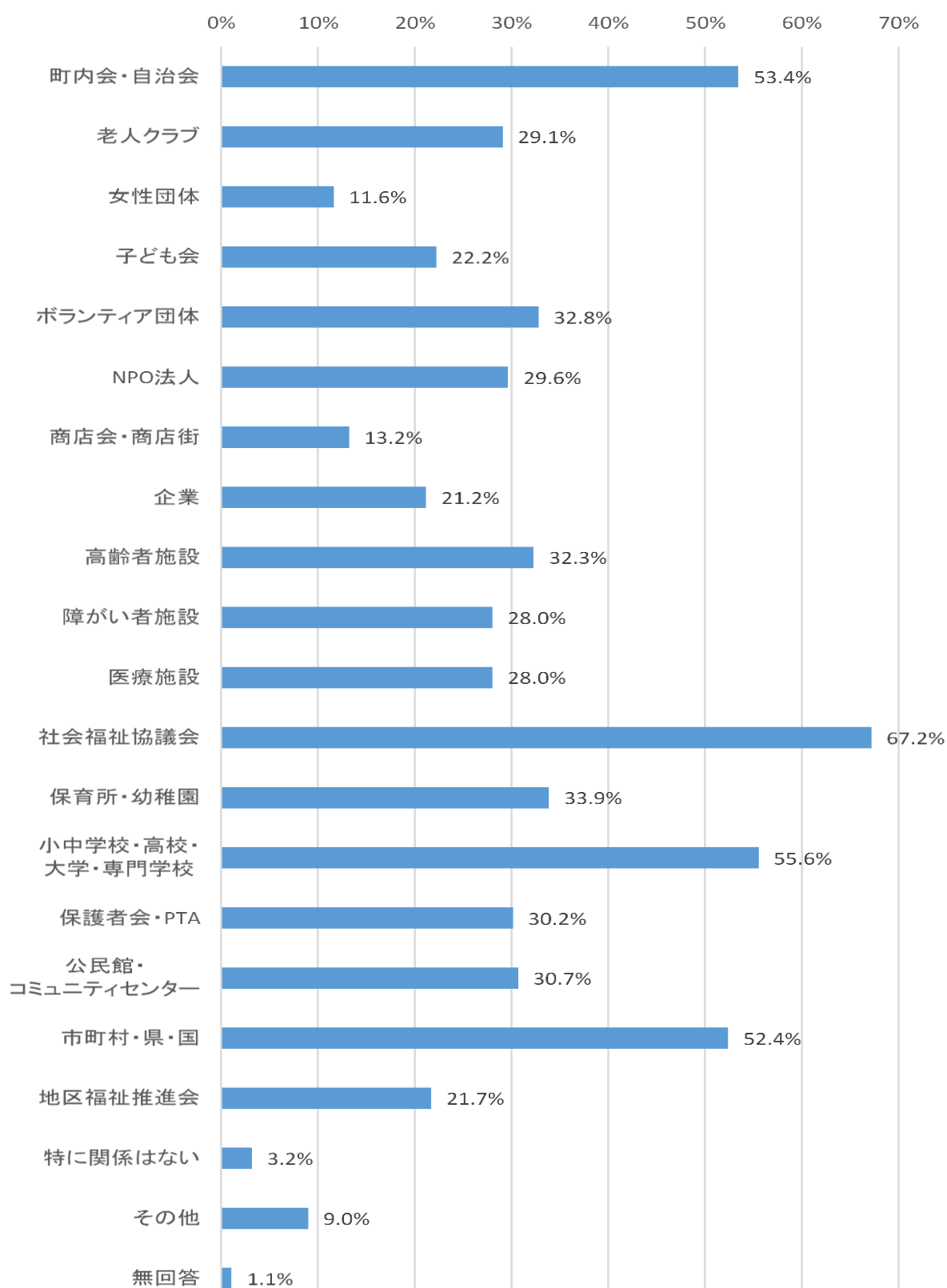
問 4 他団体との交流や協力関係の有無（あてはまるものすべて）

「社会福祉協議会」が 67.2%と最も高く、次いで「小中学校・高校・大学・専門学校」が 55.6%となっています。

以前の調査と比較すると、減少傾向にあった「社会福祉協議会」の割合が増加に転じています。また、「市町村・県・国」の割合も増加傾向にあります。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
町内会・自治会	17	24.6%	22	41.5%	46	37.1%	22	43.1%	101	53.4%
老人クラブ・女性団体	9	13.0%	16	30.2%	32	25.8%	15	29.4%	選択肢無	
老人クラブ	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		55	29.1%
女性団体	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		22	11.6%
子ども会	10	14.5%	12	22.6%	23	18.5%	8	15.7%	42	22.2%
ボランティア団体	34	49.3%	20	37.7%	53	42.7%	14	27.5%	62	32.8%
NPO法人	18	26.1%	14	26.4%	47	37.9%	16	31.4%	56	29.6%
上部団体・関係団体	14	20.3%	18	34.0%	31	25.0%	19	37.3%	選択肢無	
商店会・商店街	0	0.0%	7	13.2%	7	5.6%	7	13.7%	25	13.2%
企業	6	8.7%	13	24.5%	12	9.7%	12	23.5%	40	21.2%
高齢者施設	16	23.2%	11	20.8%	38	30.6%	13	25.5%	61	32.3%
障がい者施設	27	39.1%	18	34.0%	38	30.6%	10	19.6%	53	28.0%
医療施設	12	17.4%	15	28.3%	26	21.0%	15	29.4%	53	28.0%
社会福祉協議会	43	62.3%	27	50.9%	66	53.2%	23	45.1%	127	67.2%
保育所・幼稚園	9	13.0%	13	24.5%	17	13.7%	10	19.6%	64	33.9%
小中学校・高校・大学・専門学校	16	23.2%	16	30.2%	33	26.6%	17	33.3%	105	55.6%
保護者会・PTA	8	11.6%	10	18.9%	20	16.1%	9	17.6%	57	30.2%
公民館・コミュニティセンター	17	24.6%	15	28.3%	29	23.4%	13	25.5%	58	30.7%
市町村・県・国	23	33.3%	22	41.5%	54	43.5%	26	51.0%	99	52.4%
地区福祉推進会	選択肢無		選択肢無		選択肢無		選択肢無		41	21.7%
特に関係はない	4	5.8%	5	9.4%	6	4.8%	5	9.8%	6	3.2%
その他	4	5.8%	7	13.2%	12	9.7%	9	17.6%	17	9.0%
無回答	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
合計	69	—	53	—	124	—	51	—	189	—

地域福祉に関するアンケート調査（団体）



(n=189)

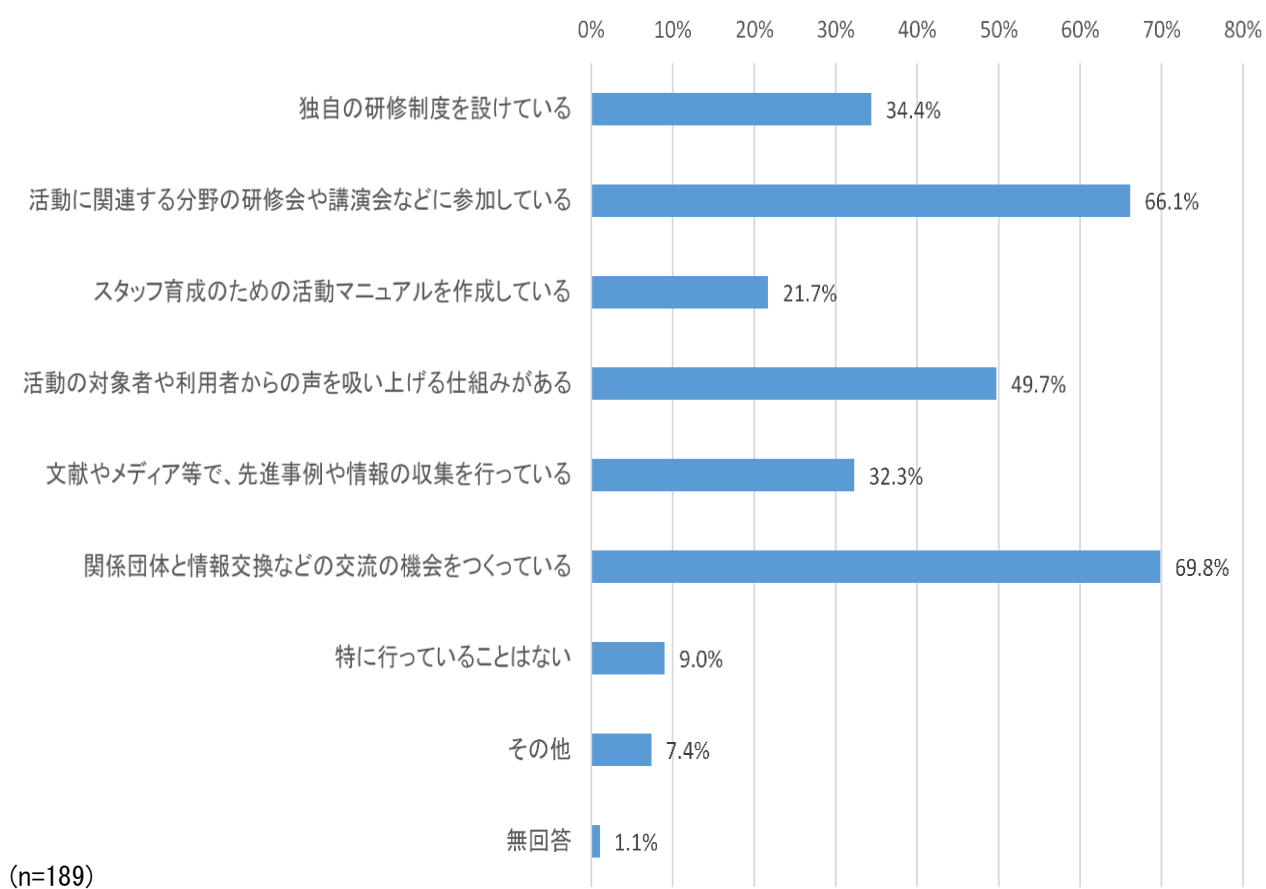
問 5 サービスの質を向上させるための取り組み(あてはまるものすべて)

「関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている」が69.8%と最も高く、次いで「活動に関連する分野の研修会や講演会などに参加している」が66.1%となっています。

以前の調査と比較すると、前々回（H25）調査まで増加傾向であった「関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている」の割合が、前回（H31）調査で減少に転じましたが、再び増加に転じています。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
独自の研修制度を設けている	26	37.7%	16	30.2%	43	34.7%	13	25.5%	65	34.4%
活動に関連する分野の研修会や講演会などに参加している	46	66.7%	38	71.7%	71	57.3%	36	70.6%	125	66.1%
スタッフ育成のための活動マニュアルを作成している	10	14.5%	5	9.4%	11	8.9%	9	17.6%	41	21.7%
活動の対象者や利用者からの声を吸い上げる仕組みがある	22	31.9%	16	30.2%	49	39.5%	17	33.3%	94	49.7%
文献やメディア等で、先進事例や情報の収集を行っている	19	27.5%	11	20.8%	23	18.5%	12	23.5%	61	32.3%
関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている	33	47.8%	29	54.7%	69	55.6%	27	52.9%	132	69.8%
特に行っていることはない	5	7.2%	3	5.7%	10	8.1%	8	15.7%	17	9.0%
その他	3	4.3%	3	5.7%	9	7.3%	2	3.9%	14	7.4%
無回答	0	0.0%	1	1.9%	3	2.4%	0	0.0%	2	1.1%
合計	69	—	53	—	124	—	51	—	189	—

地域福祉に関するアンケート調査（団体）



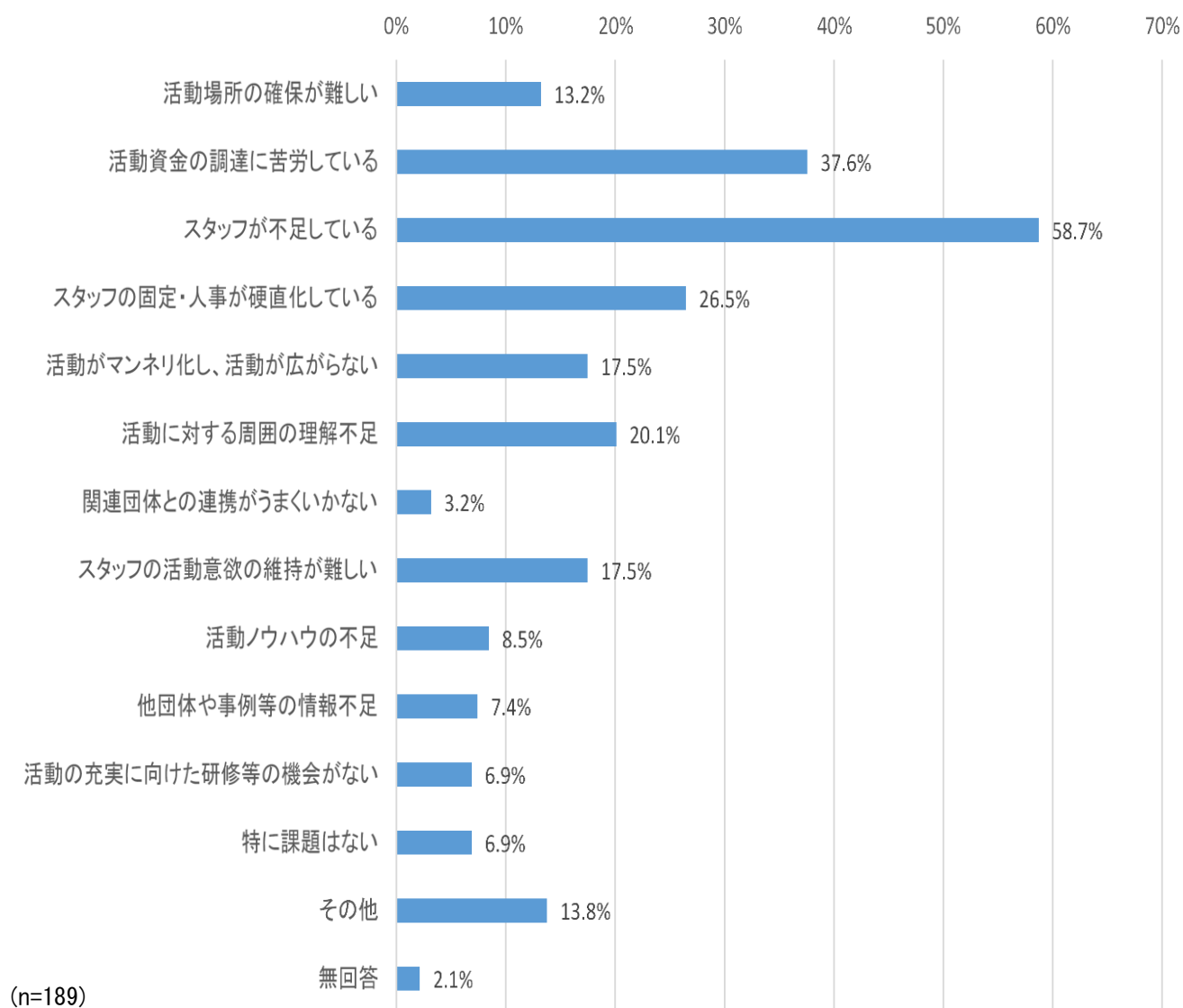
問 6 運営上の課題（あてはまるものすべて）

「スタッフが不足している」が 58.7%と最も高く、次いで「活動資金の調達に苦労している」が 37.6%となっています。

以前の調査と比較しても、上位項目に変化はありませんが、増加傾向である「活動に対する周囲の理解不足」の増加率が特に高くなっています。

	H16		H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
活動場所の確保が難しい	13	18.8%	6	11.3%	13	10.5%	6	11.8%	25	13.2%
活動資金の調達に苦労している	24	34.8%	26	49.1%	45	36.3%	19	37.3%	71	37.6%
スタッフが不足している	22	31.9%	27	50.9%	51	41.1%	26	51.0%	111	58.7%
スタッフの固定・人事が硬直化している	16	23.2%	5	9.4%	23	18.5%	8	15.7%	50	26.5%
活動がマンネリ化し、活動が広がらない	10	14.5%	9	17.0%	21	16.9%	7	13.7%	33	17.5%
活動に対する周囲の理解不足	11	15.9%	4	7.5%	12	9.7%	5	9.8%	38	20.1%
関連団体との連携がうまくいかない	3	4.3%	2	3.8%	4	3.2%	1	2.0%	6	3.2%
スタッフの活動意欲の維持が難しい	12	17.4%	3	5.7%	15	12.1%	5	9.8%	33	17.5%
活動ノウハウの不足	2	2.9%	9	17.0%	15	12.1%	2	3.9%	16	8.5%
他団体や事例等の情報不足	3	4.3%	4	7.6%	13	10.5%	4	7.8%	14	7.4%
活動の充実に向けた研修等の機会がない	5	7.2%	5	9.4%	11	8.9%	2	3.9%	13	6.9%
特に課題はない	11	15.9%	7	13.2%	19	15.3%	8	15.7%	13	6.9%
その他	7	10.1%	2	3.8%	17	13.7%	4	7.8%	26	13.8%
無回答	4	5.8%	2	3.8%	6	4.8%	0	0.0%	4	2.1%
合計	69	—	53	—	124	—	51	—	189	—

地域福祉に関するアンケート調査（団体）



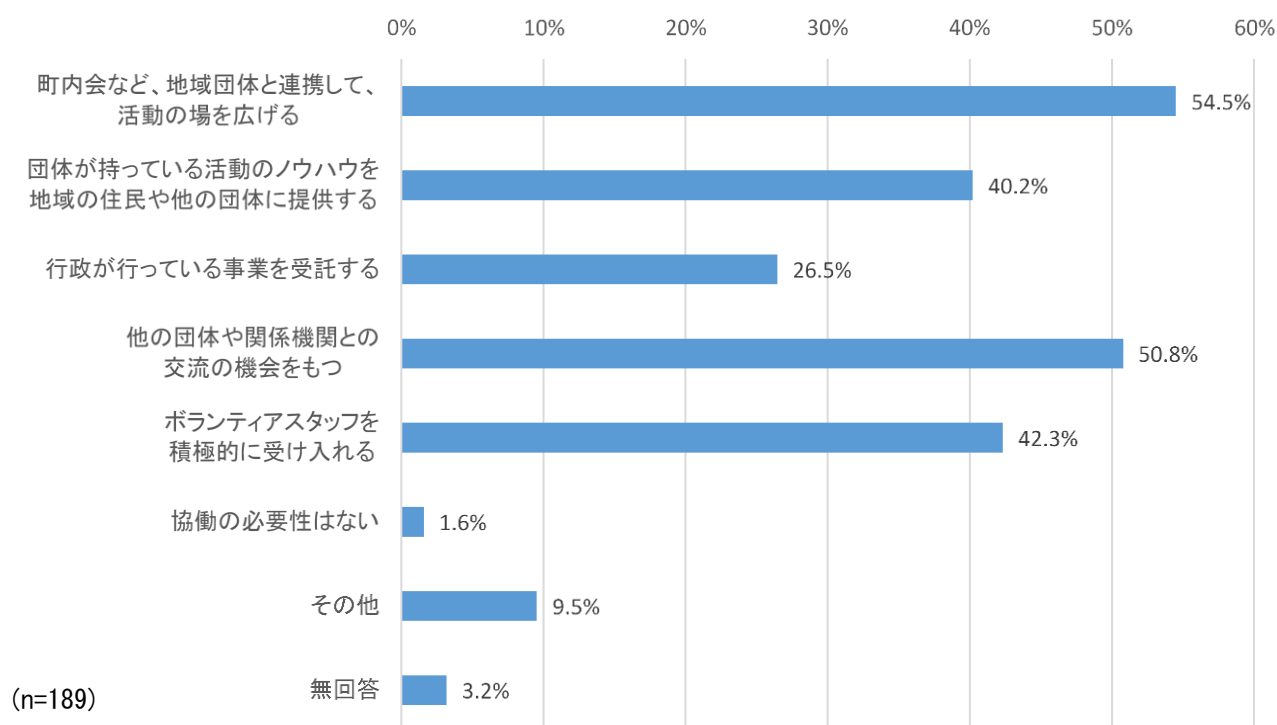
■今後の活動意向・要望について

問 7 誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるために必要なこと（あてはまるものすべて）

「町内会など、地域団体と連携して、活動の場を広げる」が54.5%と最も高く、次いで「他の団体や関係機関との交流の機会をもつ」が50.8%となっています。

以前の調査と比較すると、「ボランティアスタッフを積極的に受け入れる」の割合が増加傾向にあります。

	H20		H25		H31		R5	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
町内会など、地域団体と連携して、活動の場を広げる	28	52.8%	57	46.0%	29	56.9%	103	54.5%
団体が持っている活動のノウハウを地域の住民や他の団体に提供する	18	34.0%	40	32.3%	22	43.1%	76	40.2%
行政が行っている事業を受託する	14	26.4%	28	22.6%	10	19.6%	50	26.5%
他の団体や関係機関との交流の機会をもつ	34	64.2%	61	49.2%	27	52.9%	96	50.8%
ボランティアスタッフを積極的に受け入れる	16	30.2%	36	29.0%	20	39.2%	80	42.3%
協働の必要性はない	2	3.8%	0	0.0%	1	2.0%	3	1.6%
その他	2	3.8%	7	5.6%	1	2.0%	18	9.5%
無回答	1	1.9%	15	12.1%	0	0.0%	6	3.2%
合計	53	—	124	—	51	—	189	—



地域福祉に関するアンケート調査票 (18歳以上用)

記入に際してのお願い

- 1 回答の際は、黒色のボールペンを使用してください。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、

該当する番号の左隣の □ にチェックを入れてください。

良い例



悪い例



- 3 回答は、設問の文末に 単数回答の場合は（1つ）、複数回答が可能な場合は（あてはまるものすべて）と表示していますので、それに従ってください。

《あなた自身のことについておうかがいします》

問1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

- ☐ 1. 男
- ☐ 2. 女
- ☐ 3. その他
- ☐ 4. 回答したくない

問2 あなたの年齢をお答えください（令和5年4月1日時点）。（1つ）

- ☐ 1. 10歳代
- ☐ 2. 20歳代
- ☐ 3. 30歳代
- ☐ 4. 40歳代
- ☐ 5. 50歳代
- ☐ 6. 60歳代
- ☐ 7. 70歳代
- ☐ 8. 80歳以上

問3 あなたは、盛岡市にお住まいになって、通算して何年くらいですか。（1つ）

- ☐ 1. 5年未満
- ☐ 2. 5年～10年未満
- ☐ 3. 10年～20年未満
- ☐ 4. 20年～30年未満
- ☐ 5. 30年以上

問4 あなたは、どちらの地域にお住まいですか。町名から地域をお選びください。（1つ）

	地域	町名
☒ 99	(例) ○・□□	△△△・◇◇◇・■ ■ ■・◎◎◎・☆☆☆
☐ 1	西厨川・桜城	中央通・大通・菜園・大沢川原・開運橋通・長田町・材木町・梨木町・西下台町・盛岡駅前通・盛岡駅前北通・盛岡駅西通・中川町・新田町・城西町・境田町・天昌寺町・中屋敷町・大新町・北天昌寺町・稲荷町・大館町
☐ 2	仁王・上田	内丸・本町通・名須川町・北山・上田・館向町・高松1～3・上田堤・三ツ割・三ツ割字
☐ 3	米内・山岸	愛宕町・山岸・山岸字・紅葉が丘・岩清水・下米内・下米内字・上米内字・桜台・浅岸・浅岸字・加賀野字
☐ 4	松園・緑が丘	高松4・箱清水・上田字・緑が丘・東緑が丘・岩脇町・黒石野・東黒石野・松園・東松園・西松園・北松園・小鳥沢
☐ 5	加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	中ノ橋通・紺屋町・神明町・志家町・若園町・住吉町・上ノ橋町・天神町・加賀野・肴町・下ノ橋町・馬場町・清水町・南大通・八幡町・松尾町・大慈寺町・鉦屋町・神子田町・茶畑・中野・新庄町・高崩・東中野・下道・山王町・東中野町・東中野字・小杉山・東新庄・東桜山・つつじが丘・東山・川目町・川目・東安庭・東安庭字・門・門字・新庄字・砂子沢・根田茂・築川
☐ 6	青山・東厨川・土淵	夕顔瀬町・北夕顔瀬町・前九年・安倍館町・青山・上堂・月が丘・西青山・南青山町・長橋町・中堤町・前潟・上厨川字・土淵字
☐ 7	みたけ・北厨川	厨川・みたけ・下厨川字
☐ 8	仙北・本宮・太田・つなぎ	仙北・東仙北・南仙北・西仙北・仙北町字・本宮・本宮字・向中野・向中野字・下鹿妻字・上太田・中太田・下太田・猪去・上鹿妻・繫字・北飯岡
☐ 9	見前・津志田・乙部	三本柳・津志田・津志田町・津志田西・津志田中央・津志田南・東見前・西見前・乙部・大ヶ生・黒川・手代森
☐ 10	飯岡・永井	永井・下飯岡・上飯岡・飯岡新田・北飯岡・羽場・湯沢・湯沢東・湯沢西・湯沢南・流通センター北・向中野
☐ 11	玉山	芋田字・上田字・川崎字・川又字・好摩字・渋民字・下田字・玉山字・寺林字・玉山永井字・玉山馬場字・日戸字・巻堀字・松内字・門前寺字・藪川字

問5 現在暮らしている住宅は次のどれにあたりますか。（1つ）

- ☐ 1. 持ち家（一戸建て）
- ☐ 2. 持ち家（マンション）
- ☐ 3. 借家（一戸建て）
- ☐ 4. 借家（アパートやマンション）
- ☐ 5. 寮・寄宿舍
- ☐ 6. その他（ ）

問6 あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。（1つ）

- ☐ 1. 単身
- ☐ 2. 一世代（夫婦（パートナーを含む）、兄弟姉妹）
- ☐ 3. 二世帯（親子など）
- ☐ 4. 三世帯（親・子・孫など）
- ☐ 5. その他（ ）

問7 あなたは、1日3食全ての食事を1人で食べることがありますか。（1つ）

- ☐ 1. ほとんどない
- ☐ 2. 週に1日程度ある
- ☐ 3. 週に2～3日ある
- ☐ 4. 週に4～5日ある
- ☐ 5. ほとんど毎日

問8 あなたは、問7で回答した現在の食事状況に満足していますか。（1つ）

- ☐ 1. 満足している
- ☐ 2. どちらかといえば満足している
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば満足していない
- ☐ 5. 満足していない

《地域とあなたの関わりについておうかがいします》

問 9 あなたの、地域の人との関わりはどの程度ですか。（1つ）

- ☐ 1. おおいに関わりがある
- ☐ 2. どちらかといえば関わりがある
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば関わりはない
- ☐ 5. ほとんど関わりはない

問 10 あなたは、現在の地域の人とのつながりに満足していますか。（1つ）

- ☐ 1. 満足している
- ☐ 2. どちらかといえば満足している
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば満足していない
- ☐ 5. 満足していない

問 11 あなたは、1年以内に地域の活動に参加しましたか。（1つ）

- ☐ 1. 参加した
- ☐ 2. 参加していない

問Ⅰ 2 地域活動への参加にあたり、あなたが問題だと感じることはなんですか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 参加する時間がない
- ☐ 2. 活動についての情報がない
- ☐ 3. 興味や関心のもてる活動がない
- ☐ 4. 健康や体力に自信がない
- ☐ 5. 地域活動をするための経済的負担が大きい
- ☐ 6. 一旦参加すると、やめられなくなりそうな印象がある
- ☐ 7. 参加するきっかけがない
- ☐ 8. 周囲の理解がない
- ☐ 9. 参加することの金銭的メリットがない
- ☐ 10. 問題はない
- ☐ 11. その他（ ）

問Ⅰ 3 地域活動への参加について、あなたの気持ちを教えてください。（1つ）

- ☐ 1. 参加したい
- ☐ 2. 内容によっては参加したい
- ☐ 3. 当番制なら参加する
- ☐ 4. 参加したくない
- ☐ 5. わからない
- ☐ 6. その他（ ）

問Ⅰ 4 お住まいの地域は住みやすいと感じますか。（1つ）

- ☐ 1. 感じる
- ☐ 2. どちらかといえば感じる
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば感じない
- ☐ 5. 感じない

問Ⅰ 5 地域住民の方々が安心して生活していくために、重要だと思う取り組みを次の中から選んでください。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 日常的な隣近所との関係づくり
- ☐ 2. 地域交流の場を増やす
- ☐ 3. 日常の困りごとを地域で共有する
- ☐ 4. 地域のボランティア活動を活性化する
- ☐ 5. 災害時に安全に避難できる仕組みをつくる
- ☐ 6. 地域のリーダーを育成する
- ☐ 7. その他（ ）

《地域の支え合いに関するあなたの考えについておうかがいします》

問Ⅰ 6 隣近所で困っている世帯への手助けについて、あなたの気持ちを教えてください。（1つ）

※手助けの例：安否確認の声掛け、話し相手、玄関前の掃除や除雪、ごみ出しなど

- ☐ 1. 積極的にしたい
- ☐ 2. 内容によってはしたい
- ☐ 3. 頼まれたらする
- ☐ 4. したくない

問Ⅰ 7 あなたに困りごとがあった場合、隣近所の人に手助けしてほしいですか。（1つ）

※手助けの例：安否確認の声掛け、話し相手、玄関前の掃除や除雪、ごみ出しなど

- ☐ 1. 常にしてほしい
- ☐ 2. してほしいときがある
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. いない

問Ⅰ 8 地域の人に支えられた（助けられた）と感じたことはありますか。（1つ）

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない
- ☐ 3. 助けを必要としたことがない
- ☐ 4. わからない

問 19 日常生活で困ったときに、家族や親族以外に相談できる人、または相談できる場所
はありますか。（1つ）

※友人や知人、隣近所、民生委員、社会福祉協議会、市役所、地域包括支援センター、
子育て支援センター、医療機関、福祉サービス事業者、ボランティアやNPOなど

- ☐ 1. 相談先がある
- ☐ 2. 相談先がない
- ☐ 3. 相談はしない（相談する必要がない）
- ☐ 4. 困りごとはない

問 20 災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係があると感じていますか。（1つ）

- ☐ 1. 感じる
- ☐ 2. どちらかといえば感じる
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば感じない
- ☐ 5. 感じない

問 21 「災害時に近隣の人と支え合う（助け合う）関係づくり」には何が必要だと思いま
すか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 地域住民で結成する自主防災組織
- ☐ 2. 避難支援が必要な人の情報（どこに住んでいるかわかる地図等）
- ☐ 3. 地域での定期的な避難訓練
- ☐ 4. 福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携
- ☐ 5. わからない
- ☐ 6. その他（ ）

《ボランティア活動に関することについておうかがいします》

問 22 あなたは、1年以内にボランティア活動に参加しましたか。（1つ）

- ☐ 1. 参加した
- ☐ 2. 参加していない → 問24へ

問 2 3 【問 2 2 で「1」を選んだ方におうかがいします。】
ボランティア活動に参加したきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 人の役に立ちたいから
- ☐ 2. 自分たちのために必要な活動だから
- ☐ 3. 楽しそう（おもしろそう）だから
- ☐ 4. 余暇を有効に活用したいから
- ☐ 5. 趣味や特技をいかしたいから
- ☐ 6. 進学や就職に有利になるから
- ☐ 7. 人に誘われたから
- ☐ 8. 困っている人や団体に頼まれたから
- ☐ 9. 学校の授業などで機会があったから
- ☐ 10. 付き合い上、やむを得ず
- ☐ 11. 何となく
- ☐ 12. その他（ ）

問 2 4 ボランティア活動への参加について、あなたが問題だと感じることはなんですか。
（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 参加する時間がない
- ☐ 2. 活動についての情報がない
- ☐ 3. 興味や関心のもてる活動がない
- ☐ 4. 健康や体力に自信がない
- ☐ 5. ボランティア活動をするための経済的負担が大きい
- ☐ 6. 一旦参加すると、やめられなくなりそうな印象がある
- ☐ 7. 参加するきっかけがない
- ☐ 8. 周囲の理解がない
- ☐ 9. 参加することの金銭的メリットがない
- ☐ 10. 問題はない
- ☐ 11. その他（ ）

問 2 5 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 活動に関する相談や拠点となる場所
- ☐ 2. 人材を養成するための研修
- ☐ 3. 活動についての情報提供
- ☐ 4. ボランティアを必要としている人とのマッチング
- ☐ 5. ボランティアポイントなどのメリットの付与
- ☐ 6. 交通費などの実費補助
- ☐ 7. 活動への職場の理解
- ☐ 8. 学校、地域での子どものボランティア活動
- ☐ 9. わからない
- ☐ 10. その他 ()

《福祉サービスの利用についておうかがいします》

問 2 6 あなたが子育てや高齢者・障がい者の介護などに関する福祉サービスを利用した時に、あらかじめ説明された内容と違っていたり、サービス内容に不満や疑問を感じたりしたことがありますか。(1つ)

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない → 問 2 8 へ
- ☐ 3. 福祉サービスを利用したことがない → 問 2 8 へ

問 2 7 【問 2 6 で「1」を選んだ方におうかがいします。】
その後どのようにしましたか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. サービスの事業者（責任者）に申し出た
- ☐ 2. 市役所など公的機関に相談した
- ☐ 3. 民生委員・児童委員や町内会の役員に相談した
- ☐ 4. 家族や友人・知人に相談した
- ☐ 5. 福祉サービス運営適正化委員会（岩手県社会福祉協議会に設置）に相談した
- ☐ 6. 弁護士などに相談した
- ☐ 7. サービスを受ける側なのであきらめた
- ☐ 8. その他 ()

《今後の地域福祉のあり方についておうかがいします》

問 2 8 子どもたちに対する福祉教育（思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育）をどのように行うべきだとお考えですか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 家庭の中で親から学ぶ
- ☐ 2. 地域の活動などを通じて学ぶ
- ☐ 3. 学校教育の中で学ぶ
- ☐ 4. テレビやインターネットなどを通じて学ぶ
- ☐ 5. 生活していく中で自然に身につく
- ☐ 6. わからない
- ☐ 7. その他（ ）

問 2 9 あなたは、福祉や健康に関する情報を何から入手していますか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 市や市社会福祉協議会の広報紙
- ☐ 2. 新聞、テレビ、ラジオ
- ☐ 3. 書籍や雑誌
- ☐ 4. インターネット
- ☐ 5. 人を介して（人づてに）
- ☐ 6. 特に入手していない
- ☐ 7. その他（ ）

問 3 0 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくための地域住民の役割について、どうお考えですか。（1つ）

- ☐ 1. 地域のことに熱心な人たちに任せる
- ☐ 2. 自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で助け合う
- ☐ 3. 住民同士で助け合うが、手の届かない部分は行政・民間・企業と協力する
- ☐ 4. 行政・民間・企業で取り組み、手の届かない部分は住民が協力する
- ☐ 5. 行政に責任があるため、住民はそれほど協力することはない
- ☐ 6. わからない
- ☐ 7. その他（ ）

問3 1 盛岡市では地域福祉計画を策定し、地域福祉の推進に取り組んできましたが、第2期計画策定時の平成27年度(約10年前)以降、次に掲げる21の施策について、どの程度進んだと感じますか。
(1)～(21)のそれぞれについて、1～5の該当する番号を選んでください。(1つ)

施策	大いに 進んだ	少し 進んだ	変わら ない	少し 後退した	大いに 後退した
(例) ○○の整備、充実	☐ 1	☒ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(1) 高齢・障がい・子どもなど分野横断的な支援の充実	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(2) 社会的孤立の防止	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(3) 生活困窮者への支援	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(4) 福祉サービスの充実	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(5) 福祉サービスの質の向上	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(6) 民間事業者・NPOなど幅広い事業主体の福祉関連事業への参入	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(7) 福祉や健康に関する相談体制の充実	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(8) 福祉や健康に関する相談・苦情への対応	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(9) 意思表示が困難な障がい者や高齢者の金銭管理等の日常生活支援	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(10) 福祉や健康に関する情報の提供	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(11) 日常生活の支え合い	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(12) 災害時の支え合い	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(13) 地域福祉活動への参加	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(14) 世代間の交流	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(15) ボランティア・NPO活動の支援	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(16) 企業の社会貢献活動	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(17) バリアフリー、ユニバーサルデザイン等の普及	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(18) 地域福祉活動に関連する人材の育成	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(19) ボランティア・NPO活動に関する人材の育成	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(20) 社会福祉事業に関連する人材の育成	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
(21) 福祉教育の充実	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5

問３２ 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるために
ご意見ご要望がありましたら、どんなことでも結構ですので、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました

地域福祉に関するアンケート調査票 (12歳～17歳用)

記入に際してのお願い

- 1 回答の際は、黒色のボールペンを使用してください。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、

該当する番号の左隣の □ にチェックを入れてください。

良い例



悪い例



- 3 回答は、設問の文末に 単数回答の場合は（1つ）、複数回答が可能の場合は（あてはまるものすべて）と表示していますので、それに従ってください。

《あなた自身や家族のことについておうかがいします》

問1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

- ☐ 1. 男
- ☐ 2. 女
- ☐ 3. その他
- ☐ 4. 回答したくない

問2 現在あなたが一緒に暮らしている人は誰ですか。（あてはまるものすべて）

※単身赴任など仕事などの都合で一時的に別に暮らしている場合は、一緒に暮らしているとします

- ☐ 1. 父親
- ☐ 2. 母親
- ☐ 3. 兄弟姉妹
- ☐ 4. 祖父
- ☐ 5. 祖母
- ☐ 6. その他（ ）

問3 あなたは、どちらの地域にお住まいですか。町名から地域をお選びください。(1つ)

	地域	町名
☒ 99	(例) ○・□□	△△△・◇◇◇・■ ■ ■・◎◎◎・☆☆☆
☐ 1	西厨川・桜城	中央通・大通・菜園・大沢川原・開運橋通・長田町・材木町・梨木町・西下台町・盛岡駅前通・盛岡駅前北通・盛岡駅西通・中川町・新田町・城西町・境田町・天昌寺町・中屋敷町・大新町・北天昌寺町・稲荷町・大館町
☐ 2	仁王・上田	内丸・本町通・名須川町・北山・上田・館向町・高松1～3・上田堤・三ツ割・三ツ割字
☐ 3	米内・山岸	愛宕町・山岸・山岸字・紅葉が丘・岩清水・下米内・下米内字・上米内字・桜台・浅岸・浅岸字・加賀野字
☐ 4	松園・緑が丘	高松4・箱清水・上田字・緑が丘・東緑が丘・岩脇町・黒石野・東黒石野・松園・東松園・西松園・北松園・小鳥沢
☐ 5	加賀野・城南・杜陵・大慈寺・中野・築川	中ノ橋通・紺屋町・神明町・志家町・若園町・住吉町・上ノ橋町・天神町・加賀野・肴町・下ノ橋町・馬場町・清水町・南大通・八幡町・松尾町・大慈寺町・鉾屋町・神子田町・茶畑・中野・新庄町・高崩・東中野下道・山王町・東中野町・東中野字・小杉山・東新庄・東桜山・つつじが丘・東山・川目町・川目・東安庭・東安庭字・門・門字・新庄字・砂子沢・根田茂・築川
☐ 6	青山・東厨川・土淵	夕顔瀬町・北夕顔瀬町・前九年・安倍館町・青山・上堂・月が丘・西青山・南青山町・長橋町・中堤町・前潟・上厨川字・土淵字
☐ 7	みたけ・北厨川	厨川・みたけ・下厨川字
☐ 8	仙北・本宮・太田・つなぎ	仙北・東仙北・南仙北・西仙北・仙北町字・本宮・本宮字・向中野・向中野字・下鹿妻字・上太田・中太田・下太田・猪去・上鹿妻・繫字・北飯岡
☐ 9	見前・津志田・乙部	三本柳・津志田・津志田町・津志田西・津志田中央・津志田南・東見前・西見前・乙部・大ヶ生・黒川・手代森
☐ 10	飯岡・永井	永井・下飯岡・上飯岡・飯岡新田・北飯岡・羽場・湯沢・湯沢東・湯沢西・湯沢南・流通センター北・向中野
☐ 11	玉山	芋田字・上田字・川崎字・川又字・好摩字・洪民字・下田字・玉山字・寺林字・玉山永井字・玉山馬場字・日戸字・巻堀字・松内字・門前寺字・蕨川字

問4 あなたが暮らしている住宅は次のどれにあたりますか。(1つ)

- ☐ 1. 家族の持ち家（一戸建て）
☐ 2. 家族の持ち家（マンション）
☐ 3. 借家（一戸建て）
☐ 4. 借家（アパートやマンション）
☐ 5. 寮・寄宿舎
☐ 6. その他（ ）

問5 あなたは、近所の大人とどのような付き合いをしていますか。（1つ）

- ☐ 1. よく話をする
- ☐ 2. たまに話をする
- ☐ 3. あまり話をしない
- ☐ 4. あいさつ程度はする
- ☐ 5. まったく話をしない

問6 あなたは、朝食または夕食を1人で食べることがありますか。（1つ）

- ☐ 1. ほとんどない
- ☐ 2. 週に1日程度ある
- ☐ 3. 週に2～3日ある
- ☐ 4. 週に4～5日ある
- ☐ 5. ほとんど毎日

問7 あなたは、問6で回答した現在の食事状況に満足していますか。（1つ）

- ☐ 1. 満足している
- ☐ 2. どちらかといえば満足している
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. どちらかといえば満足していない
- ☐ 5. 満足していない

《地域とあなたの関わりについておうかがいします》

問8 小学校を卒業してから、町内の行事に参加したことはありますか。（1つ）

※町内の行事の例：資源回収、祭りなど

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない

問 9 町内の行事への参加について、あなたの気持ちを教えてください。（1つ）

※町内の行事の例：資源回収、祭りなど

- ☐ 1. 参加したい
- ☐ 2. 内容によっては参加したい
- ☐ 3. 参加したくない
- ☐ 4. わからない
- ☐ 5. その他（ ）

問 10 あなたの身近に、障がいのある人や一人暮らしの高齢者など、手助けが必要だと思う人はいますか。（1つ）

※手助けの例：話し相手、玄関前の掃除や除雪、ごみ出しなど

- ☐ 1. いる
- ☐ 2. いない
- ☐ 3. わからない

問 11 隣近所で困っている人への手助けについて、あなたの気持ちを教えてください。（1つ）

- ☐ 1. 積極的にしたい
- ☐ 2. 内容によってはしたい
- ☐ 3. 頼まれたらする
- ☐ 4. したくない

問 12 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、重要だと思う取り組みを次の中から選んでください。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 日常的な隣近所との関係づくり
- ☐ 2. 地域交流の場を増やす
- ☐ 3. 日常の困りごとを地域で共有する
- ☐ 4. 地域のボランティア活動を活性化する
- ☐ 5. 災害時に安全に避難できる仕組みづくり
- ☐ 6. 地域のリーダーを育成する
- ☐ 7. その他（ ）

《ボランティア活動についておうかがいします》

問 1 3 小学校を卒業してから、ボランティア活動に参加したことはありますか。（1つ）
※ボランティアの例：イベントの手伝い、募金活動、子どもの遊び相手など

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない → 問 1 6 へ

問 1 4 【問 1 3 で「1」を選んだ方におうかがいします。】
誰と一緒にボランティア活動をしましたか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. ひとりで
- ☐ 2. 家族と
- ☐ 3. 友達と
- ☐ 4. 近所の人と
- ☐ 5. グループ・団体で
- ☐ 6. 学校で
- ☐ 7. その他（ ）

問 1 5 【問 1 3 で「1」を選んだ方におうかがいします。】
ボランティア活動をしたきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 人の役に立ちたいから
- ☐ 2. 自分たちのために必要な活動だから
- ☐ 3. 楽しそう（おもしろそう）だから
- ☐ 4. 余暇を有効に活用したいから
- ☐ 5. 趣味や特技を活かしたいから
- ☐ 6. 進学や就職に有利になるから
- ☐ 7. 人に誘われたから
- ☐ 8. 困っている人や団体に頼まれたから
- ☐ 9. 学校の授業などで機会があったから
- ☐ 10. 付き合い上、やむを得ず
- ☐ 11. 何となく
- ☐ 12. その他（ ）

問Ⅰ 6 ボランティア活動への参加について、あなたの気持ちを教えてください。（1つ）
※ボランティアの例：イベントの手伝い、募金活動、子どもの遊び相手など

- ☐ 1. 参加したい
- ☐ 2. 内容によっては参加したい
- ☐ 3. 参加したくない
- ☐ 4. わからない
- ☐ 5. その他（ ）

問Ⅰ 7 ボランティア活動への参加について、あなたが問題だと感じることはなんですか。
（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 参加する時間がない
- ☐ 2. 活動についての情報がない
- ☐ 3. 興味や関心のもてる活動がない
- ☐ 4. 健康や体力に自信がない
- ☐ 5. ボランティア活動をするための経済的負担が大きい
- ☐ 6. 一旦参加すると、やめられなくなりそうな印象がある
- ☐ 7. 参加するきっかけがない
- ☐ 8. 周囲の理解がない
- ☐ 9. 参加することの金銭的メリットがない
- ☐ 10. 問題はない
- ☐ 11. その他（ ）

ご協力ありがとうございました

地域福祉に関するアンケート調査票 (団体用)

記入に際してのお願い

- 1 回答の際は、黒色のボールペンを使用してください。
- 2 回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、

該当する番号の左隣の □ にチェックを入れてください。

良い例



悪い例



- 3 回答は、設問の文末に 単数回答の場合は（１つ）、複数回答が可能な場合は（あてはまるものすべて）と表示していますので、それに従ってください。

《貴団体の概要についておうかがいします》

問Ⅰ 貴団体の概要について、次の回答欄にご記入ください。

団体名		
組織形態		☐ 1. 社会福祉法人 ☐ 2. 地区福祉推進会 ☐ 3. NPO法人 ☐ 4. ボランティア団体
連絡先	住所	
	e-mail	
	TEL	
	FAX	
回答者の氏名		

《貴団体の事業についておうかがいします》

問2 活動地域は次のどれにあてはまりますか。(1つ)

- ☐ 1. 市内の一部地域
- ☐ 2. 市内全域
- ☐ 3. 盛岡広域市町
- ☐ 4. 県内全域
- ☐ 5. その他 ()

問3 事業分野をお答えください。(あてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ☐ 1. 児童・母子福祉 | ☐ 14. 防災 |
| ☐ 2. 高齢者福祉 | ☐ 15. 青少年育成 |
| ☐ 3. 障がい者福祉 | ☐ 16. 教育・生涯学習 |
| ☐ 4. その他社会福祉 | ☐ 17. スポーツ |
| ☐ 5. 健康づくり | ☐ 18. 芸術・文化の振興 |
| ☐ 6. 医療 | ☐ 19. 研究活動 |
| ☐ 7. 自然環境保護 | ☐ 20. 男女共同参画 |
| ☐ 8. 清掃・美化 | ☐ 21. 人権擁護 |
| ☐ 9. 公害防止 | ☐ 22. 国際交流・貢献・平和 |
| ☐ 10. ごみ・リサイクル | ☐ 23. 産業振興 |
| ☐ 11. 消費者保護 | ☐ 24. 地域交流 |
| ☐ 12. まちづくり | ☐ 25. その他 |
| ☐ 13. 交通安全・防犯 | () |

問4 どの団体などと交流や協力関係がありますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| ☐ 1. 町内会・自治会 | ☐ 11. 医療施設 |
| ☐ 2. 老人クラブ | ☐ 12. 社会福祉協議会 |
| ☐ 3. 女性団体 | ☐ 13. 保育所・幼稚園 |
| ☐ 4. 子ども会 | ☐ 14. 小中学校・高校・大学・専門学校 |
| ☐ 5. ボランティア団体 | ☐ 15. 保護者会・PTA |
| ☐ 6. NPO法人 | ☐ 16. 公民館・コミュニティセンター |
| ☐ 7. 商店会・商店街 | ☐ 17. 市町村・県・国 |
| ☐ 8. 企業 | ☐ 18. 地区福祉推進会 |
| ☐ 9. 高齢者施設 | ☐ 19. 特に関係はない |
| ☐ 10. 障がい者施設 | ☐ 20. その他（ ） |

問5 サービスの質を向上させるために、どのような取り組みを行っていますか。
(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 独自の研修制度を設けている
- ☐ 2. 活動に関連する分野の研修会や講演会などに参加している
- ☐ 3. スタッフ育成のための活動マニュアルを作成している
- ☐ 4. 活動の対象者や利用者からの声を吸い上げる仕組みがある
- ☐ 5. 文献やメディア等で、先進事例や情報の収集を行っている
- ☐ 6. 関係団体と情報交換などの交流の機会をつくっている
- ☐ 7. 特に行っていることはない
- ☐ 8. その他（ ）

問6 運営上の課題は何ですか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 活動場所の確保が難しい
- ☐ 2. 活動資金の調達に苦労している
- ☐ 3. スタッフが不足している
- ☐ 4. スタッフの固定・人事が硬直化している
- ☐ 5. 活動がマンネリ化し、活動が広がらない
- ☐ 6. 活動に対する周囲の理解不足
- ☐ 7. 関連団体との連携がうまくいかない
- ☐ 8. スタッフの活動意欲の維持が難しい
- ☐ 9. 活動ノウハウの不足
- ☐ 10. 他団体や事例等の情報不足
- ☐ 11. 活動の充実に向けた研修等の機会がない
- ☐ 12. 特に課題はない
- ☐ 13. その他（ ）

《今後の活動意向・要望についておうかがいします》

問7 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるためには、様々な主体（住民・事業者・ボランティア・NPO・行政など）が協働していくことが求められていますが、貴団体の取り組みとして、今後どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 町内会など、地域団体と連携して、活動の場を広げる
- ☐ 2. 団体が持っている活動のノウハウを地域の住民や他の団体に提供する
- ☐ 3. 行政が行っている事業を受託する
- ☐ 4. 他の団体や関係機関との交流の機会をもつ
- ☐ 5. ボランティアスタッフを積極的に受け入れる
- ☐ 6. 協働の必要性はない
- ☐ 7. その他（ ）

問 8 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくための地域福祉の推進についてご意見ご要望がありましたら、どんなことでも結構ですので、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました